

第2次小樽市都市計画マスタープラン

第1回策定委員会資料

都市計画マスタープラン（市町村マスタープラン）とは

• 都市計画法 第18条の2

「市町村は、議会の議決を経て定められた当該市町村の建設に関する基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、当該市町村の都市計画に関する基本的な方針を定めるものとする。」

• 都市計画運用指針

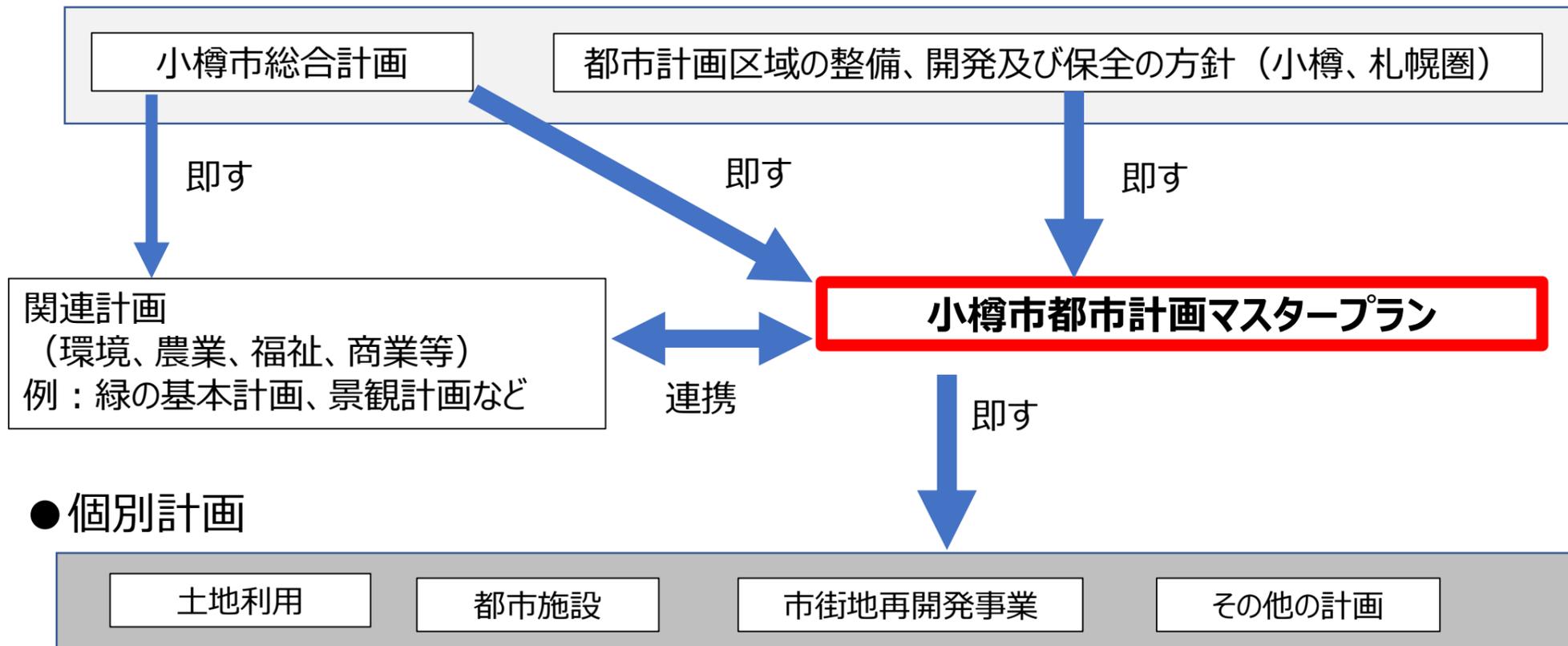
1. 市町村が、住民の意見を反映し、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示し、地域別の整備方針、地域の諸施設の計画等を定め、市町村自らが定める都市計画の方針
2. 土地利用、各種施設の整備の目標等に加え、生活像、産業構造、都市交通、自然的環境等に関する現況及び動向を勘案した将来ビジョンを明確化
3. 都市計画マスタープランに含めることが考えられる事項
 - ① 当該市町村のまちづくりの理念や都市計画の目標
 - ② 全体構想（目指すべき都市像とその実現のための主要課題、課題に対応した整備方針等）
 - 都市構造・都市空間及び交通体系の整備の考え方や土地利用、施設整備等の方針
 - 自然的環境の保全、都市環境の形成、都市景観形成との指針
 - ③ 地域別構想（あるべき市街地像等の地域像、実施されるべき施策）
 - 全体構想に示された整備の方針等を受けることが前提
 - 誘導すべき建築物の用途・形態
 - 緑地空間の保全・創出、空地の確保
 - 地域内に整備すべき諸施設、都市交通の確保
 - 景観形成のため配慮すべき事項

①小樽市都市計画マスタープラン見直しの背景と主旨について

- 法定計画：都市計画法第18条の2に規定された都市計画に関する基本方針
- 目標年次：2010年代後半
- 策定：2003（平成15）年2月 当初計画
- 社会情勢の変化や次期総合計画などとの整合を図り、必要な見直しを行う必要がある
- 上位計画である「第7次小樽市総合計画」は策定作業中であり、その中で示される今後のまちづくりの基本的な方向性に即す

②計画の位置づけ

●上位計画



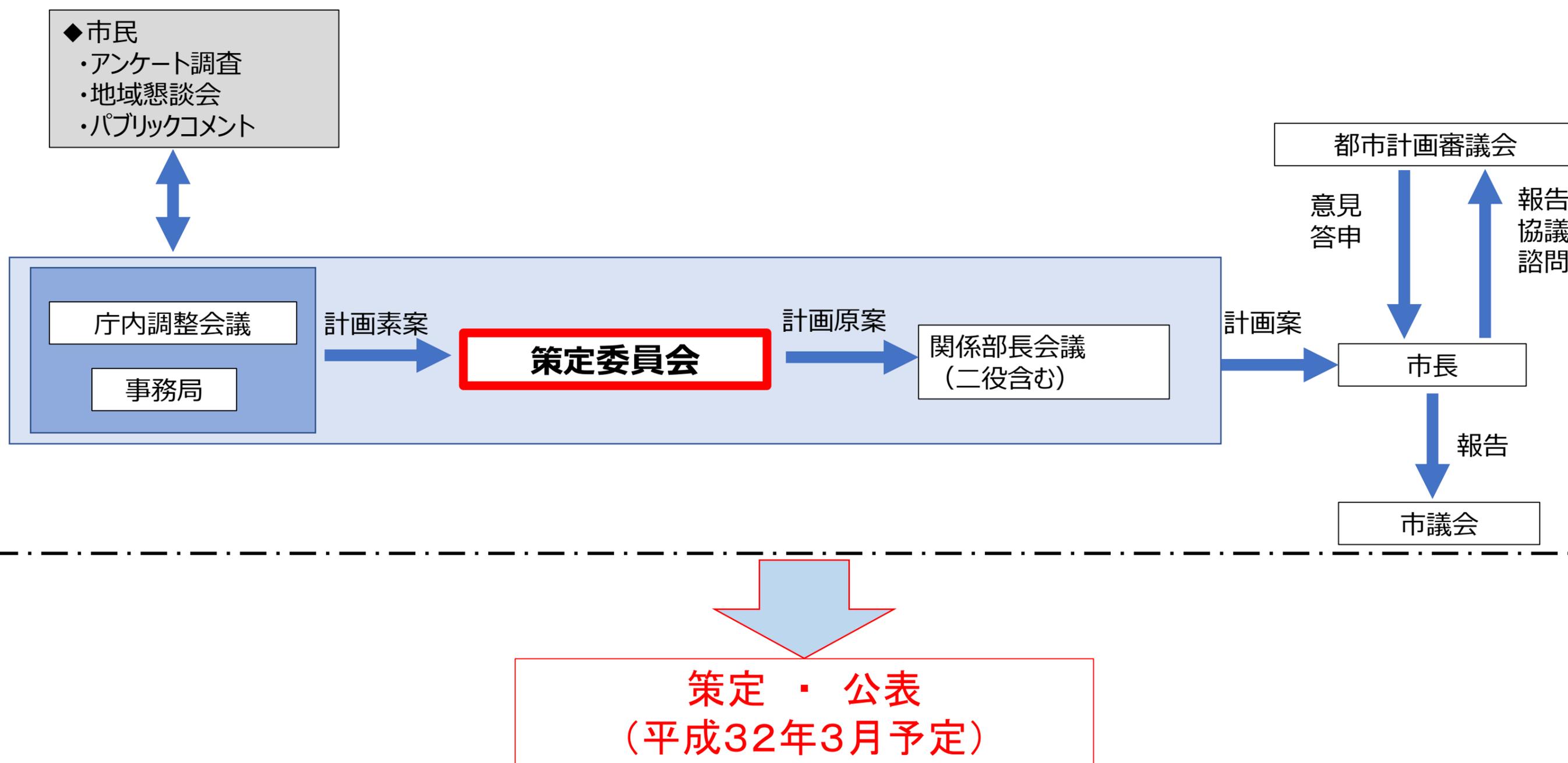
『都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』

都市計画相互間のきめ細かい調整を図り、都市計画の総合性、一体性を確保するための都市計画区域における基本方針として、**市街化区域と市街化調整区域との区分の決定の有無**及び当該区域区分を定めるときは**その方針**を定めるとともに、都市計画の**目標、土地利用・都市施設の整備**及び市街地開発事業に関する**主要な都市計画の決定の方針**を都道府県が定めるものである。

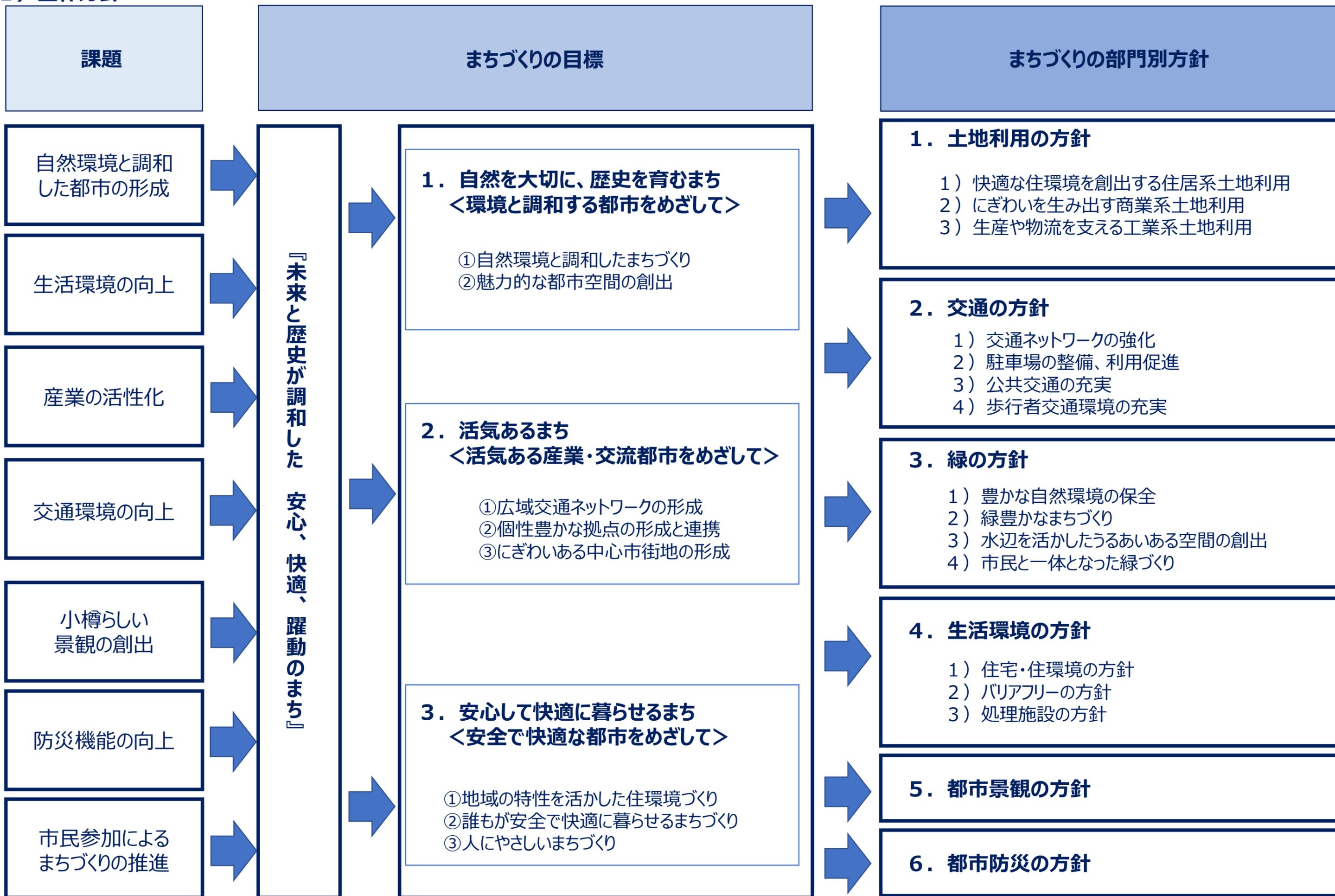
③見直しの基本的な考え方

- 人口減少、少子高齢化が加速的に進んでいるため、都市計画と連携している課題（交通、福祉、公共施設、空き家など）についても議論し、持続的な都市機能を確保する必要がある。
- 今後のまちづくり全体の方向性については総合計画に即す必要がある。

④見直し作業の進め方（策定体制）

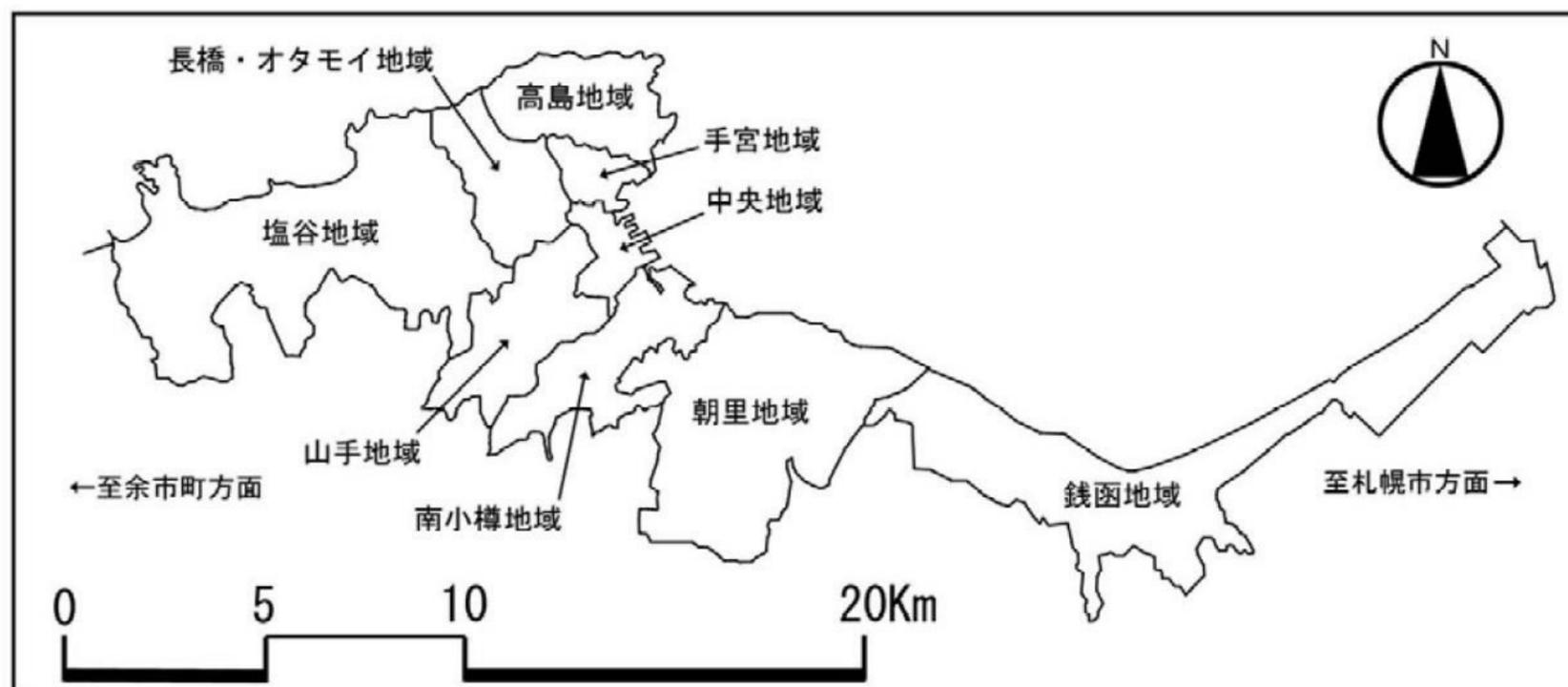


1) 全体方針



2) 地域別方針

地域区分図



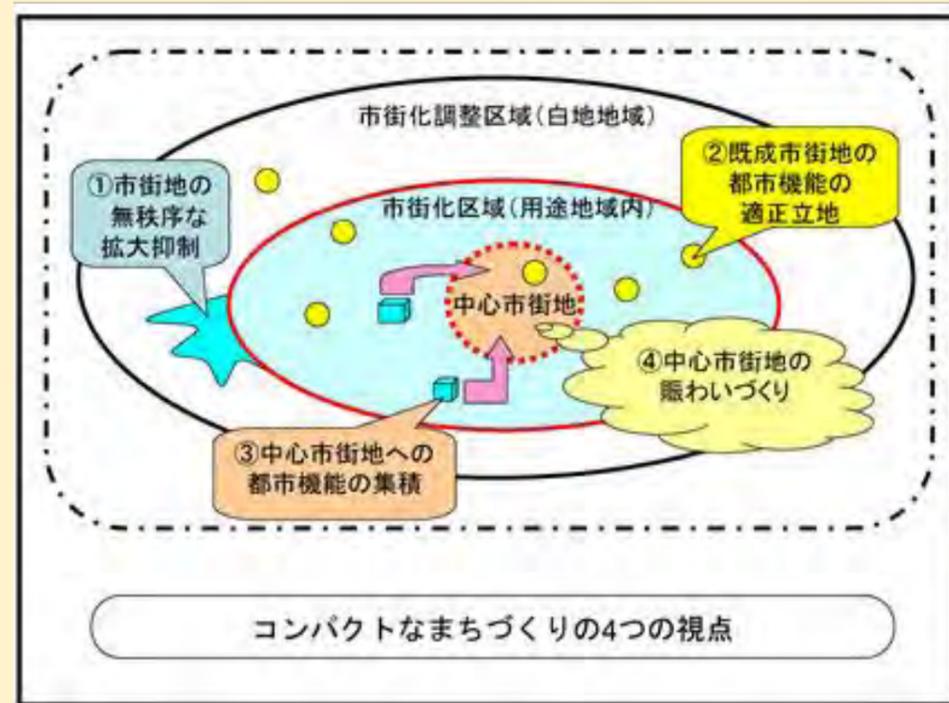
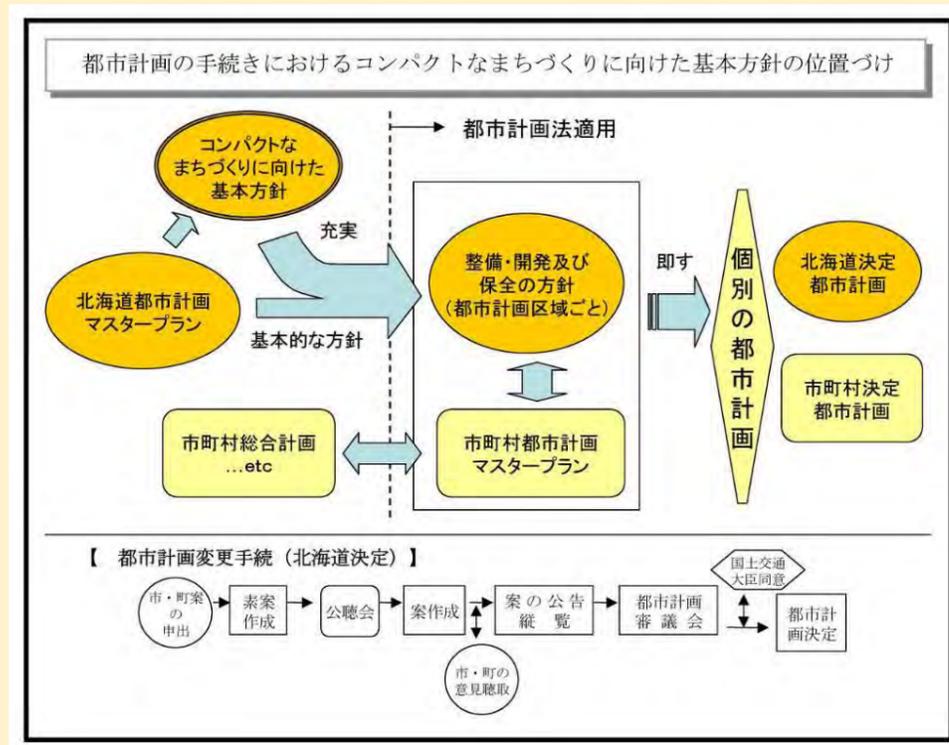
[地域別まちづくりの方針（抜粋）]

地域名	地域の目標	地域名	地域の目標
塩谷地域	「自然や歴史とともにある生活の豊かさが実感できる地域」 ①豊かな自然を感じることでできる住環境づくり ②地域特性を活かした産業の展開が図られる取り組み ③交通ネットワーク強化による地域の利便性の向上 ④拠点と連携した憩いの場の創出	山手地域	「ゆとりと落ち着きある暮らしを守り続ける地域」 ①落ち着きある良好な住環境づくり ②自然に囲まれた憩い空間の形成 ③地域内外との円滑な連携を図る交通ネットワークの形成
長橋・オタモイ地域	「身近な自然と調和した安心、快適に暮らせる地域」 ①ゆとりある良好な住環境づくり ②地域コミュニティや安心、快適な生活を支える都市基盤の形成 ③うるおいある自然環境の保全	南小樽地域	「活力ある産業とともに自然を大切にしたい快適な地域」 ①活気ある産業活動の展開が図られる取り組み ②中心市街地へ連絡する玄関口としての機能性の向上 ③水や緑を身近に感じられる住環境づくり
高島地域	「海の資源を大切にしたい、自然の魅力を感じることでできる地域」 ①魅力ある恵まれた自然環境の保全 ②豊かな自然環境と調和した住環境づくり ③漁業生産活動を支える機能の向上 ④ウォーターフロント交流拠点の機能の向上	朝里地域	「地域資源を活かした魅力の創出と暮らしやすい地域」 ①暮らしやすい良好な住環境づくり ②地域にうるおいを与える緑や親水性の高い空間の創出 ③まちの中心地に近い温泉郷を核とする交流拠点の形成と連携
手宮地域	「特色ある歴史やコミュニティを大切にしたい、活気ある生活が息づく地域」 ①安心して快適な生活を支える住、職、商の良好な機能配置 ②拠点機能の向上と連携 ③産業活動の利便増進と周辺との調和	銭函地域	「自然と調和した生活・交流と活発な産業活動を支える地域」 ①自然と調和した住環境づくり ②産業活動の展開が図られる取り組み ③自然に配慮した交流拠点の形成
中央地域	「人が集い、にぎわいあふれる、個性的で歴史と共存する地域」 ①にぎわい拠点としての機能の向上 ②もてなし空間の形成と拠点間の連携 ③利便性の高い地域特性を活かした街なか居住の促進		

3. 現行 小樽市都市計画マスタープラン策定後のトピック

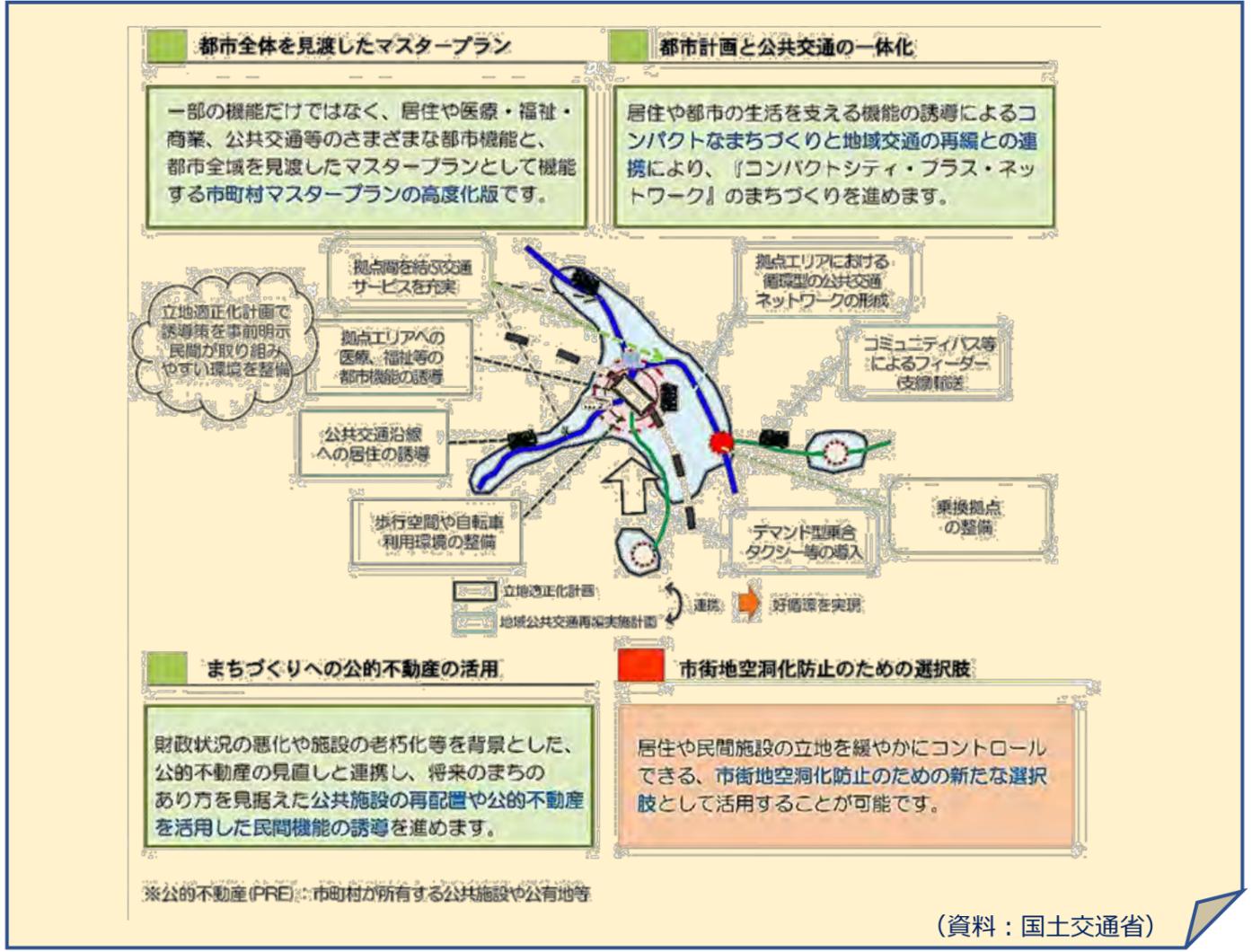
年度	主だった出来事	国（国土交通省）や北海道の施策	小樽市の計画	小樽市の出来事
平成15年度 (2003)		○「区域区分」の変更、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の決定（第5回定期見直し）		
平成16年度 (2004)	●台風18号による被害			○中央通の拡幅工事が完了
平成17年度 (2005)	●第18回 国勢調査 [H17.10]			
平成18年度 (2006)		●都市計画法改正（大規模集客施設の立地制限、準都市計画区域など） [H18.5] ○コンパクトなまちづくりに向けた方針（北海道）		○北海道横断自動車道（余市～小樽間）事業着手
平成19年度 (2007)	●郵政民営化 [H19.10]			○北しりべし広域クリーンセンター供用開始
平成20年度 (2008)	●後期高齢者医療制度開始 [H20.4] ●リーマンショック [H20.9]		○小樽市中心市街地活性化基本計画 ○小樽市景観計画	
平成21年度 (2009)	●裁判員制度導入 [H21.5] ●政権交代（民主党政権へ） [H21.8]		○第6次小樽市総合計画 ○小樽市立小中学校学校規模・学校配置適正化基本計画 ○小樽市上下水道ビジョン	○新小樽駅前第3ビル「サンビルスクエア」がオープン
平成22年度 (2010)	●第19回 国勢調査 [H22.10] ●東日本大震災 [H23.3]	●低炭素都市づくりガイドライン策定 [H22.8] ○「区域区分」、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の変更（第6回定期見直し）	○小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画	○新小樽地方合同庁舎が完成
平成23年度 (2011)	●TPP参加意向表明 [H23.11]	●都市計画法改正（都市計画決定の権限移譲） [H23.8]		
平成24年度 (2012)	●政権交代（自由民主党政権へ） [H24.12]	●都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法） [H24.9]		○JR小樽駅の改築工事
平成25年度 (2013)	●富士山が世界遺産 [H25.6]	●交通政策基本法制定 [H25.11] ●都市再生特別措置法改正（立地適正化計画） [H26.2]		
平成26年度 (2014)	●消費税8%へ税率引上げ [H26.4]	●公共施設等総合管理計画の策定要請（総務省） [H26.4] ●まち・ひと・しごと創生法制定 [H26.11]	○小樽市公園施設長寿命化計画	○小樽市立病院を開院
平成27年度 (2015)	●選挙権年齢「18歳以上」に引き下げ [H27.6] ●第20回 国勢調査 [H27.10] ●TPP署名 [H28.2] ●北海道新幹線開業 [H28.3]		○小樽市総合戦略【人口ビジョン、総合戦略】 ○小樽市住宅マスタープラン	
平成28年度 (2016)	●熊本地震 [H28.4]		○公共施設等総合管理計画 ○小樽市空家等対策計画	
平成29年度 (2017)			○北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画 ○第二次小樽市観光基本計画	
平成30年度 (2018)	●北海道命名150年		○第7次総合計画策定（策定作業中）	○北海道横断自動車道（余市～小樽JCT開通） ○日本遺産追加認定

北海道が目指す将来のまちづくり コンパクトなまちづくりに向けた方針



(資料：北海道)

国(国土交通省)が目指す将来のまちづくり 立地適正化計画



小樽市が目指す将来のまちづくり 第7次小樽市総合計画(現在策定中)

<都市的利用>

本市の地理的特性を踏まえつつ、人口減少や少子高齢化の進行、環境保全に対する意識の高まりなど、都市を取り巻く環境の変化に対応し、安全で快適な都市生活を持続可能とするため、地域の拠点に都市機能が集約され、それらが交通ネットワークで結ばれた「コンパクトなまちづくり」を基調として、市街地の無秩序な拡大を抑制するとともに、公共施設などの都市機能の適正な配置と誘導を進め、暮らしやすく機能的な市街地の形成に努めます。

また、既成市街地の有効活用を図るとともに、「住居系」「商業系」「工業系」それぞれの特性を生かし、周辺環境との調和を図りながら、計画的で効率的な土地利用に努めます。

小樽市の都市計画を取り巻く社会状況

改定に向けた検討の視点

1. 人口減少、少子高齢化の進行

- ①小樽市の人口の推移
- ②小樽市の地区別の人口密度
- ③小樽市の将来人口予測
- ④小樽市の人口密度（平成32年、平成52年）
- ⑤交流人口

- ・人口減少に対応した地区毎のまちづくりについて

2. 小樽市の市街地構造（地形・地勢）

- ①小樽市のDID面積・人口の推移
- ②小樽市の空き地（可住地未利用地）の状況（平成27年）
- ③小樽市の空き家の状況

- ・市街化区域、用途地域の範囲について
- ・市内に点在する、空き地・空き家の活用について
- ・危険空き家の解消

3. 市街地の再編（公共施設、中心市街地）

- ①公共施設の再編（公共施設等総合管理計画）
- ②小樽市の学校再編の動き
- ③都市計画道路の整備状況
- ④公営住宅の状況
- ⑤中心市街地（市街地再開発、駐車場整備）

- ・公共施設の再編について
- ・都市施設の整備・更新について

4. 安全・安心

- ①自然災害危険箇所と災害対応策
- ②生活利便施設と徒歩圏
（コンビニエンスストア、食料品店舗、医療施設、福祉施設）
- ③公共交通（JR・バス）
- ④公園等

- ・災害に強いまちづくり（ハード対策とソフト対策の推進）
- ・地区別のサービス水準の維持について
- ・公共施設の再編について
- ・都市施設の整備・更新について
- ・公共交通の維持

5. その他

- ①上・下水道、ごみ処理施設
- ②北海道新幹線
- ③北海道横断自動車道（余市～小樽JCT開通）
- ④小樽港と石狩湾新港の将来ビジョン
- ⑤産業
- ⑥小樽市の財政

- ・広域圏（小樽市外）との関わりについて

今後、小樽市が目指す方向性

1. 人口減少、少子高齢化の進行

①小樽市の人口の推移

・小樽市の人口は、減少傾向にあり、平成27年で121,924人となっており、現行都市計画マスタープラン策定時点（H17）と比べ、約2万人減少している。
 ・65歳以上の老年人口は、平成27年で45,240人で37.1%となっている。
 ・平成12年から27年にかけて地区別の人口の増減率を見ると、南小樽地域・朝里地域・銭函地域の一部で人口の増加が見られるものの、それ以外の箇所では、減少傾向にある。

図 小樽市の人口の推移（昭和55～平成27年）

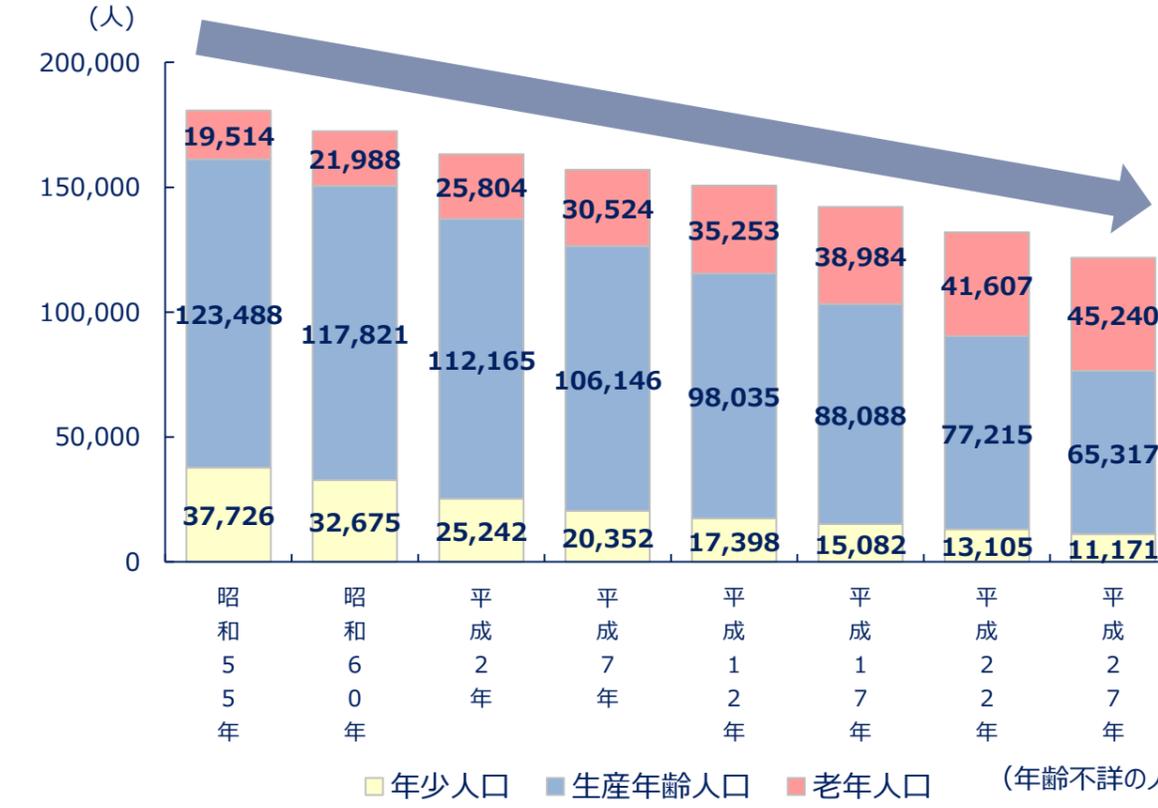
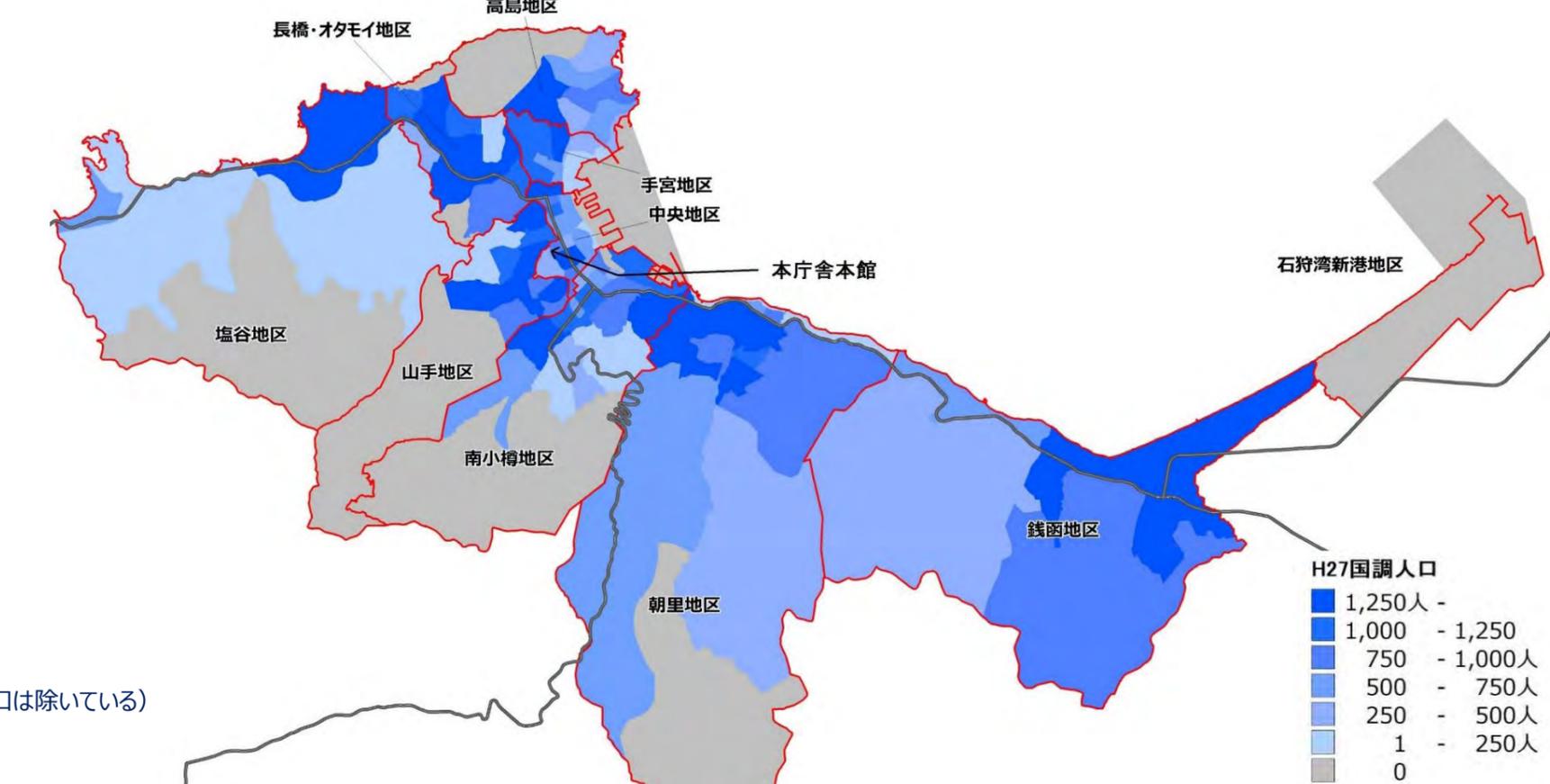
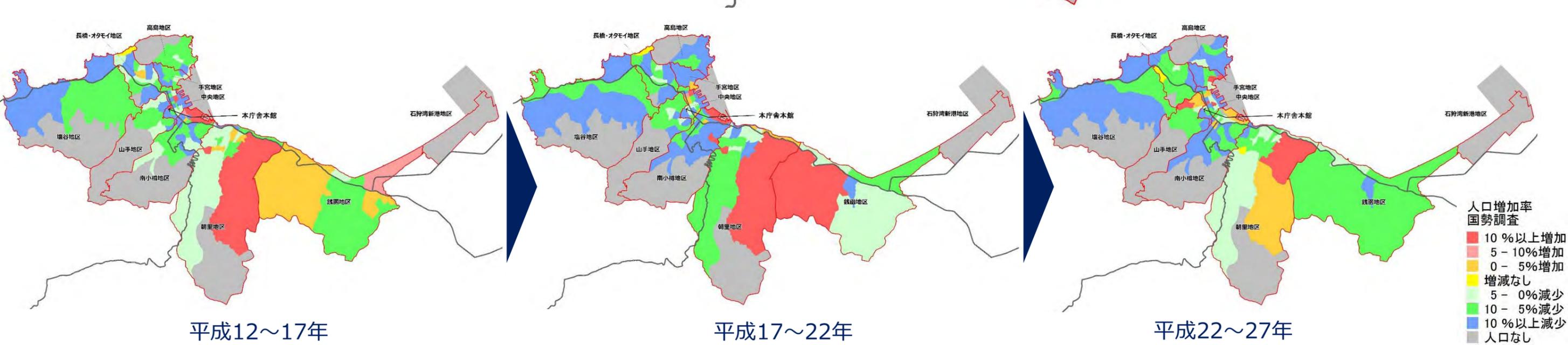


図 小樽市の字丁目別の人口分布（平成27年）



（資料：各年国勢調査）

図 小樽市の地区別人口の推移（平成12～27年）



1. 人口減少、少子高齢化の進行

②小樽市の地区別の人口密度

- ・小樽市の地区別人口は、北西部の4地区で33,278人（27.5%）、中部の3地区で50,049人（41.4%）、東南部の3地区で37,695人（31.1%）となっている。
- ・詳細では、東南部の朝里地区が最も多く、26,349人（21.8%）、次いで、中部の南小樽地区18,604人（15.4%）、山手地区の17,306人（14.3%）と続く。
- ・ネット人口密度※は、小樽市全体で54.4人/haとなっており、中央地区・山手地区・朝里地区で平均を大きく上回り、塩谷地区・銭函地区での人口密度が平均を大きく下回っている。

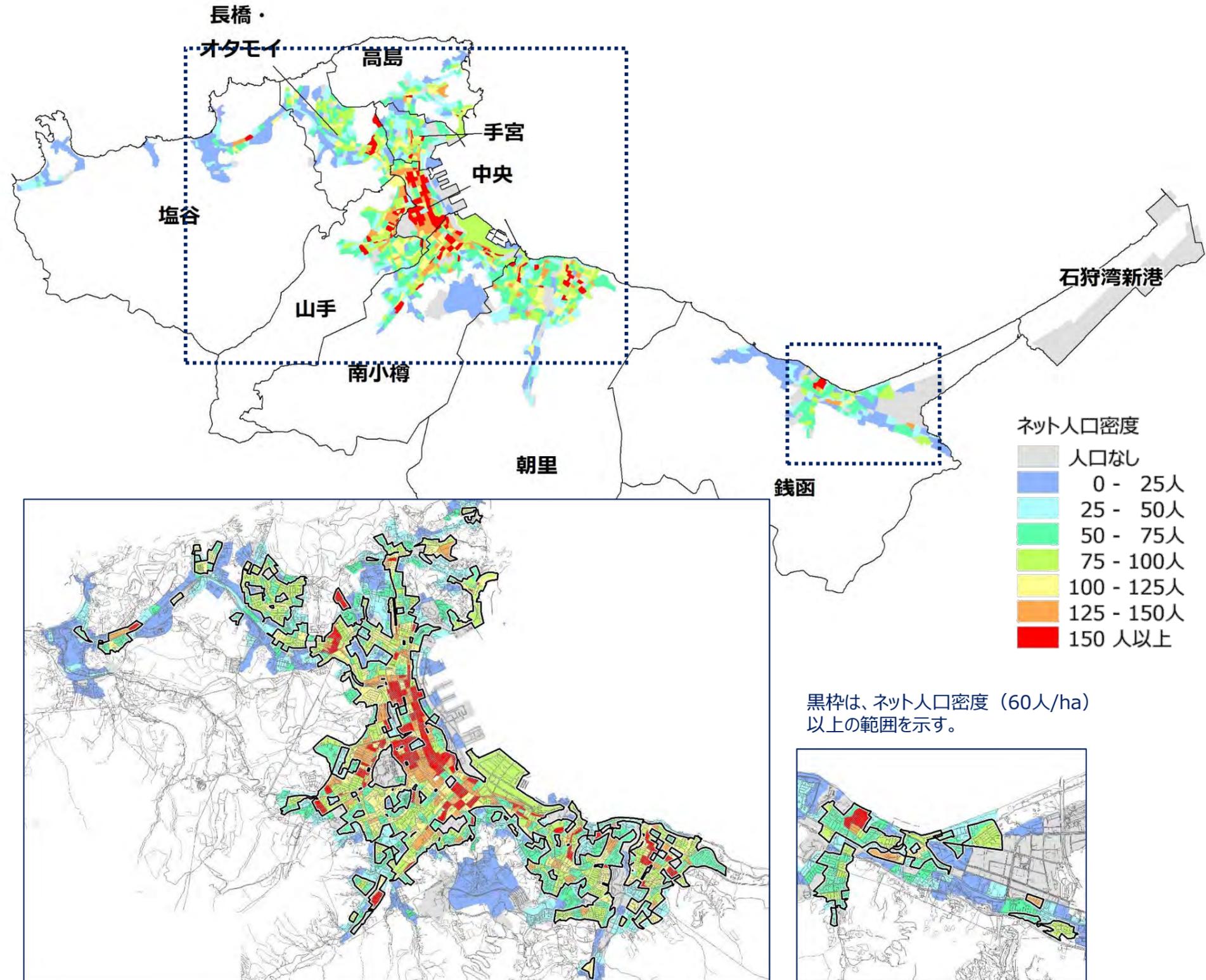
表 小樽市の人口密度（平成27年）

		人口	可住地面積 (ha)	ネット人口密度 (人/ha)
1	北西部 塩谷	4,037	191.8	21.0
2	北西部 長橋・オタモイ	14,105	276.0	51.1
3	北西部 高島	7,972	145.2	54.9
4	北西部 手宮	7,164	103.0	69.6
5	中部 中央	14,139	104.6	135.2
6	中部 山手	17,306	191.9	90.2
7	中部 南小樽	18,604	388.2	47.9
8	東南部 朝里	26,349	383.0	68.8
9	東南部 銭函	11,346	282.7	40.1
10	東南部 石狩湾新港	0	160.0	0.0
計		121,022	2,226	54.4

（資料：H27～H29年度 都市計画基礎調査）

※ ネット人口密度（人/ha）＝人口（人）／可住地面積（ha）

図 小樽市の人口密度（平成27年）



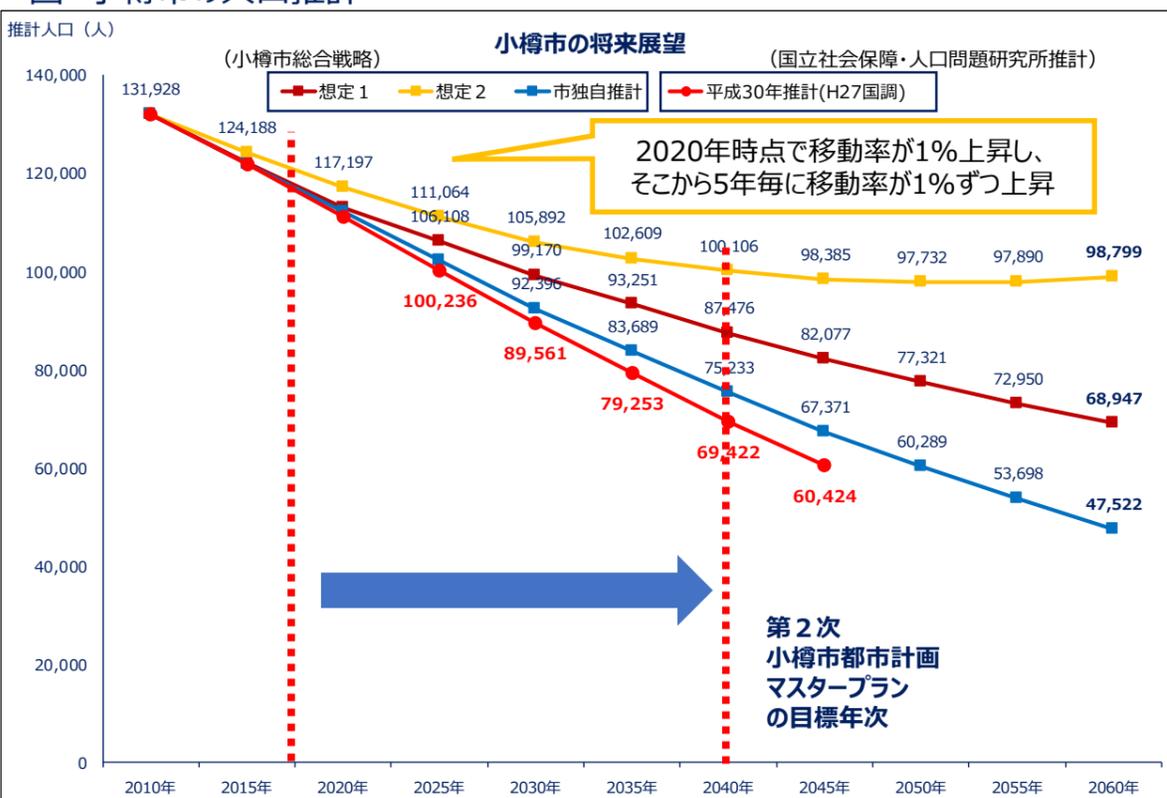
1. 人口減少、少子高齢化の進行

③小樽市の将来人口予測

・小樽市総合戦略（人口ビジョン）では、小樽市の2040（平成52）年の人口では想定1の87,476人以上、想定2の100,106人以上と展望しており実現に向けて出生率の上昇、移住等の促進など、各種施策に取り組むこととしている。

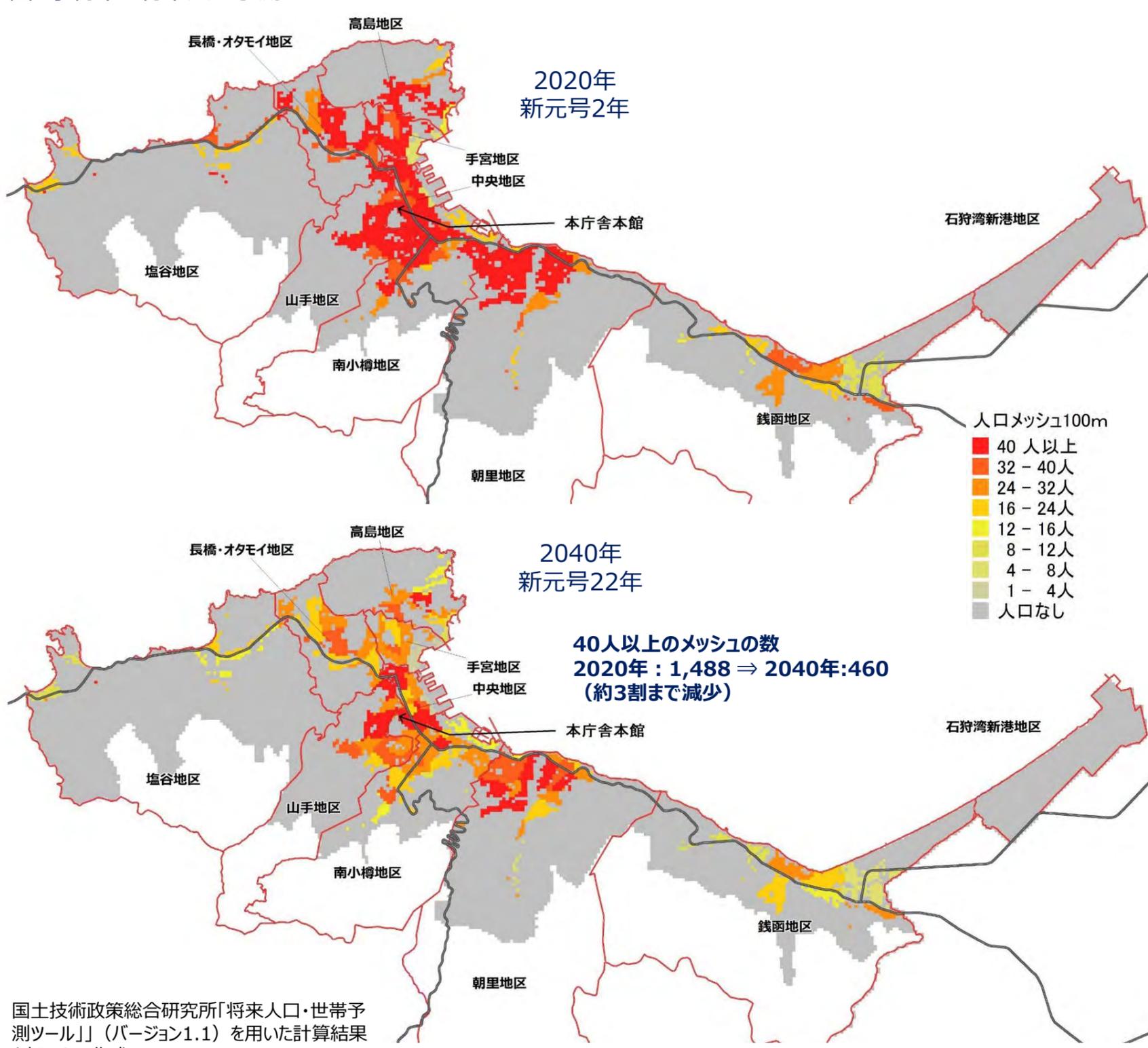
・「人口等の将来の見通しは、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の値を参酌すべき（都市計画運用指針より）」とあり、2040年（平成52）年では、69,422人と推計されている。

図 小樽市の人口推計



(資料：国提供の人口推計ワークシート【基準年2010国勢調査】を基に市独自に算出)

図 小樽市の将来人口予測



国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」(バージョン1.1)を用いた計算結果を加工して作成

○小樽市総合戦略（人口ビジョン）

本市における**人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの**である。

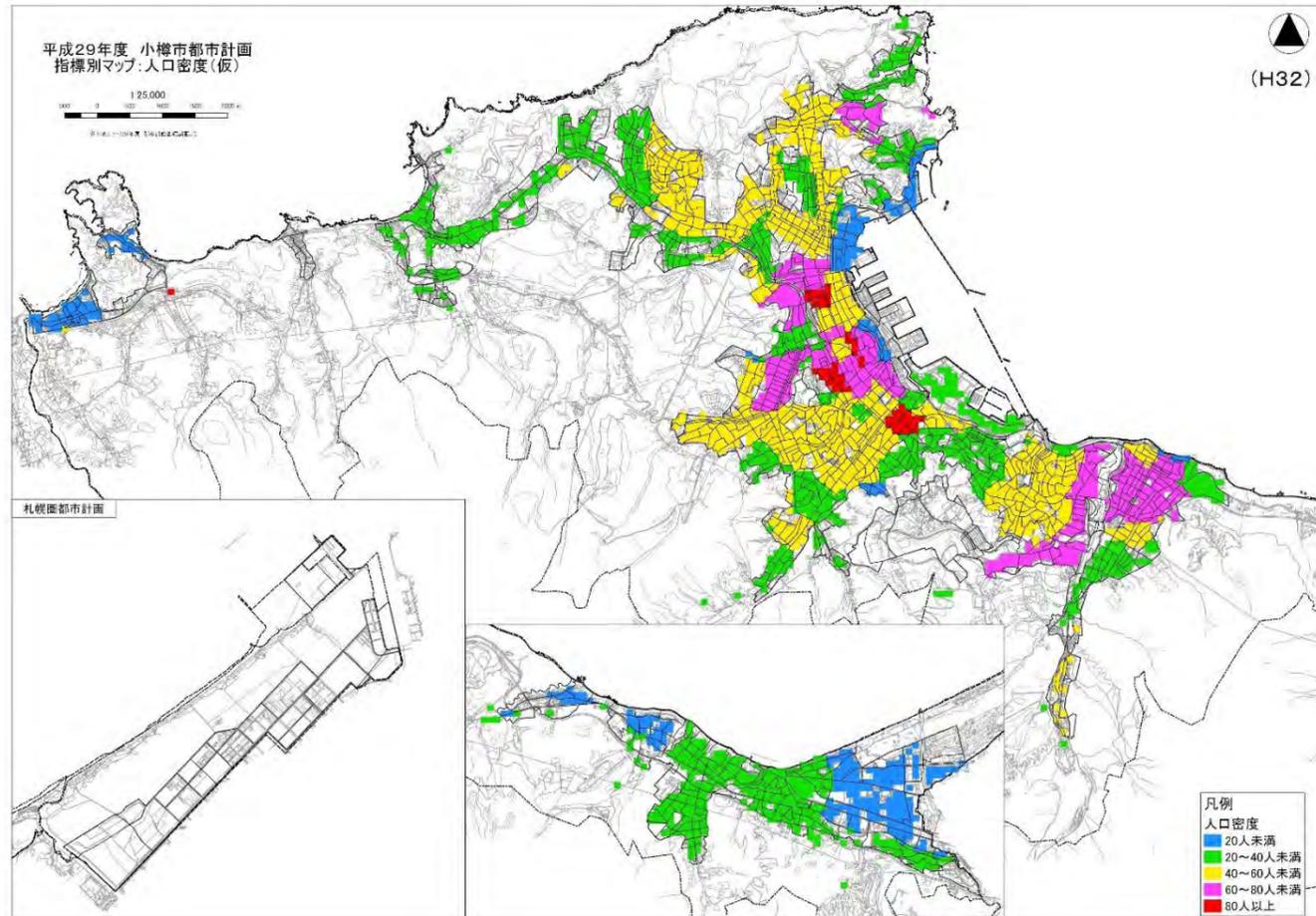
札幌市への転出抑制、市外からの転入促進をすることで、合計特殊出生率と転出超過が改善されることを見込み、2060年の人口を【想定1】68,947人以上、【想定2】98,799人以内と展望している。

1. 人口減少、少子高齢化の進行

④小樽市の人口密度（2020〔平成32〕年、2040〔平成52〕年）

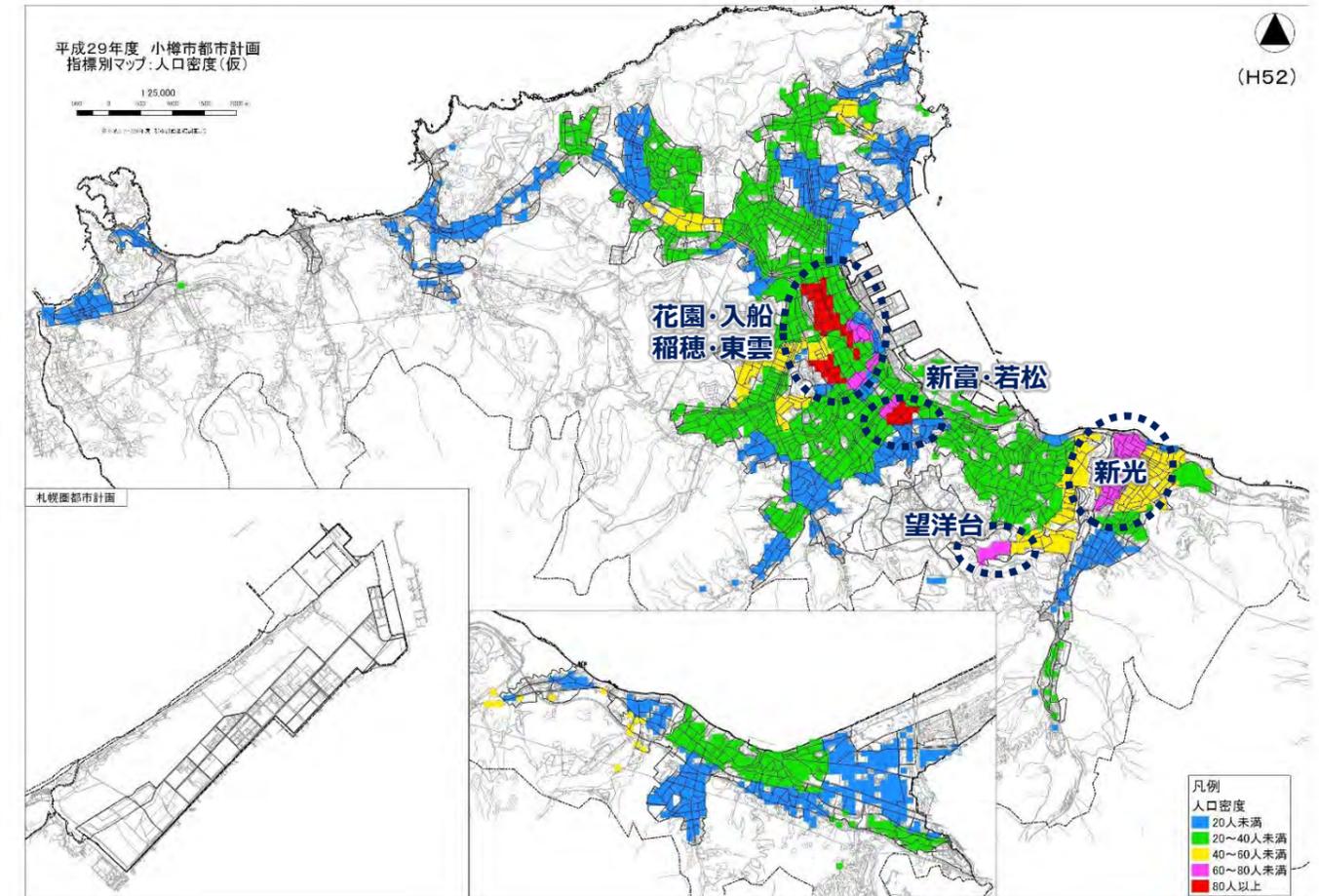
- ・小樽市の人口密度の予測（2020(平成32)年、2040(平成52)年）を見ると、全市 相対的に減っていく結果となっている。
- ・市内の大半が、40人未満となり、40人以上の箇所は、小樽市の中心部、朝里地区となっている。

図 小樽市の人口密度（2020（新元号2）年：予測）



(資料：小樽市調査)

図 小樽市の人口密度（2040（新元号22）年：予測）



1. 人口減少、少子高齢化の進行

⑤交流人口

- ・小樽市の観光入込客数は、平成29年で806万人となっており、観光は、小樽市の主要な産業となっている。
- ・平成29年度に「第二次小樽市観光基本計画」を策定しており、小樽観光の目指すべき姿を「ホンモノの小樽とふれあう」とし、3つの方向性を示している。

図 小樽市の観光入込客数の推移

(単位：千人)



図 小樽市の観光客数の推移 (道内・道外、日帰り・宿泊・外国人宿泊客)

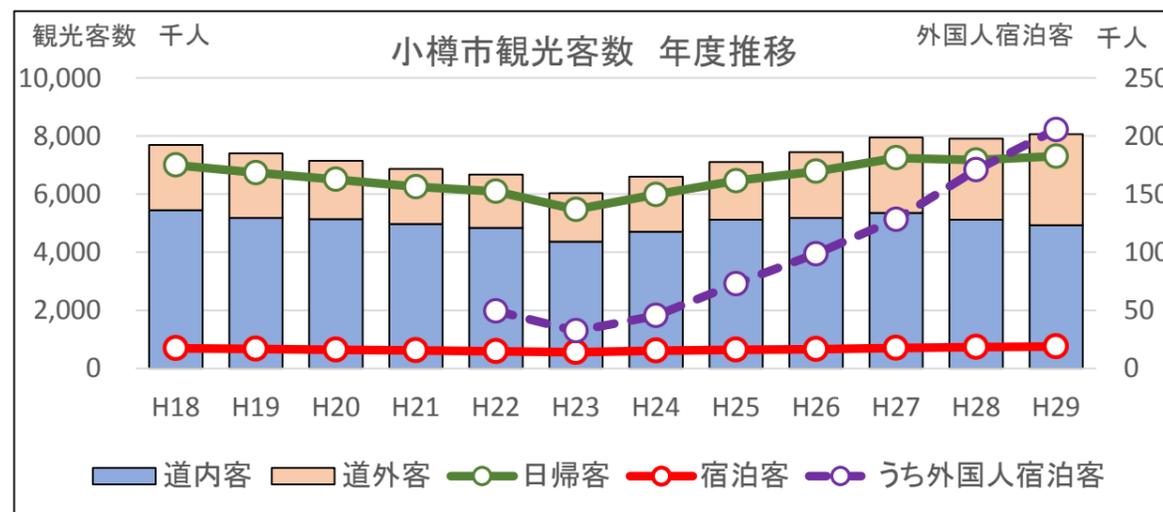
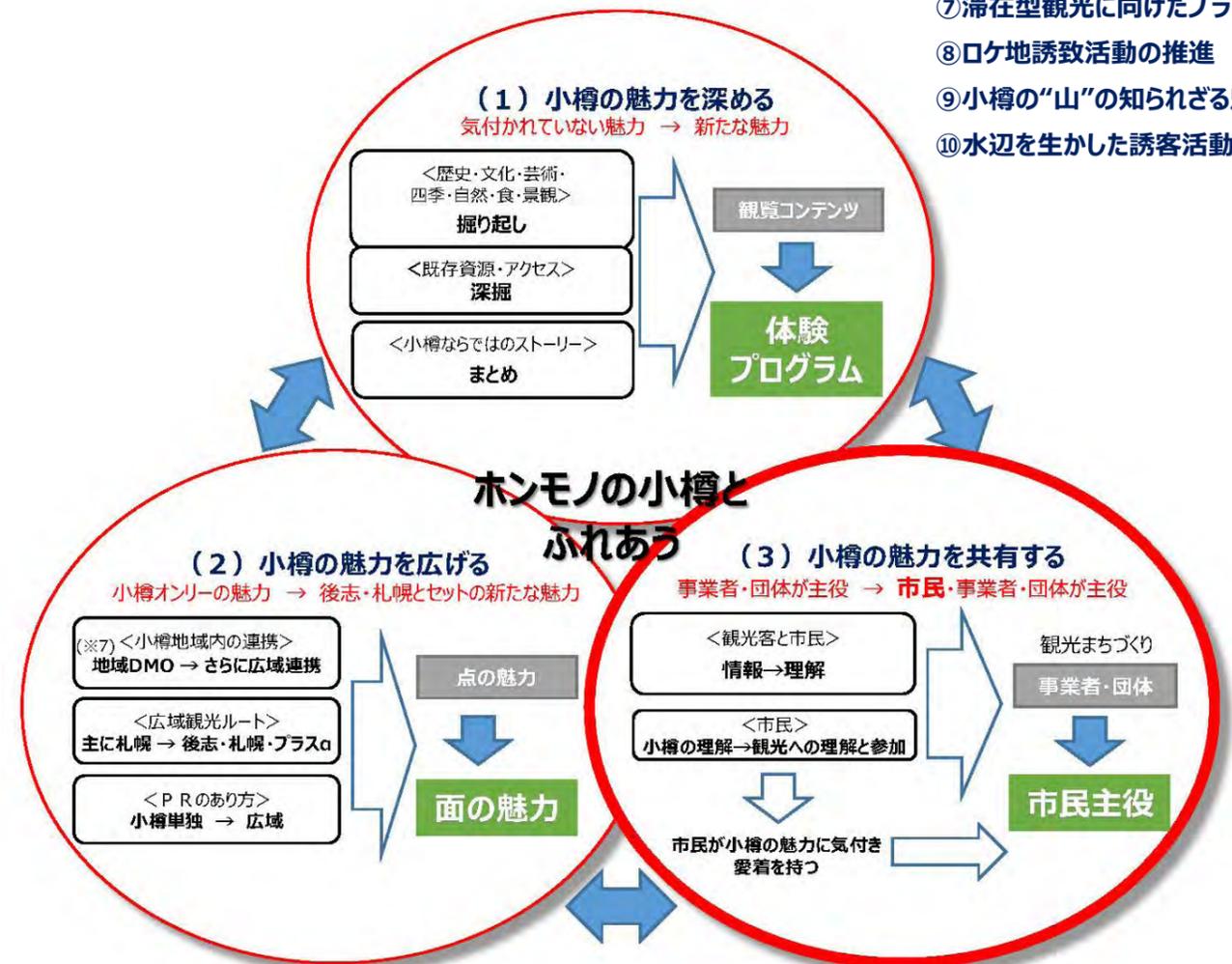


図 小樽観光の目指すべき姿

第二次小樽市観光計画の計画期間

2017 (平成29年) 度から
2026年(新元号7年)度までの10年間



主要施策

- ①キャンペーン等各種情報発信の強化
- ②小樽の“四季”の魅力発信
- ③歴史・文化・芸術の体験プログラムの構築
- ④小樽に点在する観光資源のニーズを捉えた磨き上げと発掘
- ⑤観光客が快適に過ごせる環境整備
- ⑥日本遺産認定に向けた活動の推進
- ⑦滞在型観光に向けたプランの拡充
- ⑧ロケ地誘致活動の推進
- ⑨小樽の“山”の知られざる魅力の発信
- ⑩水辺を生かした誘客活動の推進

主要施策

- ①地域DMO構築を視野に入れたアプローチ
- ②広域的な観光圏の形成

(資料：第二次小樽市観光計画)

主要施策

- ①外国人観光客との相互理解
- ②観光への意識を高める活動の推進
- ③教育カリキュラム編成に向けた提案
- ④市民が観光客とふれあう機会の提供

1. 人口減少、少子高齢化の進行

⑤交流人口（話題）

- ・(株)ブランド総合研究所が2006年から毎年1回実施している調査
 - ・対象：全791市（2017年4月末現在）と東京23区、および地域ブランドへの取り組みに熱心な186の町村を加えた計1000の市区町村、そして都道府県
 - ・調査方法：全国約3万人にインターネットアンケートを実施し、1人20地域について外からの視点で評価
 - ・調査内容：地域のブランド力を消費者が各地域に抱く「魅力」で数値化、「魅力」の要因を観光、居住、産品など他の項目結果から分析できるよう設計
- ・東日本大震災以降、徐々に小樽市の魅力度が回復している。

図 道内上位の魅力度市区町村ランキング

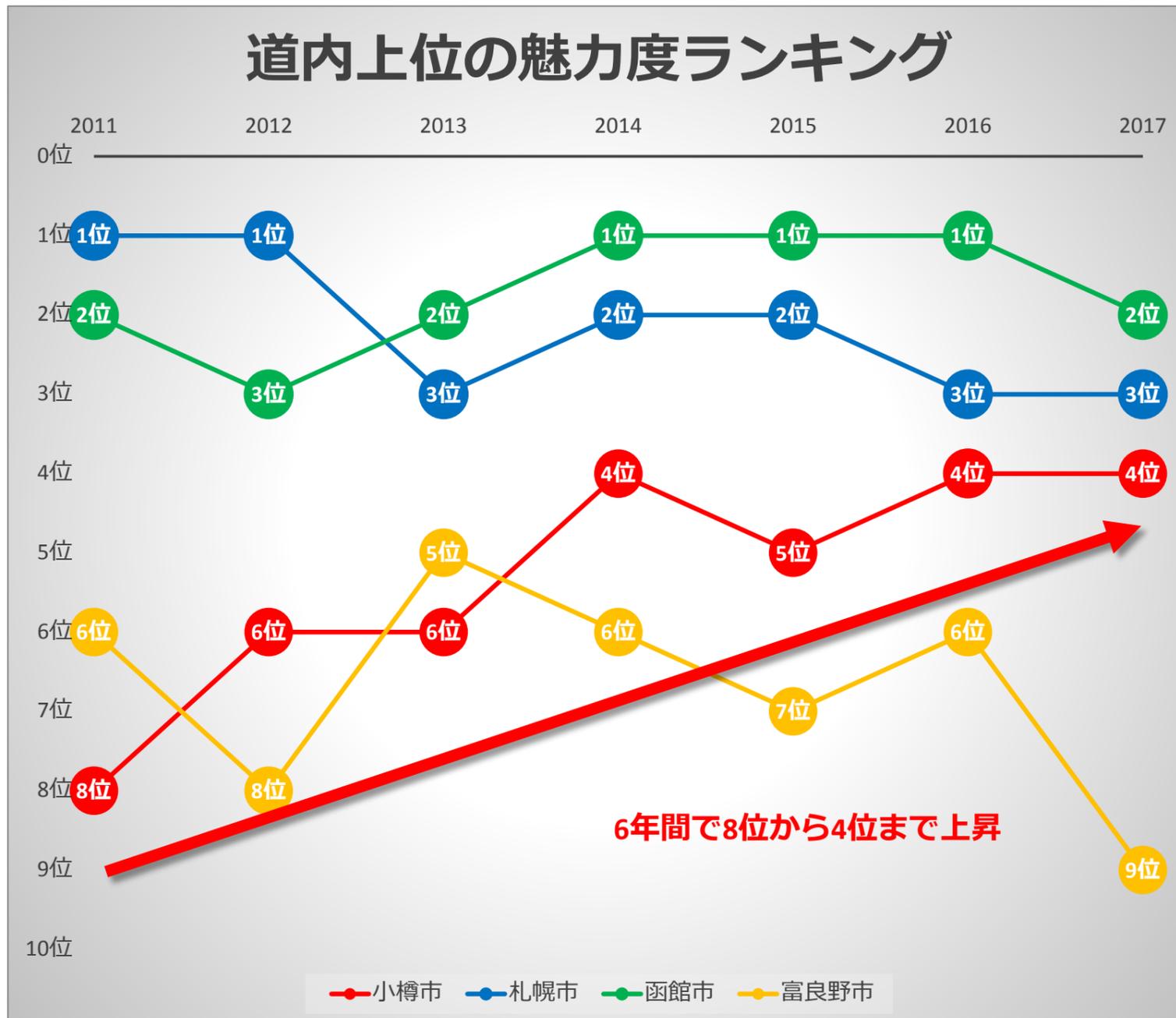


表 ブランド調査 魅力度上位ランキング（市区町村）

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1位	札幌市	札幌市	京都市	函館市	函館市	函館市	京都市
2位	函館市	京都市	函館市	札幌市	札幌市	京都市	函館市
3位	京都市	函館市	札幌市	京都市	京都市	札幌市	札幌市
4位	横浜市	横浜市	横浜市	小樽市	横浜市	小樽市	小樽市
5位	神戸市	神戸市	富良野市	横浜市	小樽市	横浜市	鎌倉市
6位	富良野市	小樽市	小樽市	富良野市	神戸市	富良野市	横浜市
7位	鎌倉市	鎌倉市	鎌倉市	神戸市	富良野市	鎌倉市	神戸市
8位	小樽市	富良野市	神戸市	鎌倉市	鎌倉市	金沢市	金沢市
9位	金沢市	金沢市	金沢市	金沢市	金沢市	神戸市	富良野市
10位	奈良市	石垣市	石垣市	屋久島町	軽井沢町	別府市	屋久島町

○調査項目（地域ブランド調査2017）

- ・認知度、魅力度、情報接触度、観光意欲度、居留意欲度
- ・情報接触経路（ドラマや映画、ポスターやチラシなど 14項目）
- ・情報接触コンテンツ（「ご当地キャラクター」など 10項目）
- ・地域イメージ（歴史・文化の地域、スポーツの地域など 14項目）
- ・地域資源評価（海・山・川・湖など自然が豊かなど 16項目）
- ・訪問目的（「行楽・観光のため」など 16項目）
- ・産品購入意欲度
- ・食品想起率
- ・食品以外想起率

（資料：(株)ブランド総合研究所）

2. 小樽市の市街地構造（地形・地勢）

①小樽市のDID面積・人口の推移

- ・小樽市の市街化区域・用途地域面積は、2018(平成30)年時点で4,301haとなっている。
- ・市街化区域・用途地域面積の推移を見ると昭和50～60年にかけて市街化区域の編入が増えているものの、平成に入ってから、多く編入されていない。
- ・小樽市内の人口集中地区（DID）は、2015（平成27）年で23.42km²となっている。

図 小樽市の市街化区域の推移

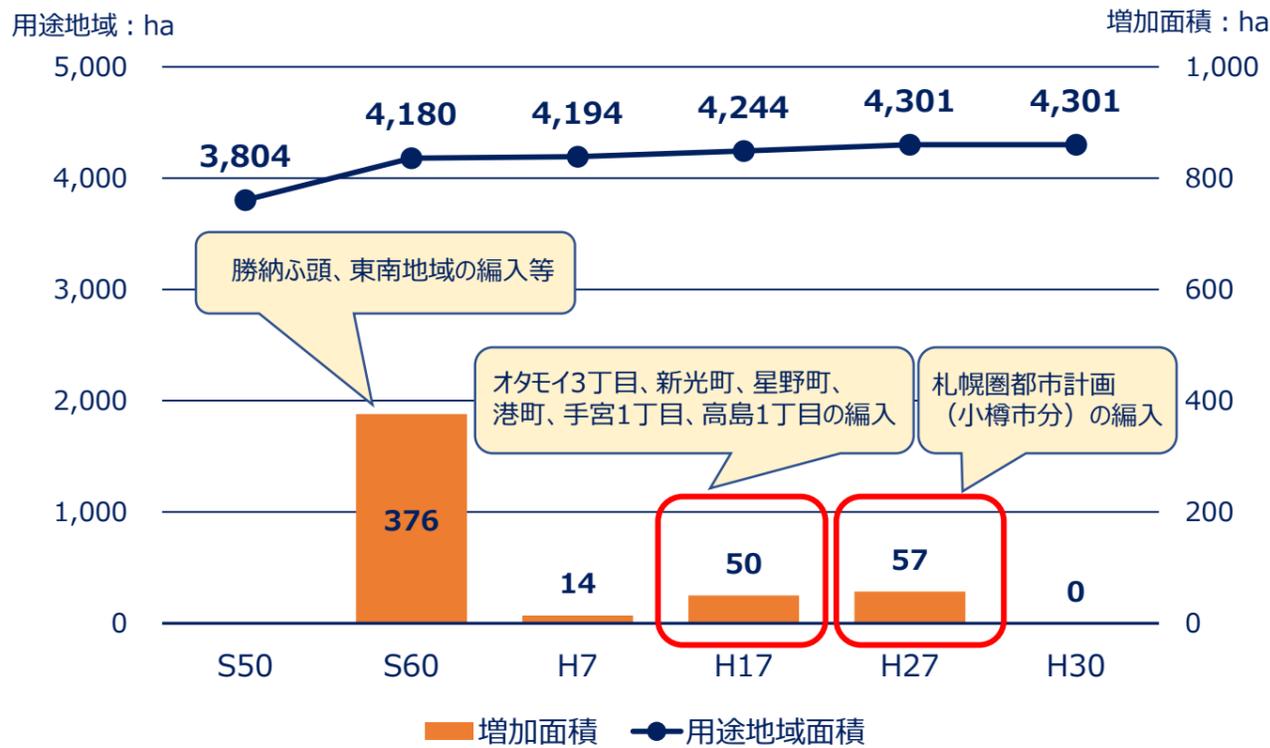


図 小樽市のDID区域の推移

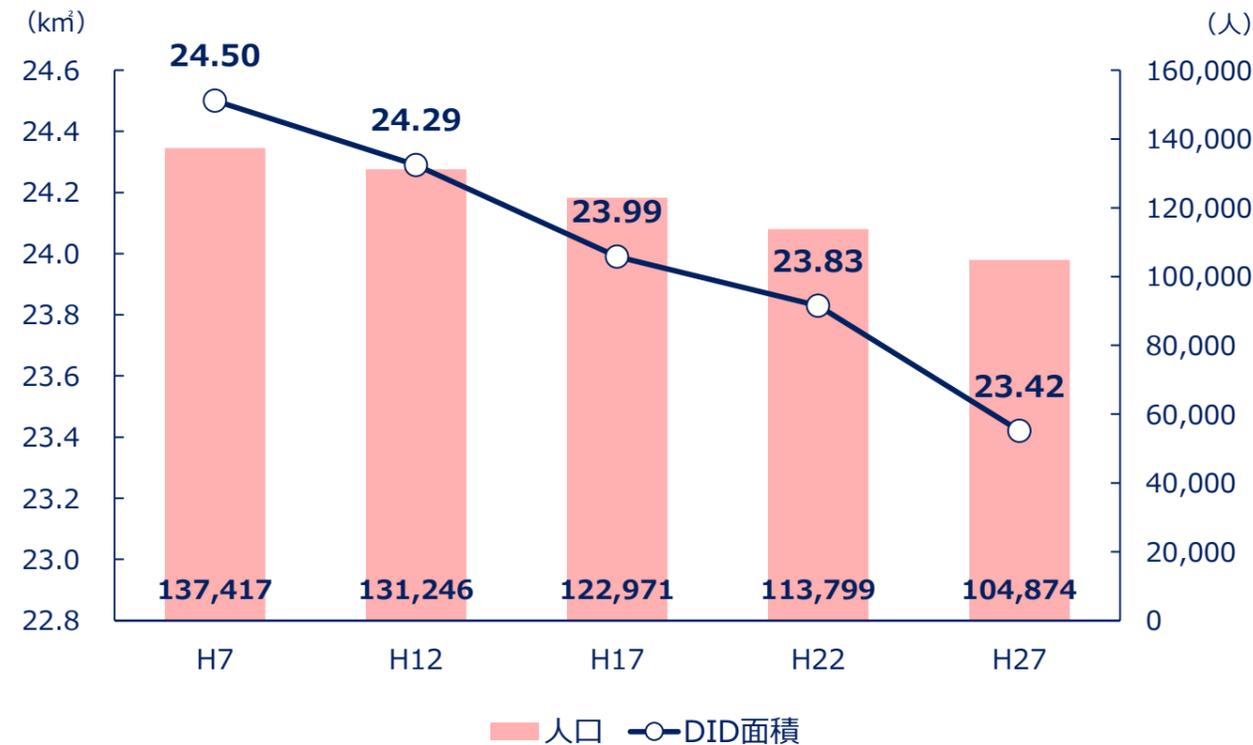


図 小樽市の都市計画区域

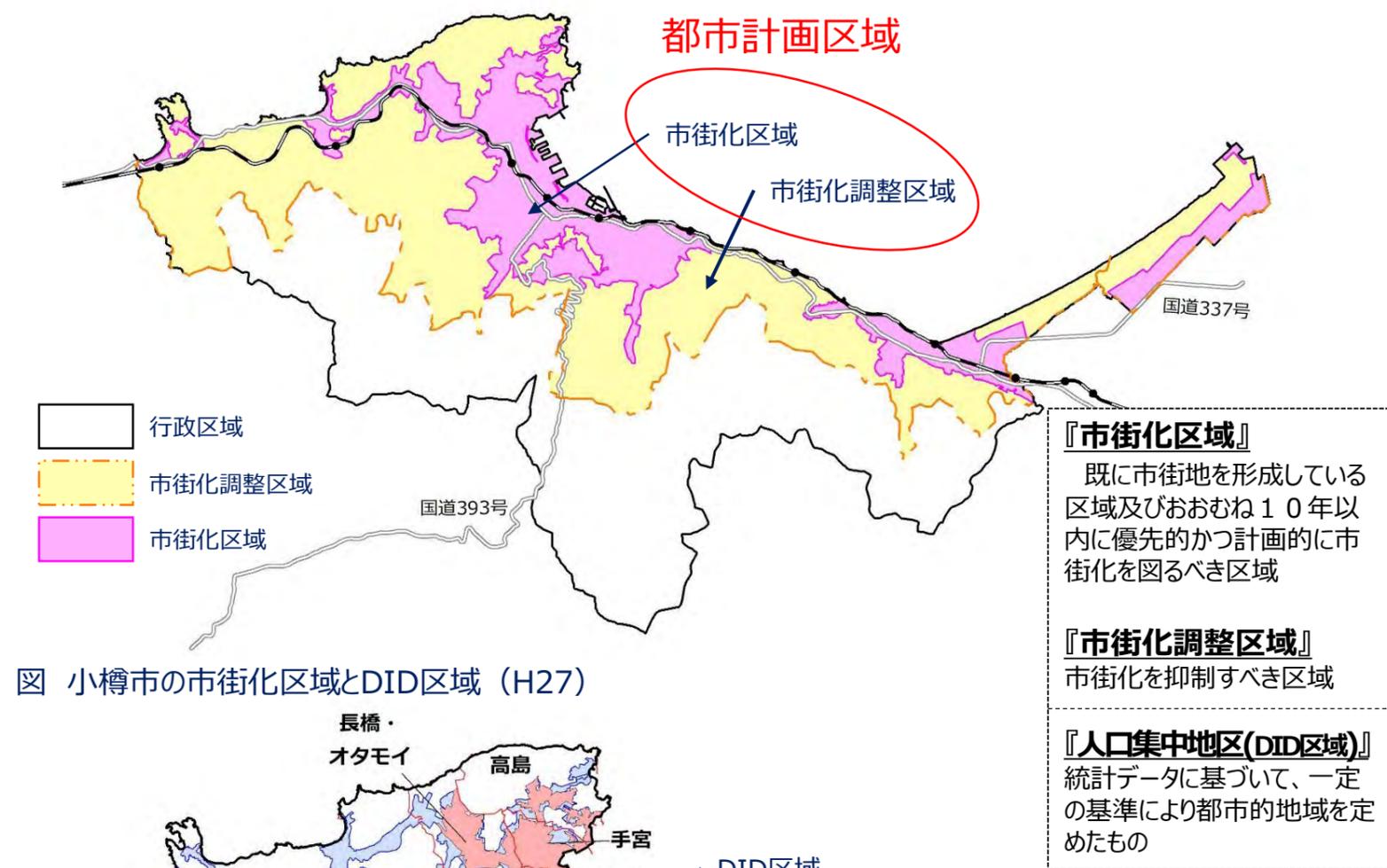
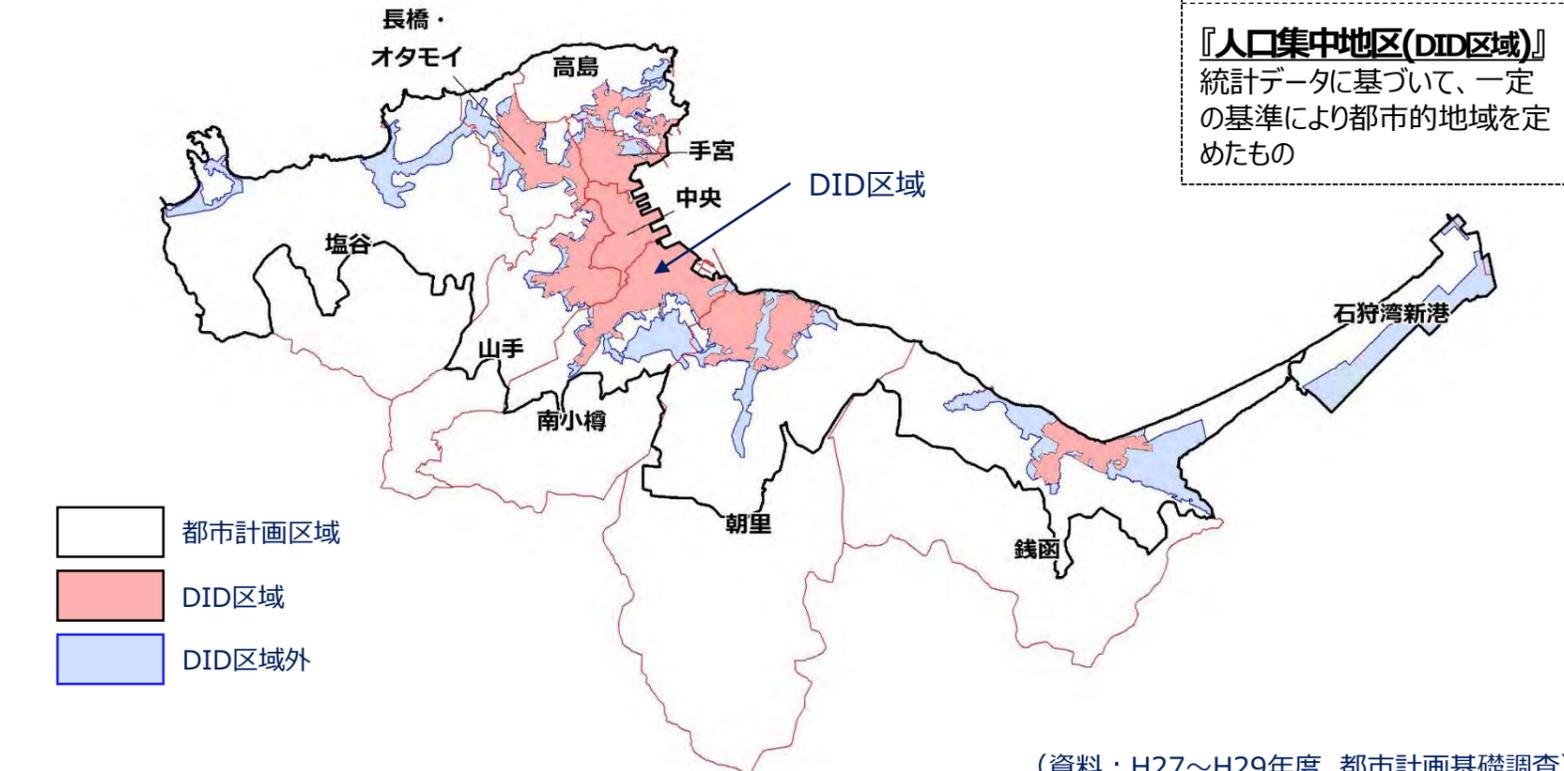


図 小樽市の市街化区域とDID区域（H27）



(資料：H27～H29年度 都市計画基礎調査)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

2. 小樽市の市街地構造（地形・地勢）

②小樽市の空き地（可住地未利用地）の状況（平成27年）

- ・小樽市の空き地（可住地未利用地）面積は、平成27年調査で1,029.1haとなり、市街化区域面積（4,301ha）の約23.9%となっています。
- ・平成18年調査時点より、35.6ha増加している。
- ・南小樽（望洋台）、石狩湾新港（銭函4丁目）、銭函地域（張碓）で面積が多くなっている。

表 小樽市の空き地（可住地未利用地面積）の推移（平成18・27年）

	H18.1.1	H27.10.1		H18-27
		面積(ha)	構成比	
塩谷	112.9	116.5	11.3%	3.60
長橋・オタモイ	103.1	105.9	10.3%	2.80
高島	57.7	61.6	6.0%	3.90
手宮	18.3	24.1	2.3%	5.80
中央	15.4	20.4	2.0%	5.00
山手	33.2	38.1	3.7%	4.90
南小樽	214.5	217.3	21.1%	2.80
朝里	133.1	133.6	13.0%	0.50
銭函	155.3	150.1	14.6%	-5.20
石狩湾新港	150.0	161.5	15.7%	11.50
総計	993.5	1,029.1		35.60

図 小樽市の空き地（可住地面積）の分布状況

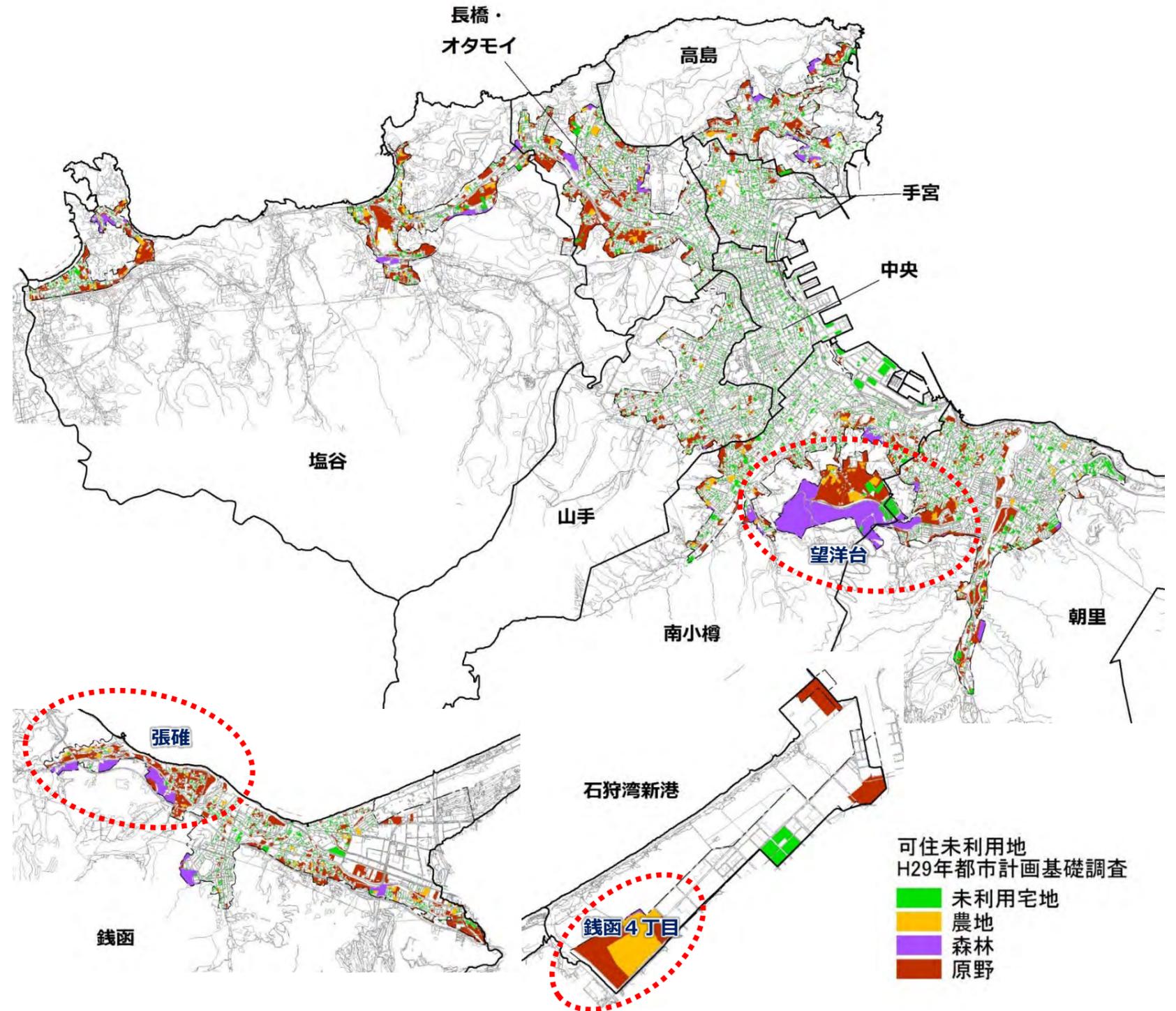


表 小樽市の空き地（可住地未利用地面積）の内訳（平成27年）

	未利用宅地		農地		森林		原野	
	H18	H27	H18	H27	H18	H27	H18	H27
	塩谷	13.1	18.2	13.9	13.9	11.4	11.1	74.4
長橋・オタモイ	22.3	28.1	9.6	9.7	9.0	9.0	62.3	59.1
高島	13.0	17.1	3.6	3.6	9.1	9.1	32.1	31.8
手宮	11.3	17.5	1.7	1.8	0.0	0.0	5.3	4.8
中央	14.3	19.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1
山手	15.8	22.8	1.5	1.4	0.1	0.1	15.8	13.8
南小樽	38.8	47.0	17.4	17.5	83.4	80.9	74.9	71.9
朝里	42.6	48.7	5.0	6.4	15.8	17.1	69.8	61.5
銭函	22.5	26.7	11.7	10.7	27.3	27.0	93.9	85.7
石狩湾新港	18.3	18.2	52.6	51.8	1.3	1.1	77.9	90.5
総計	211.9	263.5	116.8	116.7	157.4	155.5	507.4	493.3

（資料：各年都市計画基礎調査）

- 可住地 : 住宅等が建築されている、もしくは建物は建築されていないが、建築可能な土地
- 可住地未利用地 : 可住地のうち、建物が建築されていない土地
- 未利用宅地 : 都市計画基礎調査により、整備済み区域にある空地（例：開発行為等により整備されているが、建物が建築されていない土地）

2. 小樽市の市街地構造（地形・地勢）

③小樽市の空き家の状況

- ・小樽市内の空き家数は、2,423件で、地区内全建物の5.1%となっている。
- ・空き家の数では、南小樽地域、手宮地域、中央地域で多くなっているが、空き家が占める割合で見ると、手宮地域（9.6%）、塩谷地域（6.7%）高島地域（6.4%）が高くなっている。

表 小樽市の空き家の状況（平成28年）

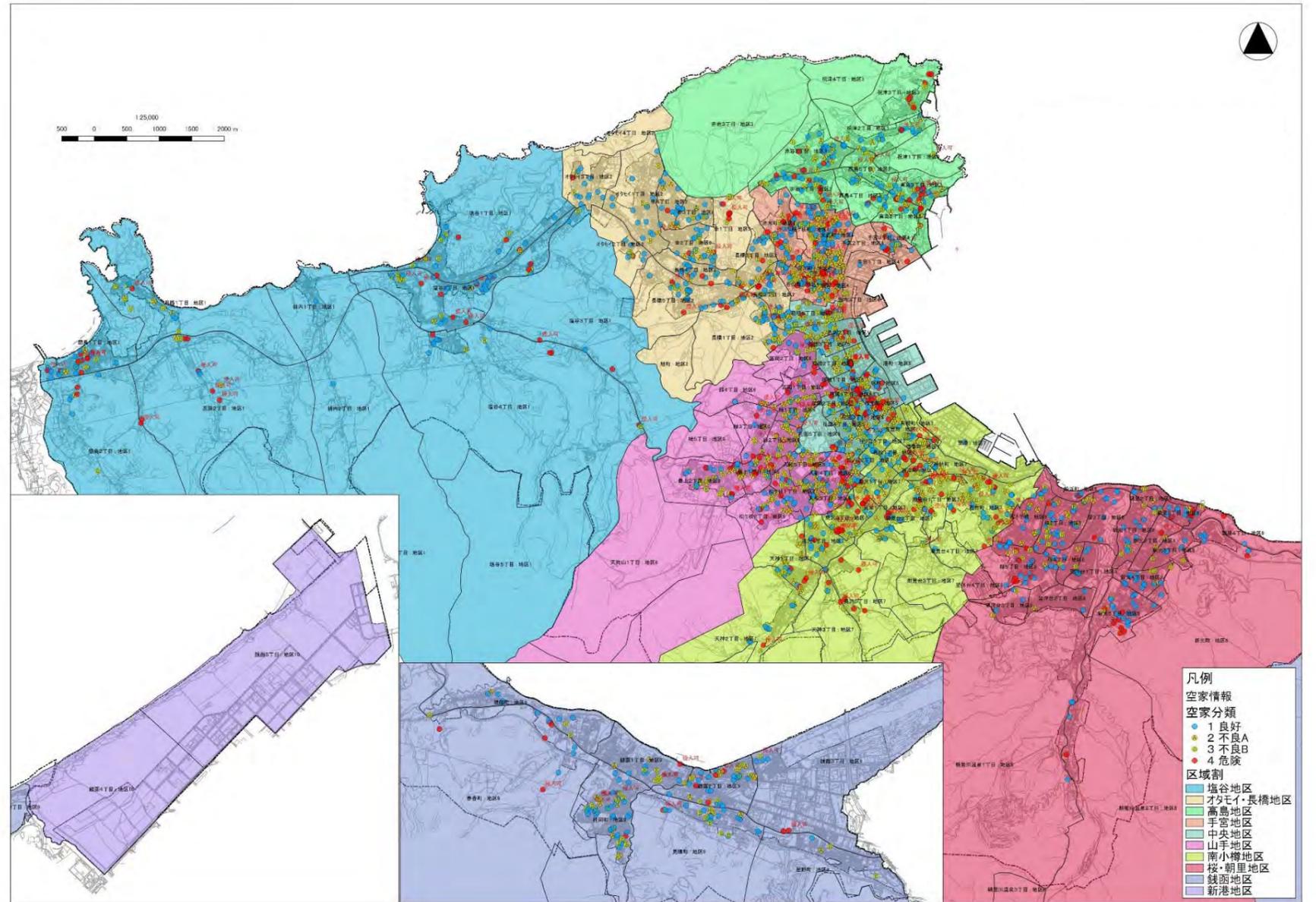
地区番号	地域名称	地区建物数	空家建物数	割合 (%)	良好	準不全	不全
1	01 塩谷地域	2,192	147	6.7	67	45	35
2	02 長橋・オタモイ地域	5,491	267	4.9	154	84	29
3	03 高島地域	3,254	208	6.4	101	73	34
4	04 手宮地域	3,734	358	9.6	138	169	51
5	05 中央地域	5,903	342	5.8	90	178	74
6	06 山手地域	6,322	323	5.1	84	192	47
7	07 南小樽地域	7,172	368	5.1	124	174	70
8	08 桜・朝里地域	8,412	242	2.9	146	66	30
9	09 銭函地域	5,128	168	3.3	81	71	16
		47,608	2,423	5.1	985	1,052	386

（資料：小樽市空家等対策計画）

○空家等の管理状態に関する用語解説

- ・良好：建物の管理状態が良いもの
- ・準不全：このまま放置すると不全となるもの（不全予備軍）
- ・不全：建物の管理状態が悪いもの（破損が大きいもの等）

図 小樽市の空き家の分布状況（平成28年）



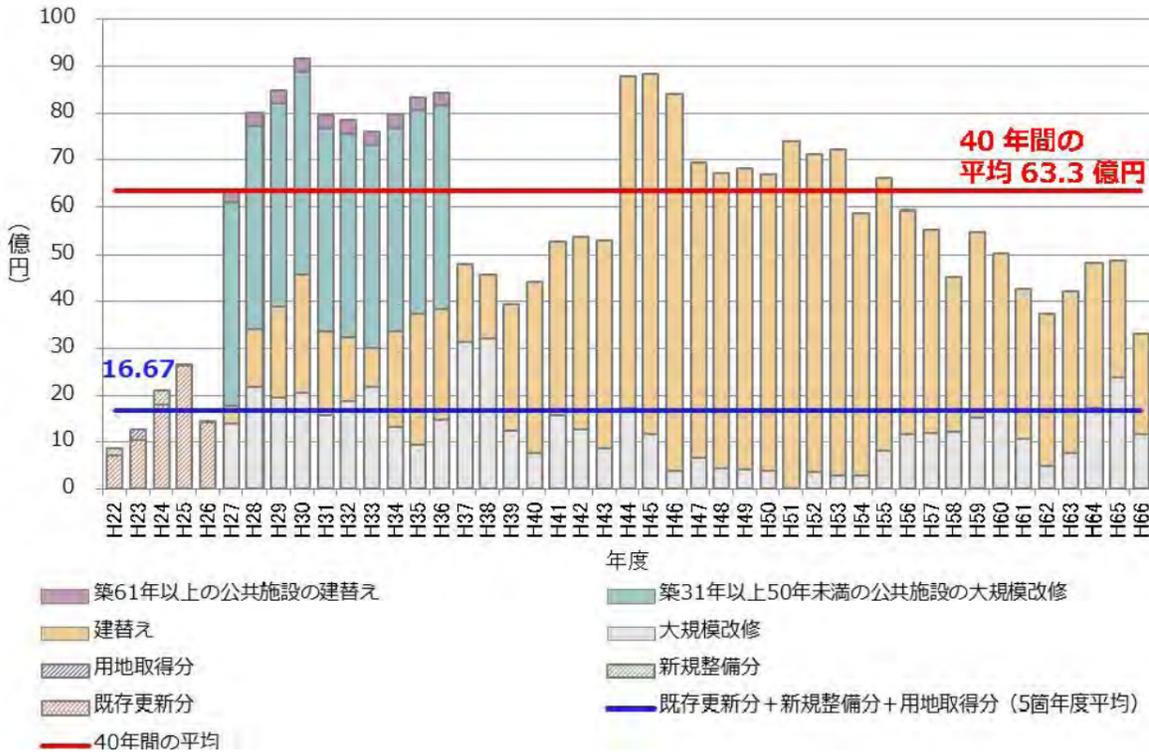
4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

3. 市街地の再編（公共施設、中心市街地）

① 公共施設の再編（公共施設等総合管理計画）

- ・平成28年度に策定した小樽市公共施設等総合管理計画では、公共施設の維持管理にかかる今後40年間の費用を63.3億円/年と試算している。
- ・現状、小樽市が維持管理・更新に充てている費用の約2.9倍となっている。
- ・適切に維持管理・更新を進めるため、全体方針として3つの方針を定めるとともに、建物用途ごとに個別の方針を定めている。

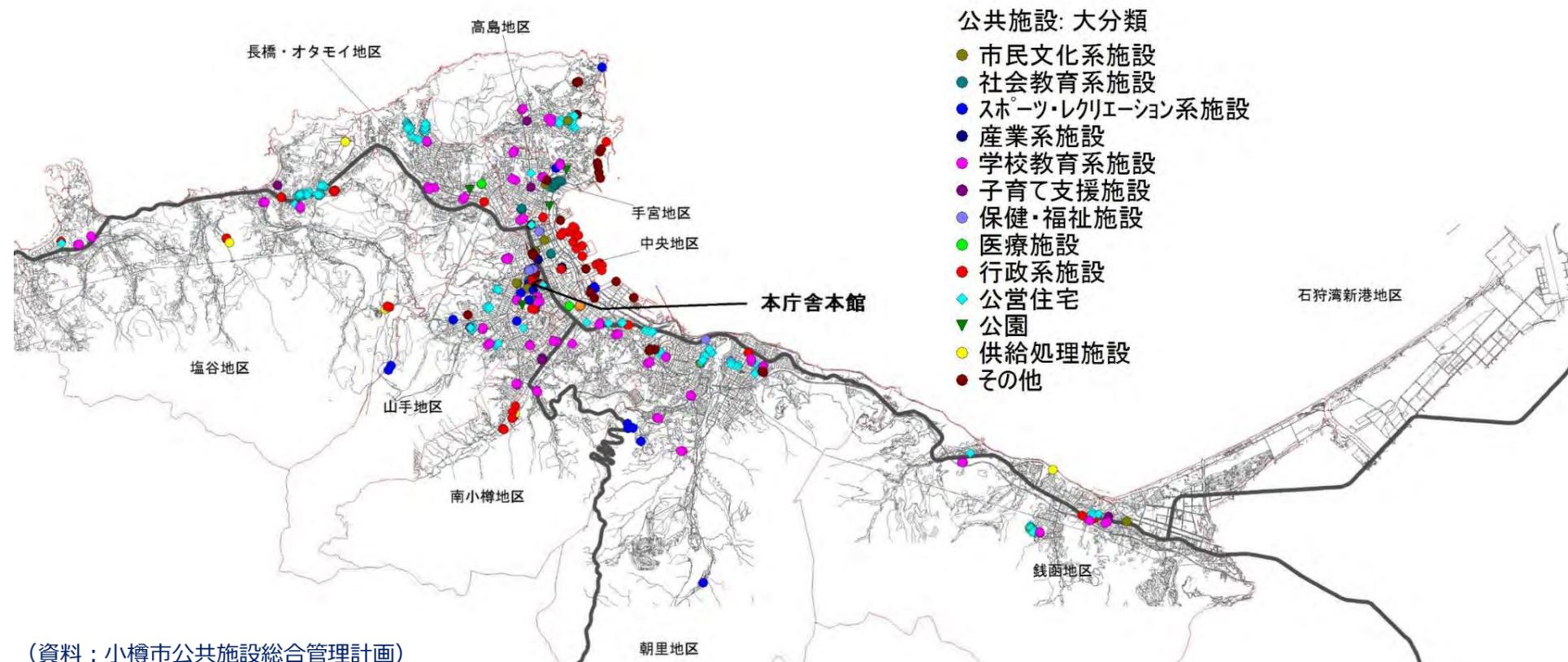
図 小樽市の公共施設の更新費用



公共施設等の管理に関する基本的な方針

- ◆ 人口減少、少子高齢化などの社会情勢に応じた取組の推進
- ◆ 施設の適切な維持管理によるライフサイクルコストの縮減
- ◆ 施設の安全性の確保

図 小樽市の公共施設の分布



(資料：小樽市公共施設総合管理計画)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

3. 市街地の再編（公共施設、中心市街地）

②小樽市の学校再編の動き

- ・小樽市では、平成21年に小樽市立小中学校学校規模・学校配置適正化基本計画を策定し、市内小中学校の再編に取り組んでいる。
- ・統廃合に伴い使われなくなった学校敷地、校舎の利活用について、跡利用検討委員会で検討が進められている。

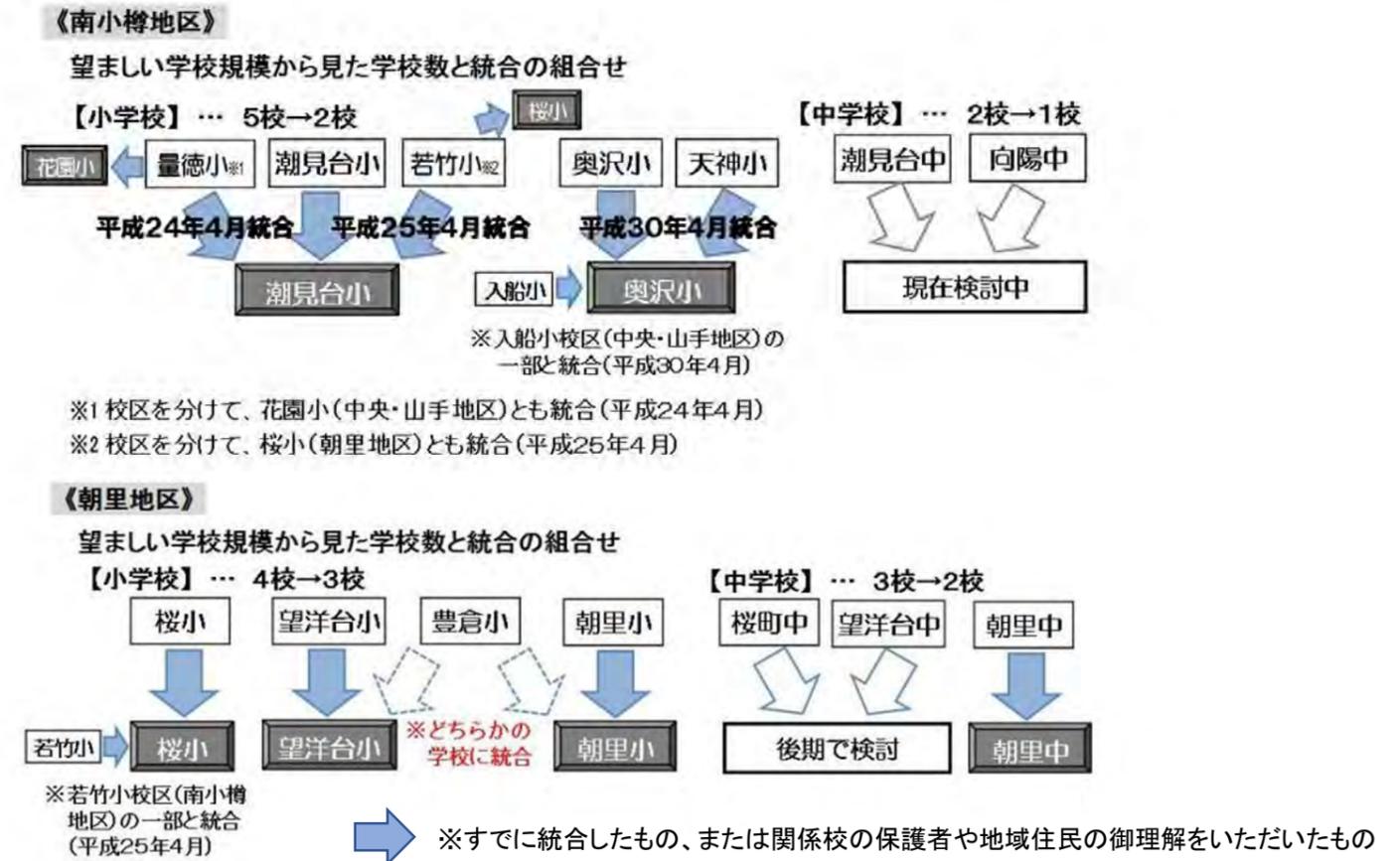
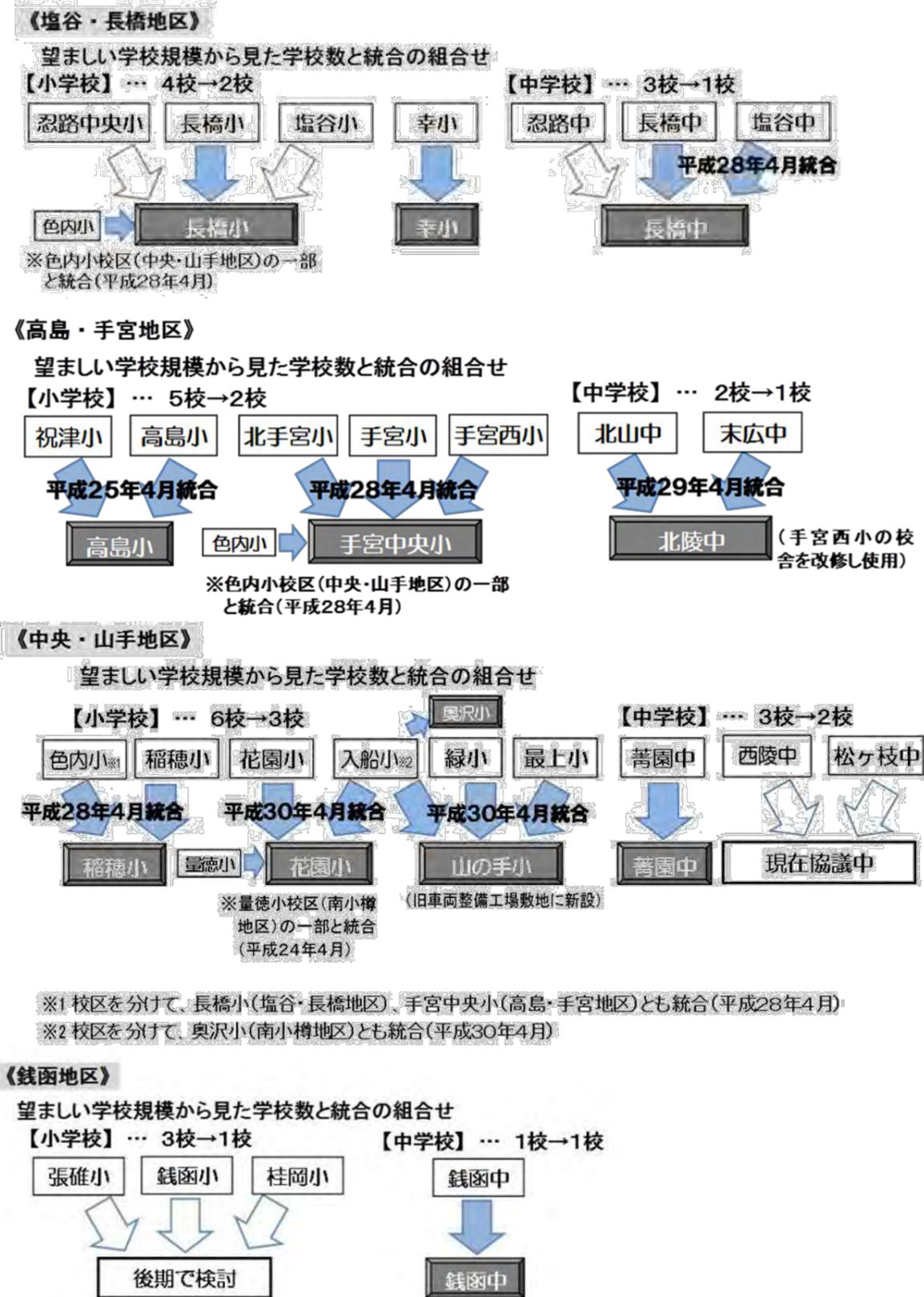
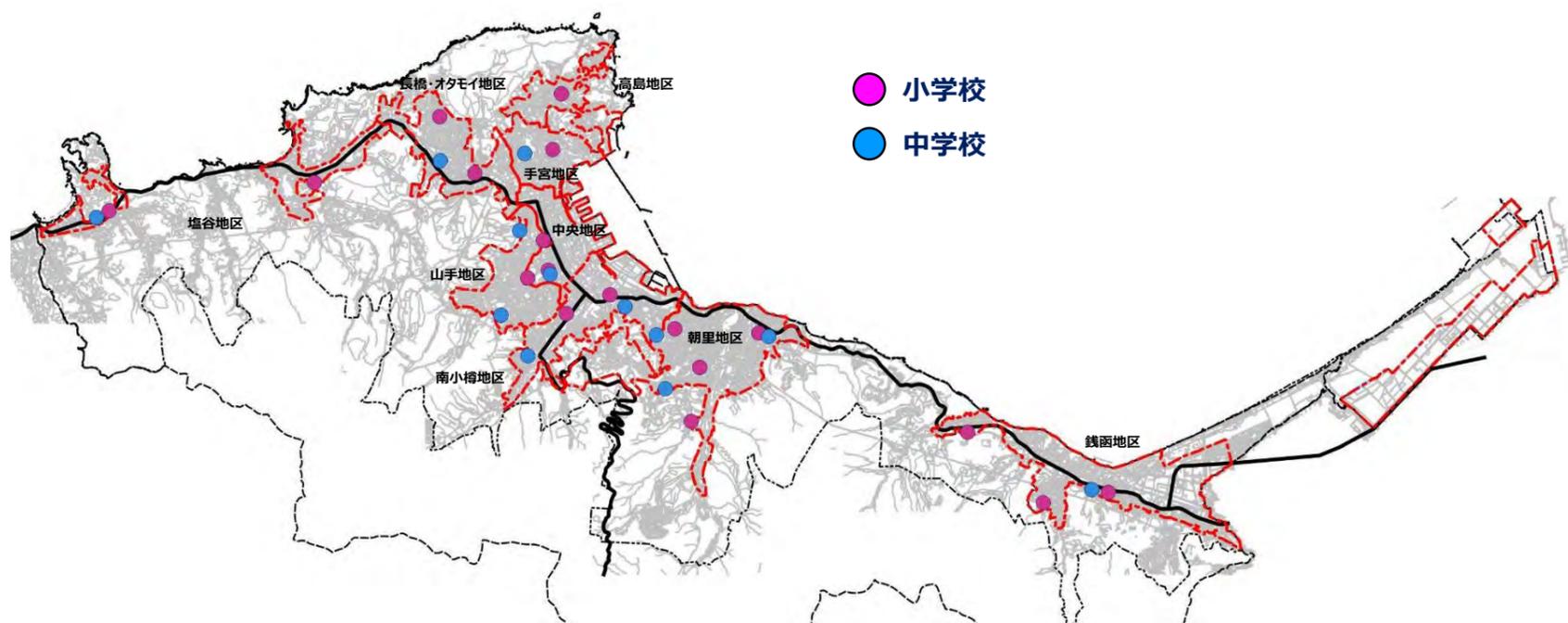


図 小樽市の学校施設の分布状況

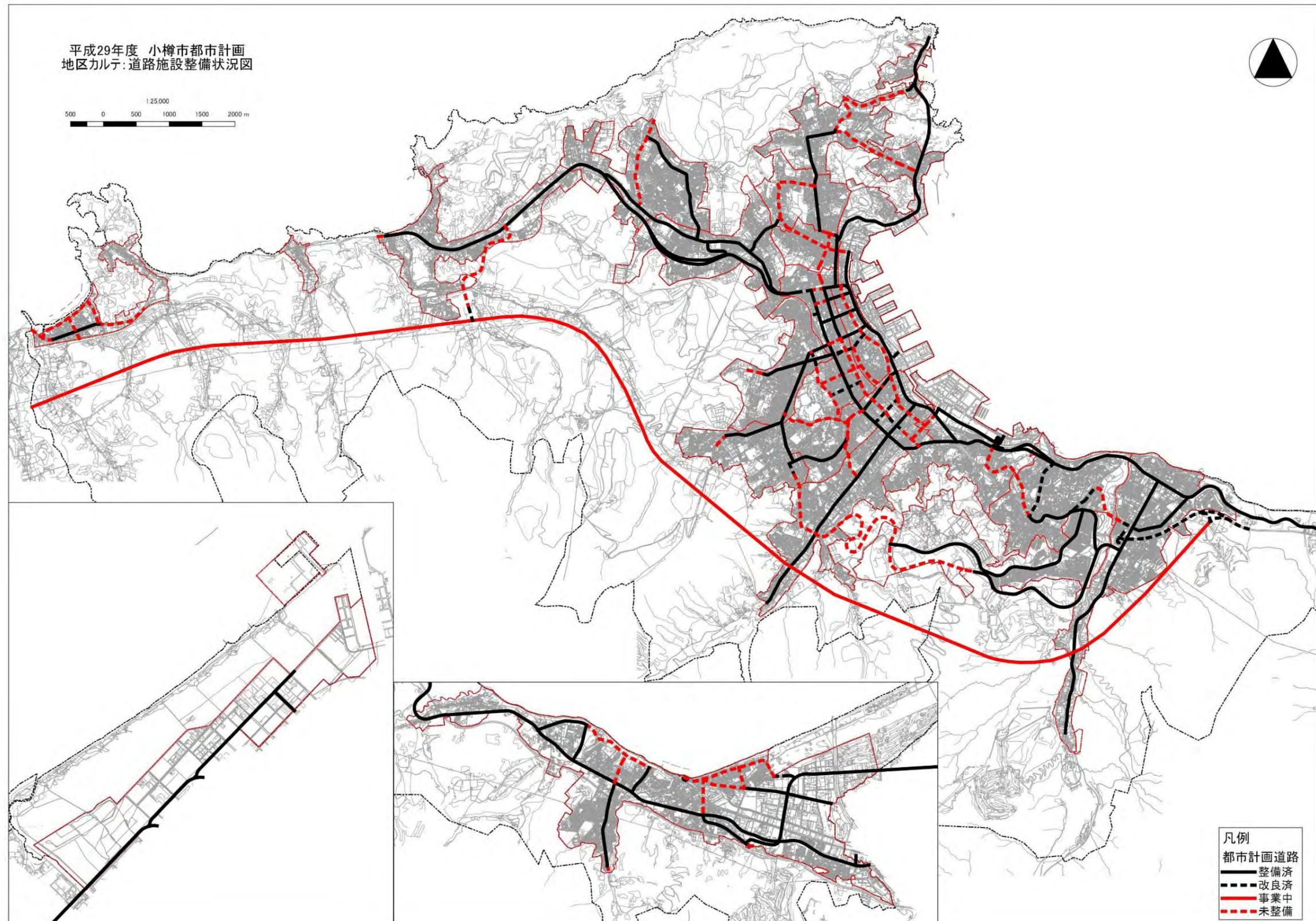


(資料：小樽市立小中学校 学校規模・学校配置 適正化基本計画)

3. 市街地の再編（公共施設、中心市街地）

③都市計画道路の整備状況

- ・小樽市の都市計画道路は、計画で60本、延長で148.74kmとなっている。
- ・そのうち整備済は、約87kmで整備率は約58%となっており、長期未整備の道路が市内に多く存在している。
- ・現行都市計画マスタープランで補助幹線道路として位置付けた道路施設の長期未整備が目立っている。



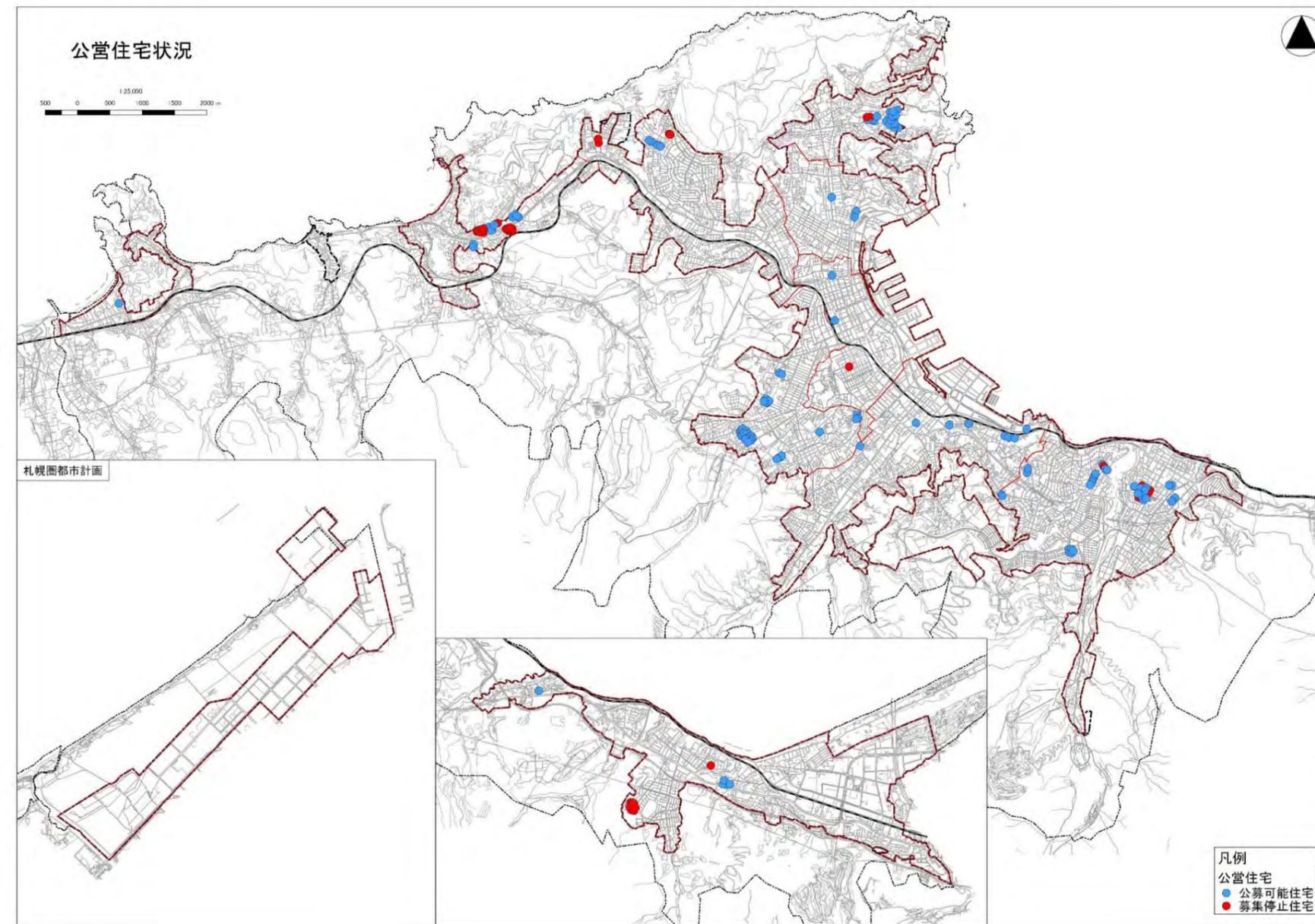
(資料：小樽市調査)

3. 市街地の再編（公共施設）

④公営住宅の状況

- ・小樽市の公営住宅は、市営住宅（管理戸数 3081戸 H29）、道営住宅（管理戸数 1176戸 H29）となっており、入居率は、83.8%(H29)である。
- ・そのうち管理戸数の公募可能住宅戸数は 3410戸、募集停止住宅は847戸と公営住宅の戸数が減少している。
- ・市営住宅については、H22から小樽市公営住宅長寿命化計画に基づき、「建替え」、「改善」、「維持管理」を計画的に進めている。

図 公営住宅位置図



(資料：小樽市調査)

表1 公営住宅入居状況

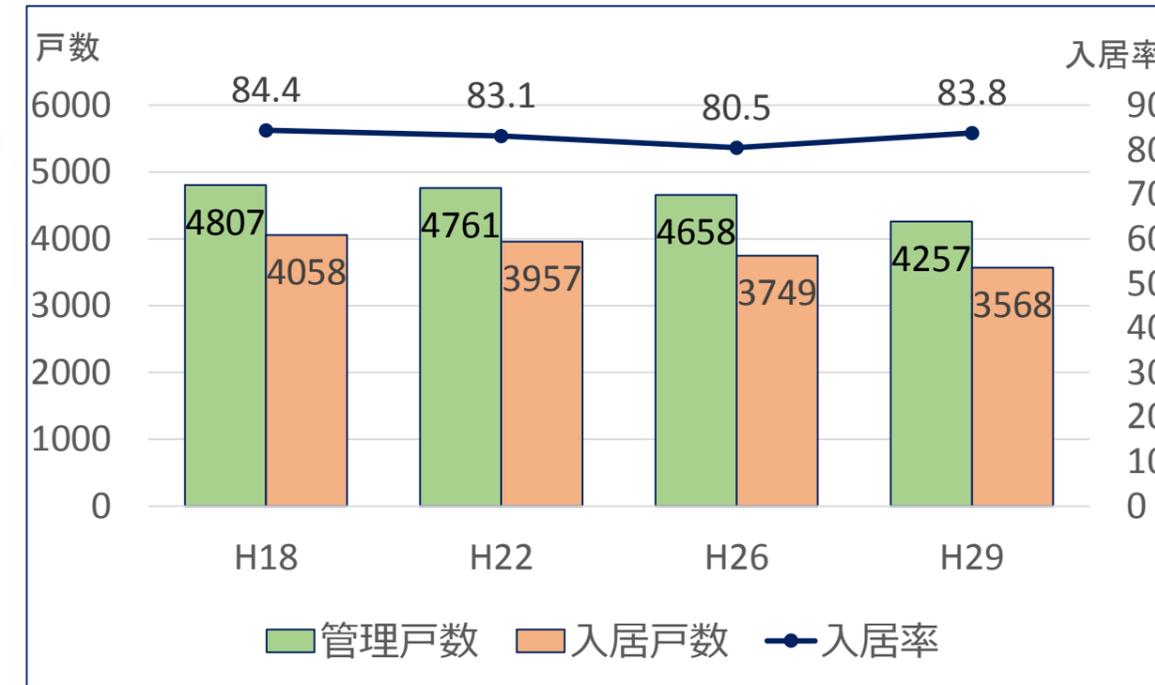
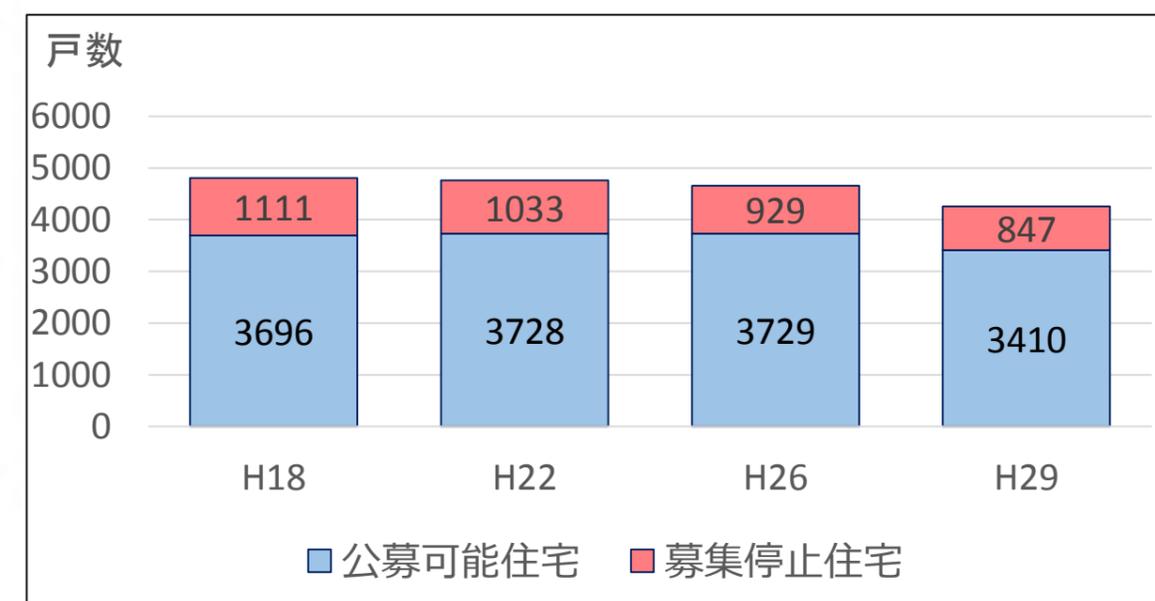


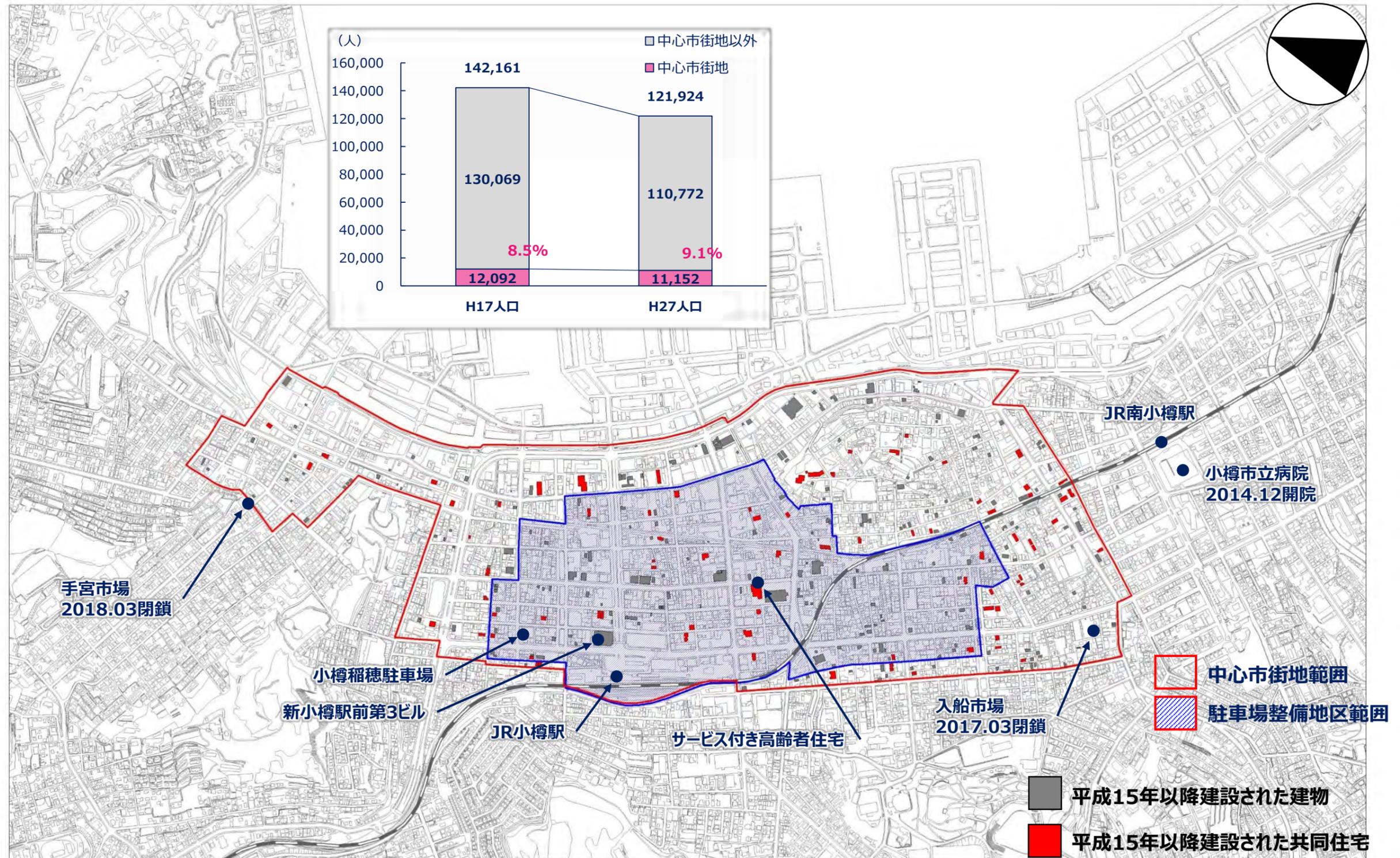
表2 公営住宅管理戸数状況



3. 市街地の現状（中心市街地）

⑤ 中心市街地（市街地再開発、駐車場整備）

- ・小樽市の中心市街地では、市街地再開発事業などが実施された。
- ・直近の都市計画基礎調査によると、中心市街地内では、平成15年度以降、84棟共同住宅が建設されている。
- ・平成27年の中心市街地内の人口は、11,152人で市内全体の9.1%となっており、平成17年と比較すると、人口数は減っているものの、割合は増加している。

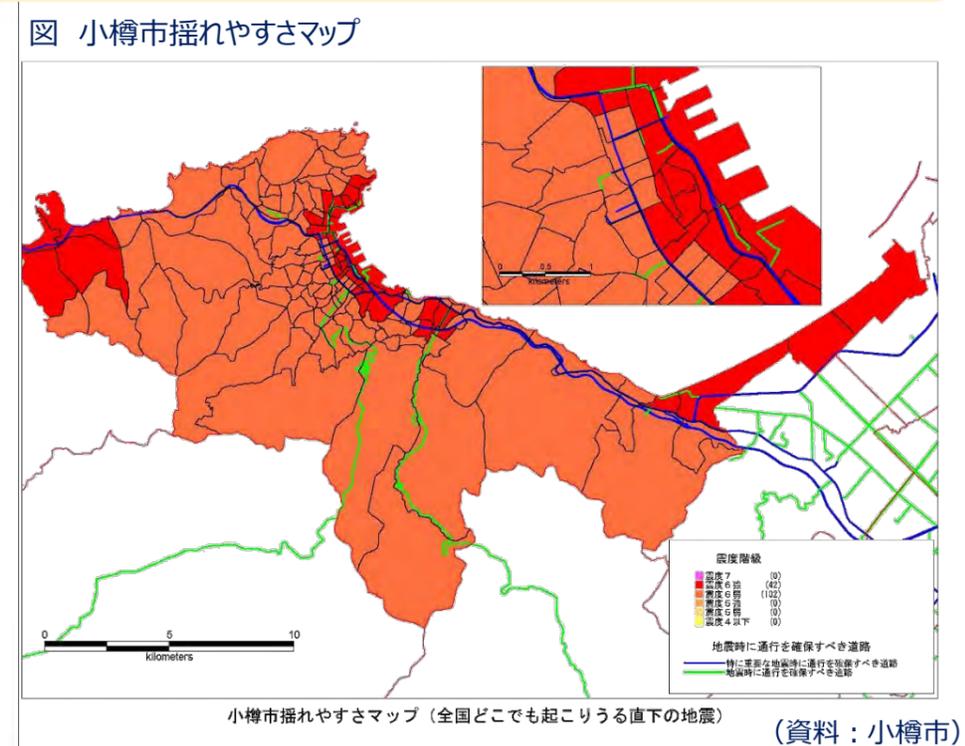
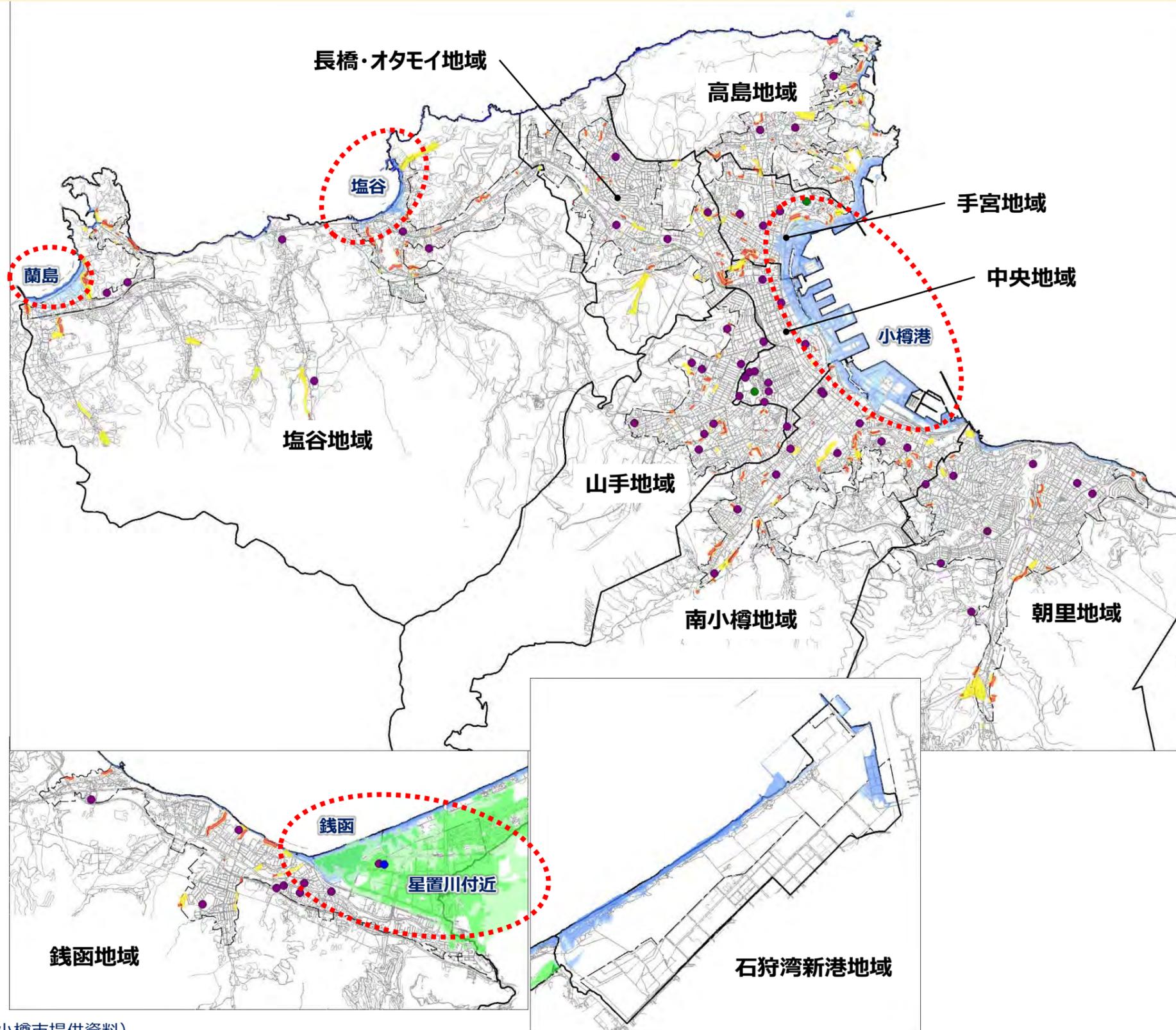


（資料：小樽市）

4. 安全・安心

① 自然災害危険箇所と災害対応策

- ・土砂災害：市内各所の急傾斜地では、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定が進んでいる。（指定数は平成29年1月の最新指定後で各214/205箇所、指定数は今後も増える見込み）
- ・洪水：銭函地域の星置川付近等は、大雨時での洪水浸水想定区域に指定されている。
- ・津波：蘭島、忍路地区から銭函地区に至る沿岸部は、大規模地震時の津波発生による浸水が想定され、平成30年度に津波災害警戒区域として指定されている。
- ・地震：小樽市耐震改修促進計画に基づき、「小樽市揺れやすさマップ」を公表している。
- ・災害応急対策：大規模な災害時において、住民が避難生活を送れる場所として現在、市内で63箇所の施設を避難所に指定するなどの対策をしている。



- 指定避難所等
- 避難所等
 - 緊急避難場所（大規模火災）
 - 津波避難ビル
- 土砂災害危険箇所
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域 等
- 洪水浸水想定区域
- 0.5m未満
 - 0.5～3.0m未満
 - 3.0～5.0m未満
- 津波浸水想定区域
- 5.0m以上10.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 1.0m以上3.0m未満
 - 0.3m以上1.0m未満
 - 0.0m以上0.3m未満

(資料：小樽市提供資料)

表 小樽市の災害指定避難所等一覧

番号	施設名	住所	避難所				緊急避難場所	
			土砂	地震	津波	洪水	地震	津波
1	忍路中央小学校	忍路1-171	○	△	○	-	○	○
2	塩谷小学校	塩谷2-18-1	○	○	○	-	○	○
3	高島小学校	高島5-6-1	○	○	○	-	○	○
4	幸小学校	幸4-21-1	○	△	-	-	○	-
5	長橋小学校	長橋4-5-1	○	○	-	-	○	-
6	手宮中央小学校	末広町13-5	○	○	○	-	○	○
7	稲穂小学校	富岡1-5-1	○	○	○	-	○	○
8	花園小学校	花園5-4-1	○	○	-	-	○	-
9	山の手小学校	花園5-2-20	○	○	-	-	○	-
10	奥沢小学校	奥沢2-5-1	×	△	-	-	○	-
11	潮見台小学校	新富町9-13	○	○	○	-	○	○
12	桜小学校	桜1-16-1	×	○	○	-	○	○
13	望洋台小学校	望洋台1-8-25	○	○	-	-	○	-
14	豊倉小学校	朝里川温泉1-231	×	○	-	-	○	-
15	朝里小学校	新光2-6-1	○	○	○	-	○	○
16	張碓小学校	春香町215	×	○	-	-	○	-
17	桂岡小学校	桂岡町23-1	○	△	-	-	○	-
18	銭函小学校	見晴町5-2	○	○	○	○	○	○
19	忍路中学校	蘭島1-28-1	○	△	○	-	○	○
20	長橋中学校	長橋4-16-1	○	○	-	-	○	-
21	北陵中学校	清水町5-1	×	○	-	-	○	-
22	西陵中学校	富岡2-26-1	×	○	-	-	○	-
23	菁園中学校	花園5-4-2	○	○	-	-	○	-
24	松ヶ枝中学校	松ヶ枝2-4-1	×	○	-	-	○	-
25	向陽中学校	天神1-7-11	○	○	-	-	○	-
26	潮見台中学校	潮見台1-17-1	○	○	-	-	○	-
27	桜町中学校	桜1-29-1	○	○	-	-	○	-
28	望洋台中学校	望洋台3-6-1	○	○	-	-	○	-
29	朝里中学校	新光3-7-1	○	○	○	-	○	○
30	銭函中学校	見晴町2-12	○	○	○	○	○	○
31	旧祝津小学校	祝津3-64	×	○	○	-	○	○
32	旧堺小学校	東雲町9-12	○	△	○	-	○	○
33	双葉中学校体育館	住ノ江1-3-3	○	×	○	-	○	○
34	小樽潮陵高等学校体育館	潮見台2-1-1	○	○	-	-	○	-
35	小樽桜陽高等学校体育館	長橋3-19-1	×	○	-	-	○	-
36	小樽未来創造高等学校体育館	最上1-29-1	○	○	-	-	○	-

番号	施設名	住所	避難所				緊急避難場所	
			土砂	地震	津波	洪水	地震	津波
37	小樽商業高等学校体育館	緑3-4-1	×	○	-	-	-	-
38	小樽水産高等学校体育館	若竹町9-1	○	○	○	-	○	○
39	北海道高等聾学校体育館	銭函1-5-1	○	○	-	-	○	-
40	北照高等学校体育館	最上2-5-1	○	×	-	-	-	-
41	双葉高等学校体育館	住ノ江1-3-17	○	○	○	-	-	-
42	小樽明峰高等学校体育館	最上1-14-17	×	○	-	-	-	-
43	小樽海上技術学校体育館	桜3-21-1	○	×	○	-	-	○
44	北海道職業能力開発大学校体育館	銭函3-190	○	○	×	○	-	○
45	小樽商科大学体育館	緑4-4-14	×	○	-	-	○	-
46	銭函サービスセンター	見晴町3-26	○	△	○	○	-	-
47	塩谷サービスセンター	塩谷1-18-7	○	△	-	-	-	-
48	手宮保育所	梅ヶ枝町3-23	×	△	-	-	-	-
49	奥沢保育所	奥沢3-22-1	○	○	-	-	-	-
50	銭函保育所	銭函2-23-13	○	△	○	○	-	-
51	公会堂	花園5-2-1	○	△	-	-	-	-
52	赤岩保育所	赤岩2-21-1	○	○	-	-	-	-
53	市民会館	花園5-3-1	○	△	-	-	-	-
54	勤労青少年ホーム	緑1-9-4	○	△	-	-	-	-
55	総合体育館	花園5-2-2	×	△	-	-	-	-
56	市民消防防災研修センター	天神2-18-17	×	○	-	-	○	-
57	桃内町内会館	桃内1-167	○	○	○	-	-	-
58	市民センター（マリホール）	色内2-13-5	○	○	○	-	-	-
59	小樽市教育委員会庁舎	花園5-10-1	×	△	-	-	○	-
60	銭函市民センター	銭函2-28-10	○	△	-	○	-	-
61	北しりべし広域クリーンセンター	桃内2-111-2	×	○	-	-	-	-
62	いなきたコミュニティセンター	稲穂5-10-1	○	○	○	-	○	○
63	入船六三町会会館	入船2-23-16	○	○	-	-	-	-
64	手宮公園	手宮2	大規模災害緊急避難場所					
65	小樽公園	花園5	大規模災害緊急避難場所					
66	北海道職業能力開発大学体育館	銭函3-190	津波避難ビル					

凡例 ○：開設する △：安全が確認された場合に開設する ×開設しない -：対象外

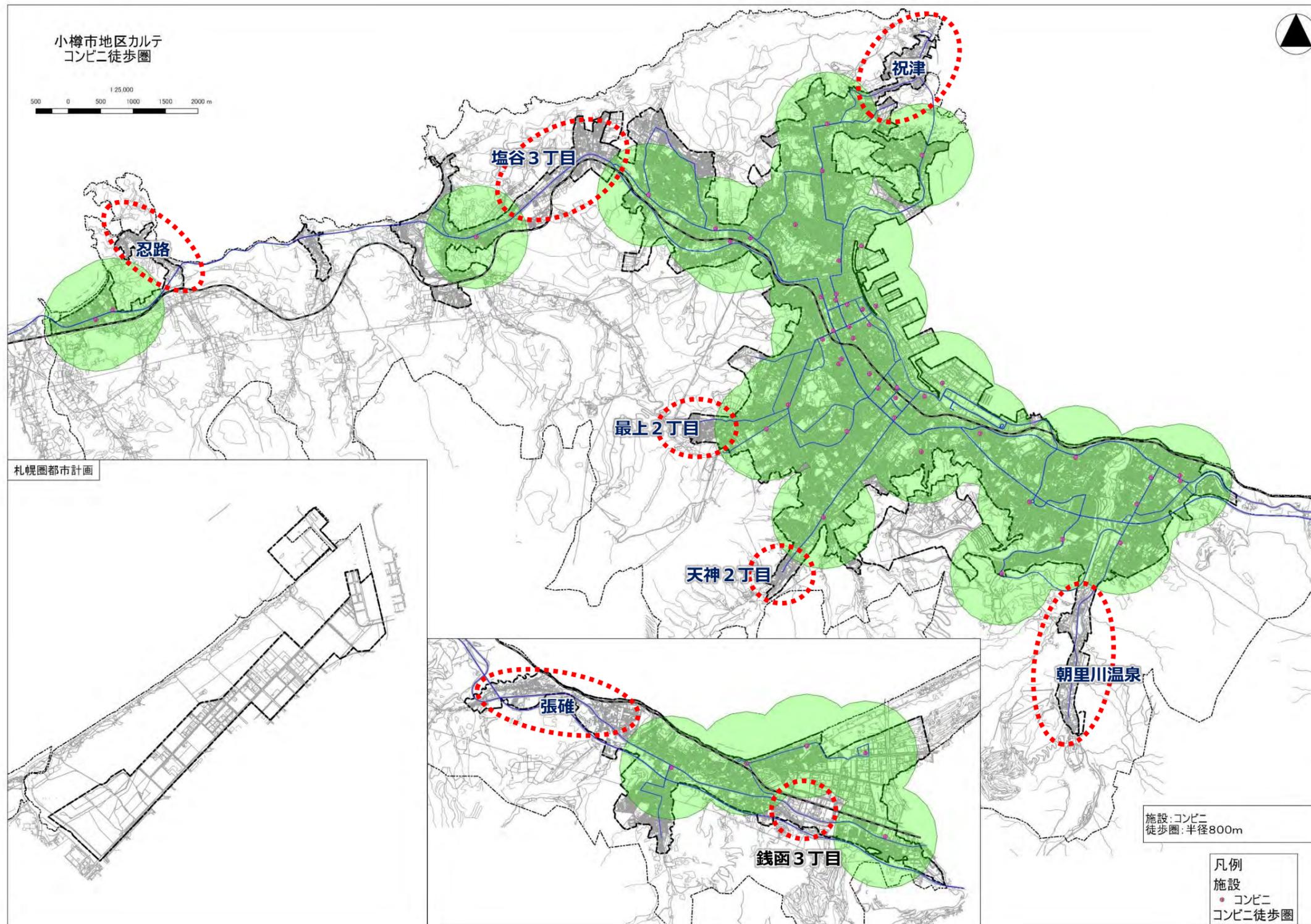
4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

4. 安全・安心

②生活便利施設と徒歩圏（コンビニエンスストア）

- ・市内の生活便利施設（コンビニエンスストア）は53箇所、コンビニエンスストアから800m圏の人口は、109,681人となっており、人口カバー割合は、90.6%となっている。
- ・市街地の端部や地区と地区の間で空白箇所が存在する。
- ・小樽市では、災害時における物資供給等に関する協定を(株)セブン-イレブン・ジャパンと締結している。この他、北海道でも同様の協定を（株）セコマ他3社の各社と締結している。

表 図中のコンビニエンスストア一覧



名称
1 セイコーマート蘭島店
2 セイコーマート小樽長橋店
3 セイコーマートかめやま高島店
4 セイコーマート小樽梅ヶ枝店
5 セイコーマート石山
6 セイコーマートなかた店
7 セイコーマート小樽入船店
8 セイコーマート小樽最上店
9 セイコーマート小樽築港店
10 セイコーマート小樽若竹店
11 セイコーマートのぐち
12 セイコーマート桜町店
13 セイコーマート望洋台店
14 セイコーマート新光店
15 セイコーマート小樽銭函
16 セブンイレブン小樽蘭島店
17 セブンイレブン塩谷店
18 セブンイレブン小樽長橋店
19 セブンイレブン小樽稲穂3丁目店
20 セブンイレブン小樽稲穂5丁目店
21 セブンイレブン小樽船見坂下店
22 セブンイレブン小樽緑店
23 セブンイレブン花園2丁目店
24 セブンイレブン小樽入船1丁目店
25 セブンイレブン小樽信香店
26 セブンイレブン北海道S T南小樽店
27 セブンイレブン小樽市立病院
28 セブンイレブン小樽若松1丁目店
29 セブンイレブン小樽奥沢店
30 セブンイレブン小樽桜町店
31 セブンイレブン小樽朝里3丁目店
32 セブンイレブン小樽新光1丁目店
33 セブンイレブン小樽桂岡店
34 セブンイレブン小樽銭函店
35 セブンイレブン小樽銭函3丁目店
36 ローソン 小樽オタマイー丁目店
37 ローソン 小樽色内店
38 ローソン小樽色内三丁目店
39 ローソン小樽堺町店
40 ローソン 小樽稲穂十字街店
41 ローソン小樽富岡一丁目店
42 ローソン 小樽すし屋通店
43 ローソン 小樽花園二丁目店
44 ローソン小樽花園三丁目店
45 ローソン おたる望洋店
46 ローソン小樽新光二丁目店
47 ローソン小樽新光一丁目店
48 ローソン小樽銭函三丁目店
49 ファミリーマート小樽長橋5丁目店
50 ファミリーマート赤岩店
51 ファミリーマート小樽色内1丁目店
52 ファミリーマート小樽運河店
53 ファミリーマート小樽稲穂2丁目店

(資料：小樽市調査)

4. 安全・安心

②生活利便施設と徒歩圏（食料品店舗）

- ・市内の生活利便施設（食料品店舗）は22箇所、店舗から800m圏の人口は、83,506人となっており、人口カバー割合は、69.0%となっている。
- ・塩谷地区、長橋・オタモイ地区、高島地区、朝里地区の一部、銭函地区の一部で空白箇所が存在する。
- ・H30年にトライアルが新光に完成予定。

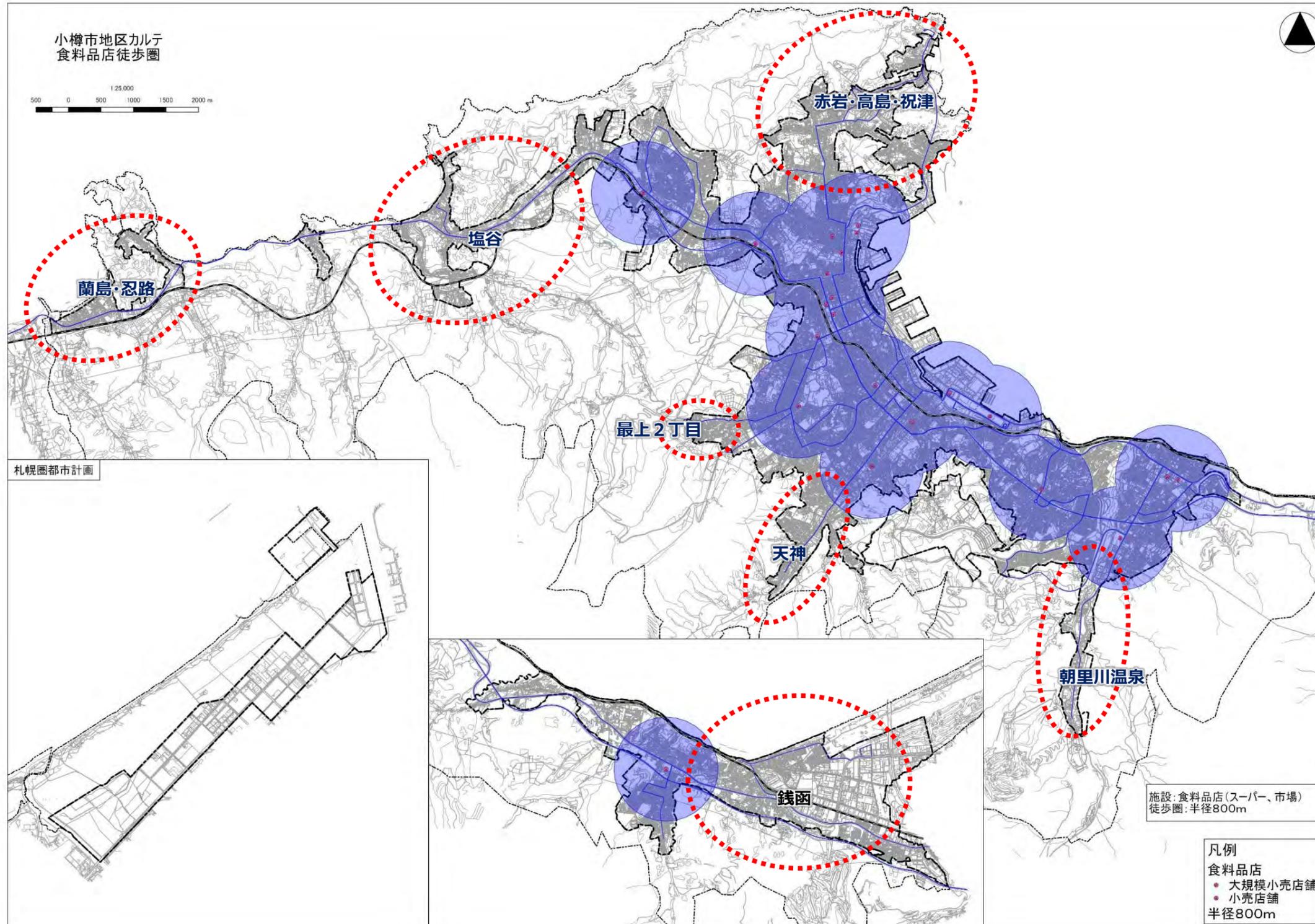


表 図中の食料品店舗一覧

名称
1 イオン小樽
2 株式会社長崎屋小樽店
3 マックスバリュ-手宮店
4 フードセンター小樽店
5 ホクレンショップ朝里店
6 市民生協コープさっぽろ小樽南店
7 市民生協コープさっぽろみどり店
8 市民生協コープさっぽろオタモイ店
9 ラッキー朝里店
10 スーパーチェーンシガ桜町店
11 スーパーアークス奥沢店
12 スーパーチェーンシガ手宮店
13 スーパーチェーンシガ山の手店
14 スーパーチェーンシガ長橋店
15 鱗友朝市
16 小樽丸共手宮市場商業協同組合
17 小樽中央市場協同組合
18 三角市場
19 小樽妙見市場商業協同組合
20 南小樽市場協同組合
21 丸市新南小樽市場複合ビル
22 ヲルスマート桂岡店
23 トライアル（H30 開店予定）

（資料：小樽市調査）

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

4. 安全・安心

②生活便利施設と徒歩圏（医療施設）

- ・生活便利施設（医療施設）は56箇所、医療施設から800m圏の人口は、95,979人となっており、人口カバー割合は79.3%となっている。
- ・塩谷地区、高島地区、朝里地区の一部、銭函地区の一部と地区と地区との間で空白箇所が存在する。

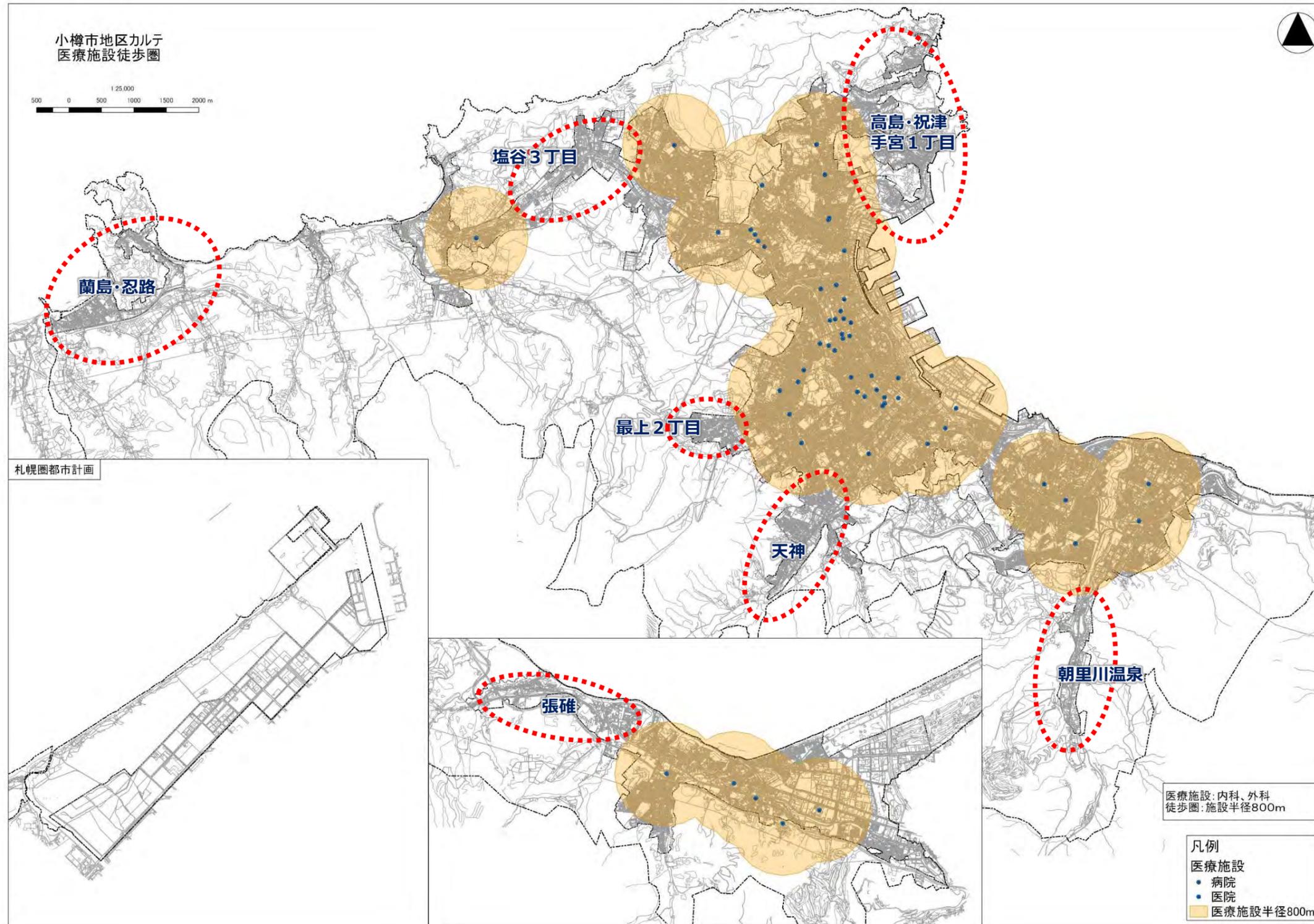


表 図中の医療施設一覧

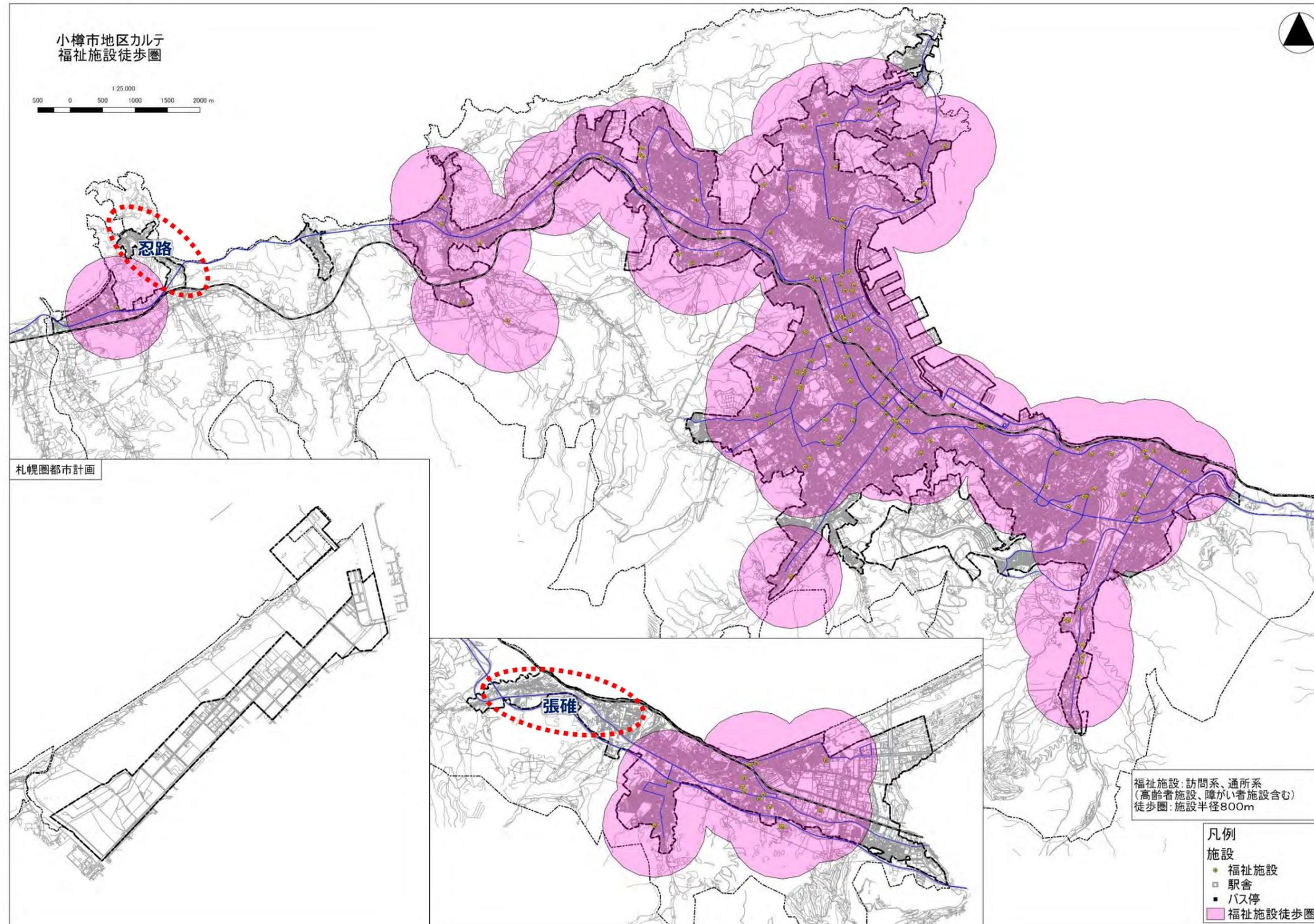
名称
1 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 北海道済生会西小樽病院
2 小樽市立病院
3 社会福祉法人 北海道社会事業 協会小樽病院
4 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 北海道済生会小樽病院
5 小樽掖済会病院
6 大倉山学院
7 医療法人 北仁会 石橋病院
8 医療法人 北光会 朝里中央病院
9 医療法人 勉仁会 東小樽病院
10 医療法人 ひまわり会 札樽病院
11 医療法人社団 ミツ山病院
12 医療法人 西病院
13 医療法人社団心優会 野口病院
14 医療法人社団 青優会 南小樽病院
15 医療法人社団 北匠会 小樽中央病院
16 医療法人社団 ウェルネス望洋台医院
17 医療法人 うのクリニック
18 医療法人社団 太田整形外科医院
19 医療法人社団 大橋内科胃腸科クリニック
20 おたる呼吸器内科
21 おたるレディースクリニック
22 中垣内科小児科医院
23 本間内科医院
24 医療法人社団 松島内科
25 三浦外科肛門科医院
26 医療法人社団 阿久津内科医院
27 医療法人社団 安達内科医院
28 医療法人いそがい内科クリニック
29 医療法人社団 板谷内科胃腸科医院
30 梅ヶ枝内科・眼科クリニック
31 医療法人社団 うりた循環器科・内科クリニック
32 太田医院
33 医療法人社団 大本内科クリニック
34 医療法人勉仁会 おたる中央通クリニック
35 小樽長橋内科
36 医療法人社団 小野内科医院
37 桂田医院
38 勤医協小樽診療所
39 医療法人社団 桜台クリニック
40 医療法人社団 一視同仁会 札樽・すがた医院
41 医療法人社団 潮見台内科クリニック
42 医療法人社団 せのた内科クリニック
43 そとぞの内科医院
44 医療法人社団 消化器科・内科高橋医院
45 医療法人社団 高村内科医院
46 医療法人社団 谷口内科医院
47 医療法人社団 直江クリニック
48 医療法人社団 清か・なつ胃腸科内科クリニック
49 医療法人社団 錦町医院
50 新田医院
51 医療法人社団 敬愛会 本多医院
52 松原内科クリニック
53 山口内科クリニック
54 医療法人社団 吉澤内科クリニック
55 小樽市夜間急病センター
56 原田内科医院

(資料：小樽市調査)

4. 安全・安心

②生活利便施設と徒歩圏（福祉施設）

- ・市内の生活利便施設（福祉施設）は、239箇所、施設から800m圏の人口は、116,066人となっており、人口カバー割合は95.9%となっている。
- ・塩谷地区の一部、銭函地区の一部で空白箇所が存在する。



(資料: 小樽市調査)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

4. 安全・安心

②生活利便施設と徒歩圏（福祉施設）

表 図中の福祉施設一覧

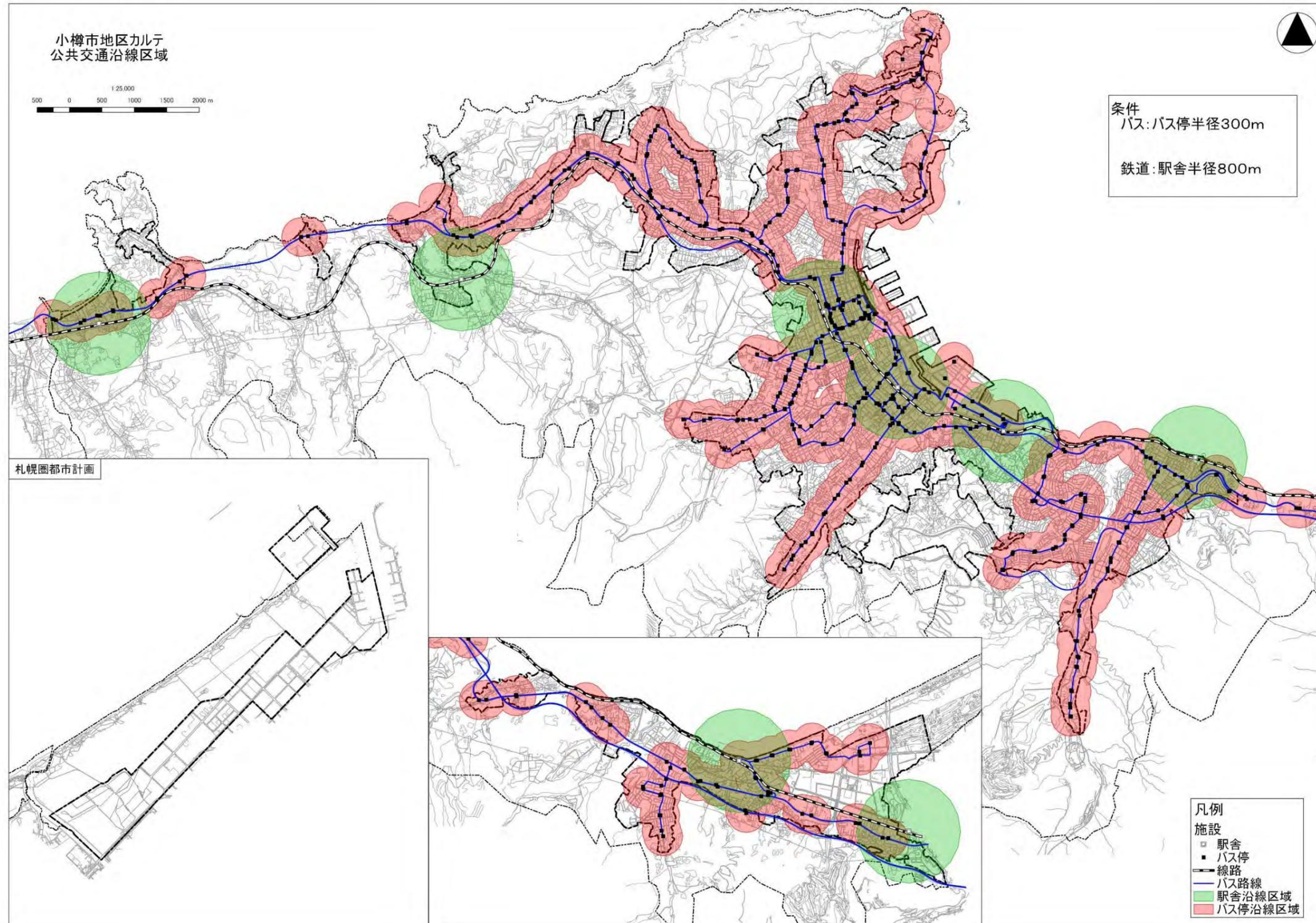
	名称		名称		名称		名称
1	ニチイケアセンター小樽奥沢	71	なるみ薬局 稲穂店	141	デイサービスセンター朝里山荘	211	デイ松泉
2	ホームヘルパーステーションはる小樽稲穂	72	アルファ調剤薬局 見晴店	142	デイサービス おたる	212	ワークステーション シーウィンド
3	有限会社在宅介護サービス小樽	73	クローバー薬局	143	共用型デイサービスアイケアげに函	213	北海道宏栄社
4	社会福祉法人小樽市社会福祉協議会 たんぼほ指定訪問介護事業所	74	パンフック薬局 南小樽店	144	共用型デイサービス アイケアおたる	214	Y u i ・たかしま
5	ヘルパーステーション「ゆとり」	75	ケア・オフィス 優（看護課）	145	認知症対応型デイサービス「キセキ」	215	小樽四ツ葉学園
6	オタモイヘルパーセンター	76	訪問看護ステーションそら	146	医療法人社団 松島内科	216	よつば ふれあい
7	ホームヘルパーステーション朝里温泉	77	ニチイケアセンター小樽奥沢	147	社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽老人保健施設はまなす	217	シェアリング和光
8	ホームヘルプサービス歩	78	デイサービスセンターはる	148	医療法人社団 ミツ山病院	218	ウイリング和光
9	公益財団法人ソーシャルサービス協会せせらぎ	79	デイサービスセンターだんらん	149	社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽老人保健施設はまなす	219	障がい者支援施設 朝里ファミリア
10	有限会社 愛ケアサポート	80	新光デイサービスセンター	150	デイケアセンター朝里中央	220	松泉学院
11	有限会社 ケアサポートほほえみ 訪問介護事業所	81	デイサービスセンター・ハーモニ	151	あすなろの社	221	塩梅屋
12	ケアステーションかがやき訪問介護事業所	82	ケアサービス さくら	152	小規模多機能型ホーム ぬくもり	222	笑ころ
13	ケアサービスあおぞら	83	デイサービスセンター 彩り	153	蘭島小規模多機能ホーム さくら	223	よつば さくら
14	有限会社 ケアサービスまごころ	84	南樽整形デイサービス	154	小規模多機能ホーム 奏	224	一体型事業所 すまいる
15	有限会社 サボウト ふかがわ	85	デイサービス絆	155	小規模多機能ホーム つみき	225	生活介護・児童発達支援一体型事業所 虹
16	ヘルパーステーション花てまり	86	デイサービスセンター 壽	156	あすなろの郷	226	和光学園
17	ヘルパーステーション みどり	87	デイサービス いるか	157	やすらぎ荘短期入所生活介護施設	227	社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会西小樽病院みどりの里
18	訪問介護支援サービス こもれび	88	朝里中央デイサービスセンター	158	短期入所生活介護施設はる	228	大倉山学院短期入所事業所
19	訪問介護サービス ふれあい	89	デイサービスセンター ラポールなんたる	159	ショートステイ朝里温泉	229	短期入所生活介護施設 はる
20	ヘルパーステーション若葉	90	デイサービスセンターぼえむヒルズ	160	ショートステイつなぐ	230	小樽四ツ葉学園
21	介護サポート きずな	91	デイサービスセンター きりん	161	ショートステイ朝里中央	231	せせらぎ寮
22	有限会社 ケアオフィスD A N	92	ツクイ小樽さくら	162	ヘルパーステーションゆとり	232	短期入所 朝里ファミリア
23	訪問介護事業所 サポートユアライフ	93	なぎさデイサービス	163	ヘルパーステーションみどり	233	松泉学院
24	ヘルパーステーション 自由の空	94	デイサービス きたえるへむ 小樽稲穂	164	ケアサービスあおぞら	234	療養介護事業所 大倉山学院
25	訪問介護ステーション つばさ	95	レッツ倶楽部小樽手宮	165	社会福祉法人 小樽市社会福祉協議会 たんぼほ障がい者居宅介護事業所	235	和光学園
26	介護プラザ ハッピー	96	デイサービスセンター A R K 奏	166	ヘルパーステーション若葉	236	北海道宏栄社
27	ハートケア朝里 訪問介護事業所	97	アクティブスタジオ K T ラボ	167	ニチイケアセンター小樽奥沢	237	小樽四ツ葉学園
28	訪問介護ステーションアイケア奥沢口	98	勤医協小樽デイサービス	168	ジャパンケア小樽入船	238	障がい者支援施設 朝里ファミリア
29	ヘルパーステーション 奏	99	レッツ倶楽部小樽駅前	169	訪問介護事業所 サポートユアライフ	239	松泉学院
30	ケア・オフィス 優（介護課）	100	デイサービスセンターはる小樽稲穂	170	ケアサポート笑ころ		
31	ジャパンケア小樽入船	101	デイサービスセンターぼえむの丘	171	ケアステーションえがお		
32	ケアサポート笑ころ	102	株式会社 裕志 デイサービスStick	172	訪問介護ステーションアイケア奥沢口		
33	ケアステーションえがお指定訪問介護事業所	103	デイサービスセンター アザレア	173	ありびおヘルパーセンター		
34	介護サービス小樽築港	104	オタモイデイサービスセンター	174	ケアサポートあすなろ		
35	ヘルパーステーション きりん	105	社会福祉法人小樽市社会福祉協議会 銭函デイサービスセンター指定通所介護事業所	175	公益財団法人ソーシャルサービス協会せせらぎ		
36	ヘルパーステーションつくし	106	デイサービスセンター「ゆとり」	176	ヘルパーステーション あまらんず小樽		
37	ありびおヘルパーセンター	107	デイサービスセンター 滝の湯	177	ヘルパーステーションなぎさ		
38	ケアサポートあすなろ	108	ケアポート そよかぜ	178	訪問介護ステーションつばさ		
39	ヘルパーステーションなぎさ	109	清水町デイサービスセンター	179	ヘルパーステーション ながはし		
40	ケアステーション マイラシーク	110	松島内科デイサービス	180	ヘルパーステーションゆとり		
41	ヘルパーステーション あまらんず小樽	111	札幌病院リハビリデイサービスセンターひまわり	181	ヘルパーステーションみどり		
42	訪問介護事業所 にしん	112	アイケア小樽デイサービスセンター	182	ケアサービスあおぞら		
43	勤医協小樽ヘルパーステーション潮かぜ	113	デイサービス 希望の社	183	社会福祉法人 小樽市社会福祉協議会 たんぼほ障がい者居宅介護事業所		
44	ヘルパーステーション ながはし	114	デイサービスあ〜ねすと	184	ヘルパーステーション若葉		
45	ヘルパーステーションかりん	115	デイサービスセンターほんとまり	185	ニチイケアセンター小樽奥沢		
46	ヘルパーステーションぼえむ	116	H A L デイサービス銭函	186	ジャパンケア小樽入船		
47	訪問介護事業所 つなぐ	117	デイサービスゆらり1	187	訪問介護事業所 サポートユアライフ		
48	小樽訪問介護ステーション友	118	デイサービスセンターあすなろ	188	ケアサポート笑ころ		
49	訪問入浴介護事業 おおつ	119	H A L デイサービス新光	189	訪問介護ステーションアイケア奥沢口		
50	アースサポート小樽	120	スローフィットデイ はびる	190	ありびおヘルパーセンター		
51	社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院	121	H A L デイサービス望洋台	191	ケアサポートあすなろ		
52	医療法人ひまわり会札幌病院	122	デイサービス ゆらぎ	192	公益財団法人ソーシャルサービス協会せせらぎ		
53	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団小樽訪問看護ステーション	123	デイサービス ゆらぎの家	193	ヘルパーステーション あまらんず小樽		
54	ケア・オフィス 優（看護課）	124	ユイ・ドリーム館	194	ヘルパーステーションなぎさ		
55	訪問看護ステーションアイケア奥沢口	125	ライフフィットデイ りはびる	195	訪問介護ステーションつばさ		
56	訪問看護ステーションそら	126	ケアステーション はあとD S	196	ヘルパーステーション ながはし		
57	札幌病院訪問看護ステーションひまわり	127	リハビリ特化型通所介護らく楽リハビリ	197	ケアサポート笑ころ		
58	訪問看護ステーション桜	128	デイサービスゆらり2	198	ヘルパーステーションなぎさ		
59	訪問看護ステーションアイケアげに函	129	デイサービス若乃湯	199	訪問介護ステーションつばさ		
60	訪問看護ステーションアザレア	130	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ小樽入船	200	社会福祉法人 小樽市社会福祉協議会 たんぼほ障がい者居宅介護事業所		
61	訪問看護ステーション マイラシーク塩谷	131	デイサービスさんぼみち	201	ヘルパーステーション若葉		
62	医療法人ひまわり会 札幌病院	132	機能訓練デイサービスつばさ	202	ニチイケアセンター小樽奥沢		
63	医療法人勉仁会 介護老人保健施設ラポール東小樽	133	勤医協船浜デイサービスひだまり	203	訪問介護事業所 サポートユアライフ		
64	社会福祉法人小樽北勉会介護老人保健施設ラポール朝里温泉訪問リハビリテーション朝里温泉	134	デイサービスきたえるへむ朝里	204	ケアサポート笑ころ		
65	ケアステーション マイラシーク	135	LIFE REHABILITATION希望のつぼみ 銭函	205	ありびおヘルパーセンター		
66	ケア・オフィス優（介護看護課）	136	デイサービスセンター 夢のみずうみ村 生きがいサロン銭函	206	一般社団法人 小樽身体障害者福祉協会		
67	定期巡回・随時対応型訪問介護センターアザレア	137	デイサービスセンター マイラシーク塩谷	207	ヘルパーステーションなぎさ		
68	複合型サービス アイケア奥沢口	138	デイサービスセンターゆあみ茶屋小樽オタモイ	208	訪問介護ステーションつばさ		
69	複合型サービス マイラシーク塩谷	139	デイサービスセンターはる	209	ヘルパーステーション ながはし		
70	看護小規模多機能型ホームアイケアげに函	140	デイサービス恵の森	210	和光学園		

（資料：小樽市調査）

4. 安全・安心

③公共交通（JR・バス停留所）

- ・公共交通（JR駅・バス停留所）からの徒歩圏（800m・300m）の人口は、105,450人で、人口カバー割合は、87.1%となっている。
- ・小樽市地域公共交通網形成計画を策定作業中である。



(資料：小樽市調査)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

4. 安全・安心

④公園等

- ・市内の公園・緑地は89箇所、都市計画決定面積が134.63ha、整備面積が128.72ha（86箇所）となっている。（整備率 95.0%）
- ・小樽市中心部には、都市計画公園ではないが、小樽住吉神社や水天宮など自然豊かな施設が点在している。
- ・その他の緑地（港湾緑地、児童遊園地、公共空地など）は、平成32年度目標面積548.63ha、平成28年度までの整備面積546.96haとなっている。（整備率 99.7%）

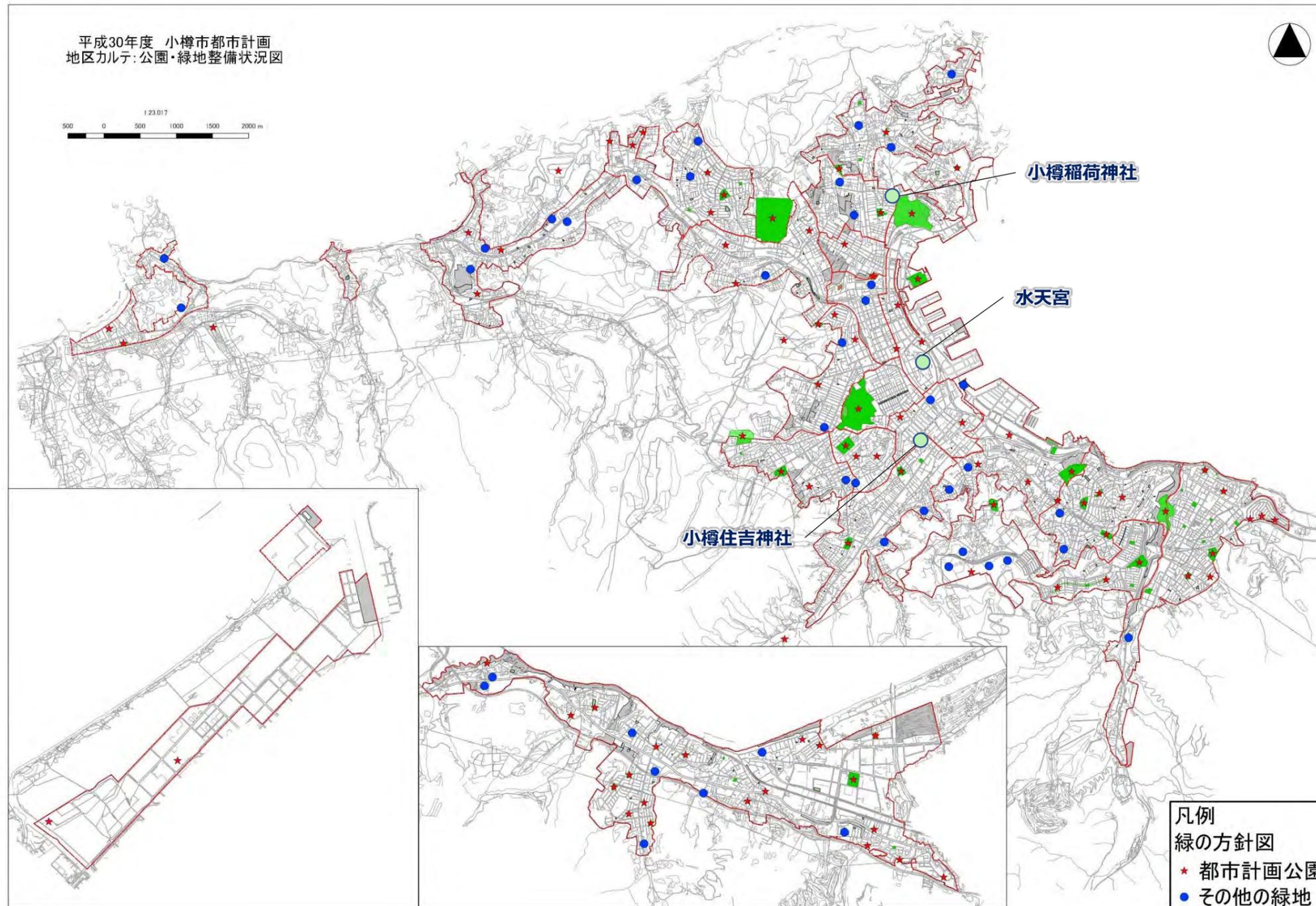


表1 都市計画公園

	都市計画 決定面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備率 (%)
街区公園	12.51	12.2	97.5
近隣公園	18.5	17.5	94.6
地区公園	27.7	23.8	85.9
総合公園	74.4	73.4	98.7
緑地	1.52	1.00	65.8
	134.63	127.9	95.0

表2 その他の緑地

	H32緑マス 目標面積 (ha)	H28 整備面積 (ha)	整備率 (%)
その他の緑地	548.63	546.96	99.7

(資料：小樽市調査)

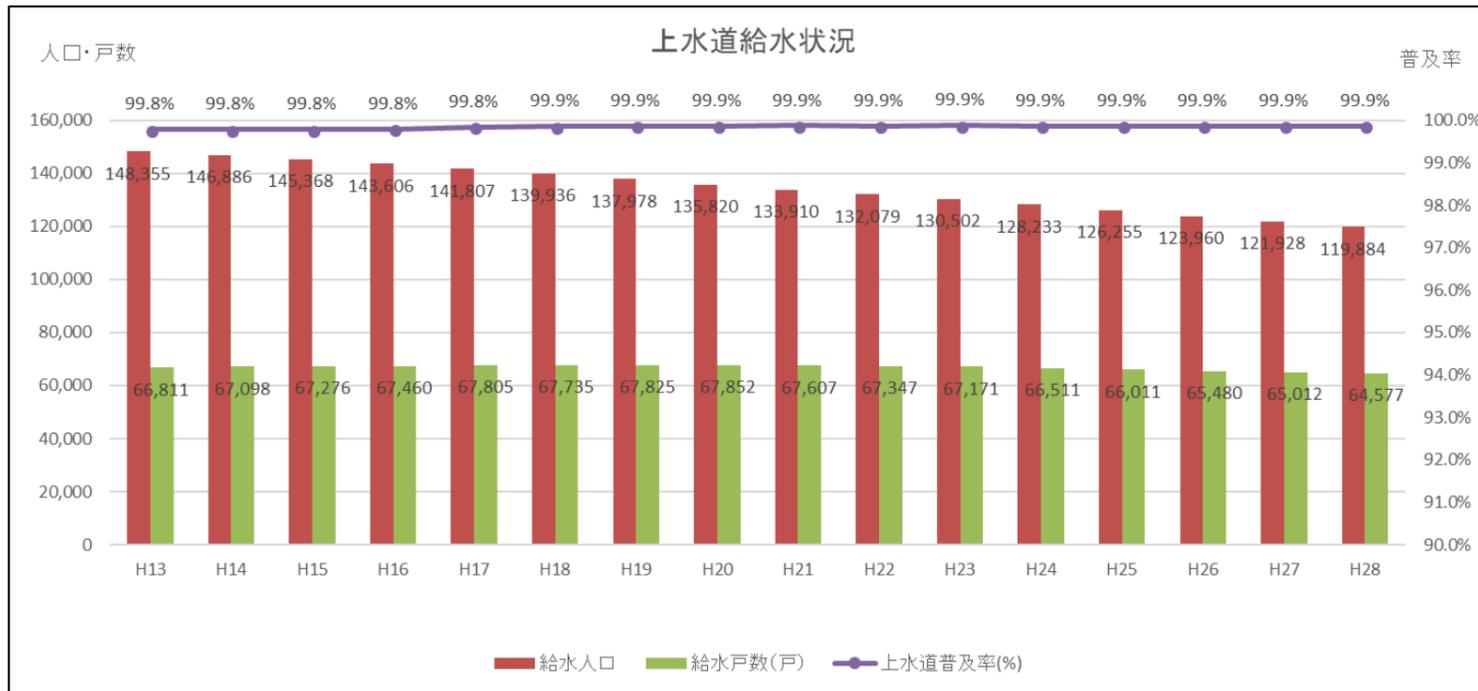
4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

5. その他

①上・下水道、ごみ処理施設

- ・小樽市内の上水道の供給戸数は64,577戸で、普及率は99.9%となっている。
- ・小樽市内の下水道施設（認可）は、3箇所で3,510.1ha、普及率は98.9%、水洗化率は97.0%となっている。
- ・平成19年に「北しりべし広域グリーンセンター（ごみ焼却施設/リサイクルプラザ）」が供用されている。

図 小樽市の上水道普及の状況



(資料：小樽市調査)

北しりべし広域グリーンセンター（ごみ焼却施設/リサイクルプラザ）



所在地 小樽市桃内2丁目111番地2

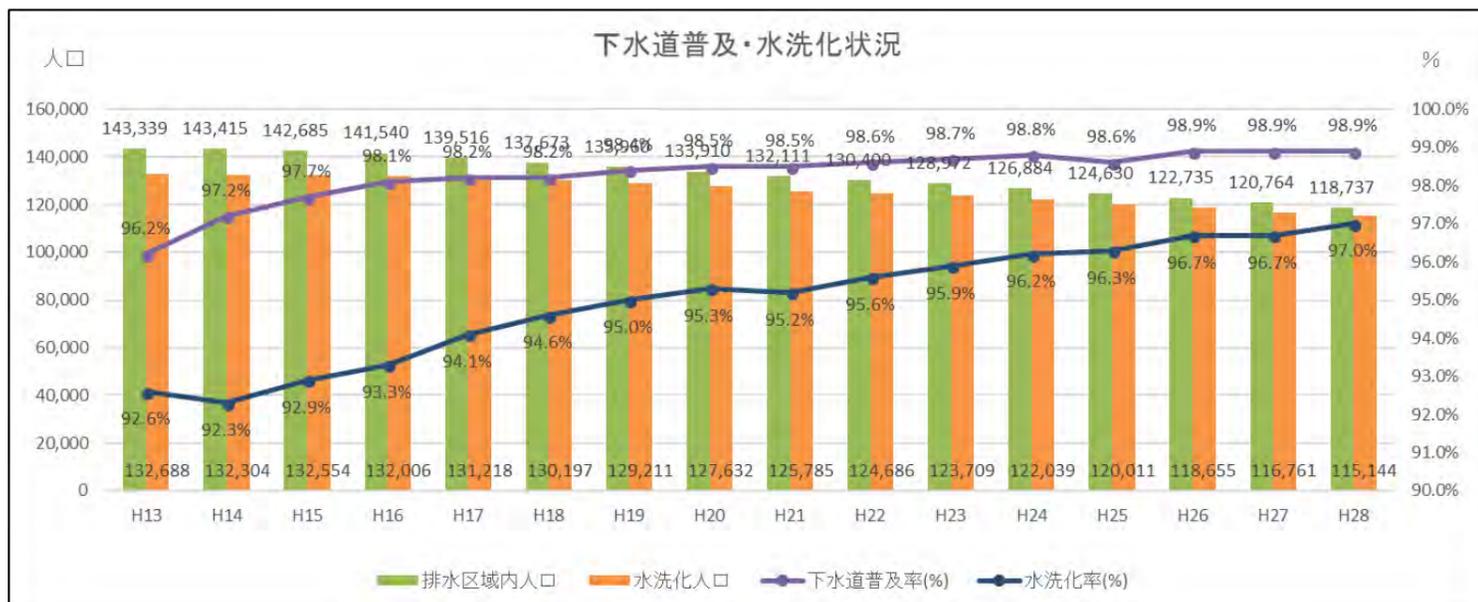
- 処理能力
- ごみ焼却施設
 - 焼却炉 197 t/日 (98.5 t/日×2炉)
 - 灰溶融炉 15 t/日
 - リサイクルプラザ
 - 不燃ごみ・粗大ごみ系統 36.0 t/5h
 - 資源物系統 37.8 t/5h

図 小樽市の下水道施設の位置

(3) 下水道施設位置図



図 小樽市の下水道普及・水洗化の状況

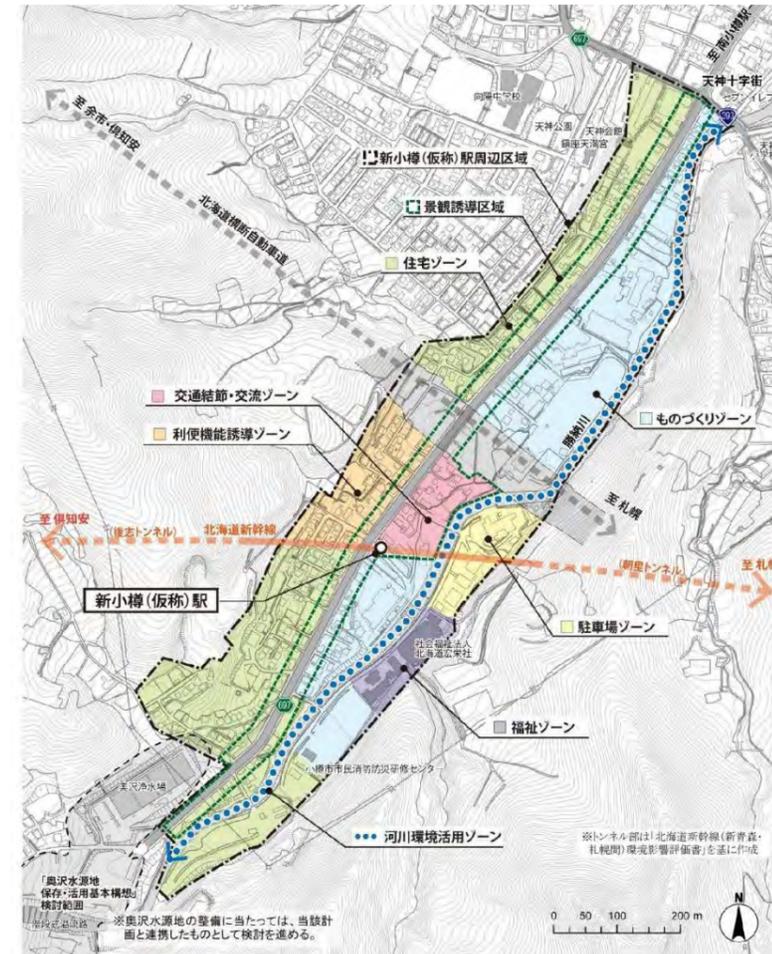
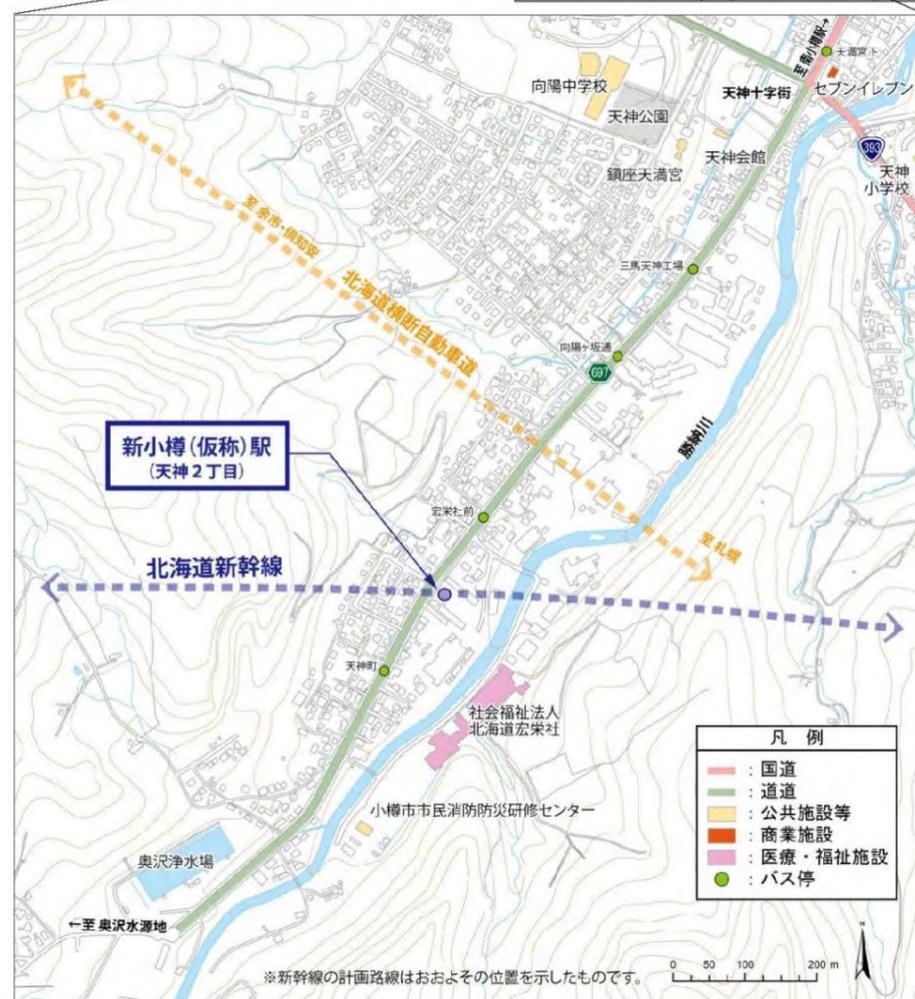


(資料：小樽市)

5. その他

②北海道新幹線

- ・北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画（平成29年3月）が策定されている。
- ・今後、平成42年度の開業を見据え、施設や周辺のまちづくりの整備が進められる。



整備コンセプト
新幹線整備効果を地域全体に生かすまちづくり
『小樽の新たな玄関口の形成』

○整備方針

- ① 調和のとれた土地利用の形成・観光との連携
- ② 交通ネットワークの形成
- ③ 地域環境を生かした街並み・景観等の形成
- ④ 交通結節点における機能・施設の導入

表 新小樽（仮称）駅客流量（利用者数）算出 単位：人/日

				小樽市の将来人口	
				人口問題研究所 約92千人	人口ビジョン値 約106千人
札幌～東京間 所要時間	約5時間	札幌駅からの 転換利用者	あり	C1：基本ケース 700	C3：人口フレーム増 ケース 800
			なし	1,100	1,200
	約4時間30分 (30分短縮)	札幌駅からの 転換利用者	あり	C2：所要時間短 縮ケース 900	C4：所要時間短 縮&人口フレーム増 ケース 1,100
			なし	1,500	1,600

(資料：小樽市 北海道新幹線新小樽【仮称】駅周辺まちづくり計画)

5. その他

③北海道横断自動車道（余市～小樽JCT開通）

- ・北海道横断自動車道（余市～小樽JCT）の整備が進められており、平成30年度の開通予定となっている。（小樽市内の塩谷地域に「小樽西IC」が出来る。）
- ・小樽ジャンクションのフルジャンクション化が決定された。（平成29年度）

図 北海道横断自動車道（余市～小樽JCT）の開通区間



(資料：東日本高速道路株式会社HP)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

5. その他

④小樽港と石狩湾新港の将来ビジョン

- ・小樽市には、2つの港（小樽港と石狩湾新港）があり、それぞれ将来ビジョンを策定している。
- ・小樽港将来ビジョン（平成19年11月策定）では、平成30年代後半の港湾空間の基本ゾーニングが示されており、このビジョンに沿って進められることとなる。
- ・石狩湾新港長期構想（平成26年12月策定）では、平成40～50年代を目標年次としており、港湾利用ゾーニングが示されている。

図 小樽港と石狩湾新港の位置



図 小樽港将来ビジョンの基本理念・基本目標

- 【基本理念】**
本市のまちづくりや石狩湾新港との連携に配慮しつつ、港湾本来の役割である物流の活性化を柱とした躍動感あふれる魅力的な港湾を目指し、新たな港づくりを進めます。
- 【基本目標】**
物流の活性化
まちづくりとの連携
石狩湾新港との連携

図 石狩湾新港将来ビジョンの基本理念・基本目標

- 【基本理念】** 石狩から世界に輝く北の港
- 【基本目標】**
- 物流** ・対岸諸国との経済交流を活発化する港湾
・安定的な物流網を構築し、北海道経済を牽引する港湾
 - 産業** ・北海道の食と環境にやさしいエネルギーを活かし、札幌圏の産業振興に貢献する港湾
 - 防災** ・ハードとソフトを組み合わせた地域防災力と広域連携による災害に強い港湾
・バックアップ機能を有する復旧・復興の拠点となる港湾
 - 環境** ・限りある資源を効率的に循環させ、緑溢れる港湾空間を保全し、環境との共生に貢献する港湾
 - 観光・交流** ・札幌圏の海洋性レクリエーション需要に応える港湾

図 小樽港の港湾空間の基本ゾーニング（おおむね20年後）

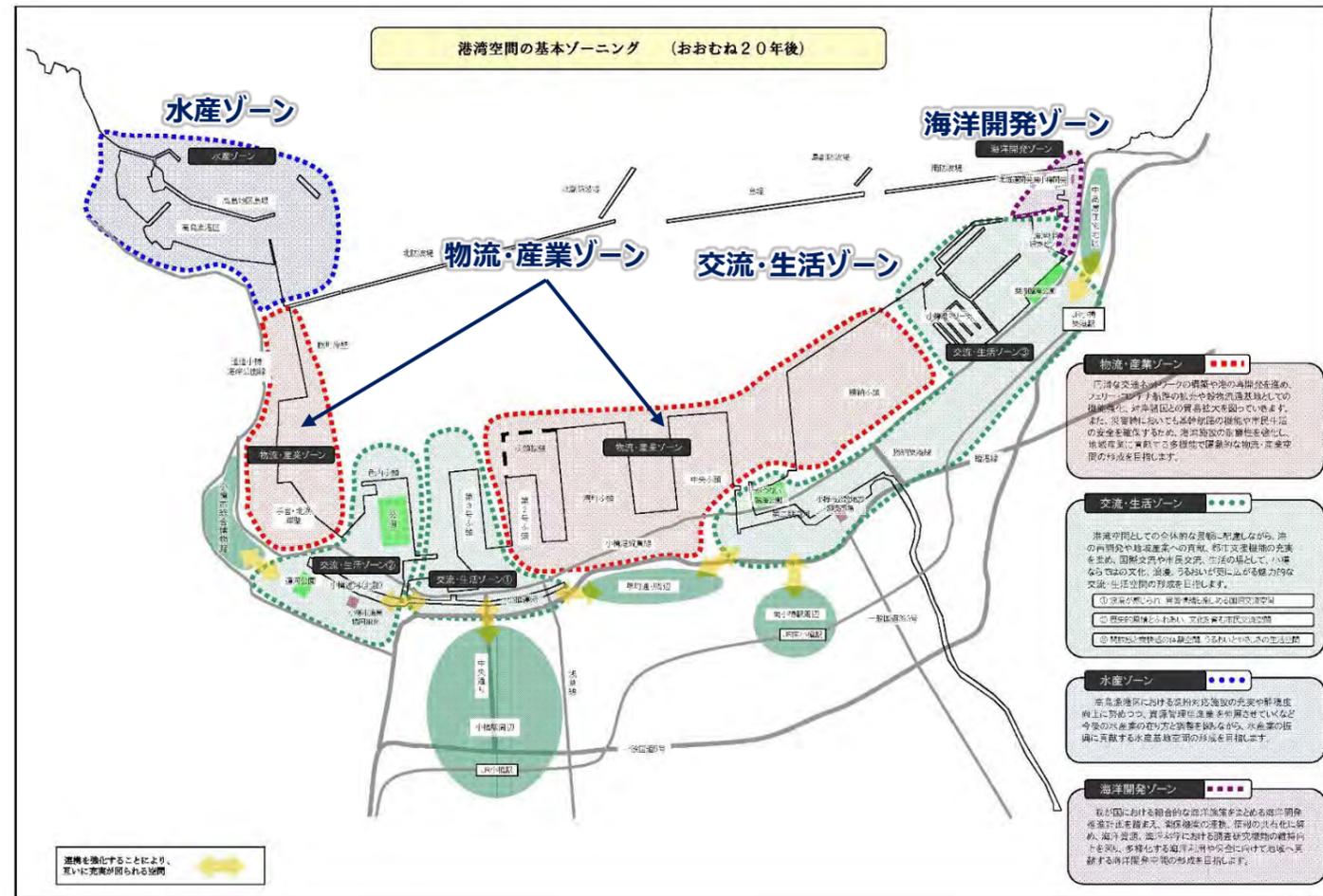
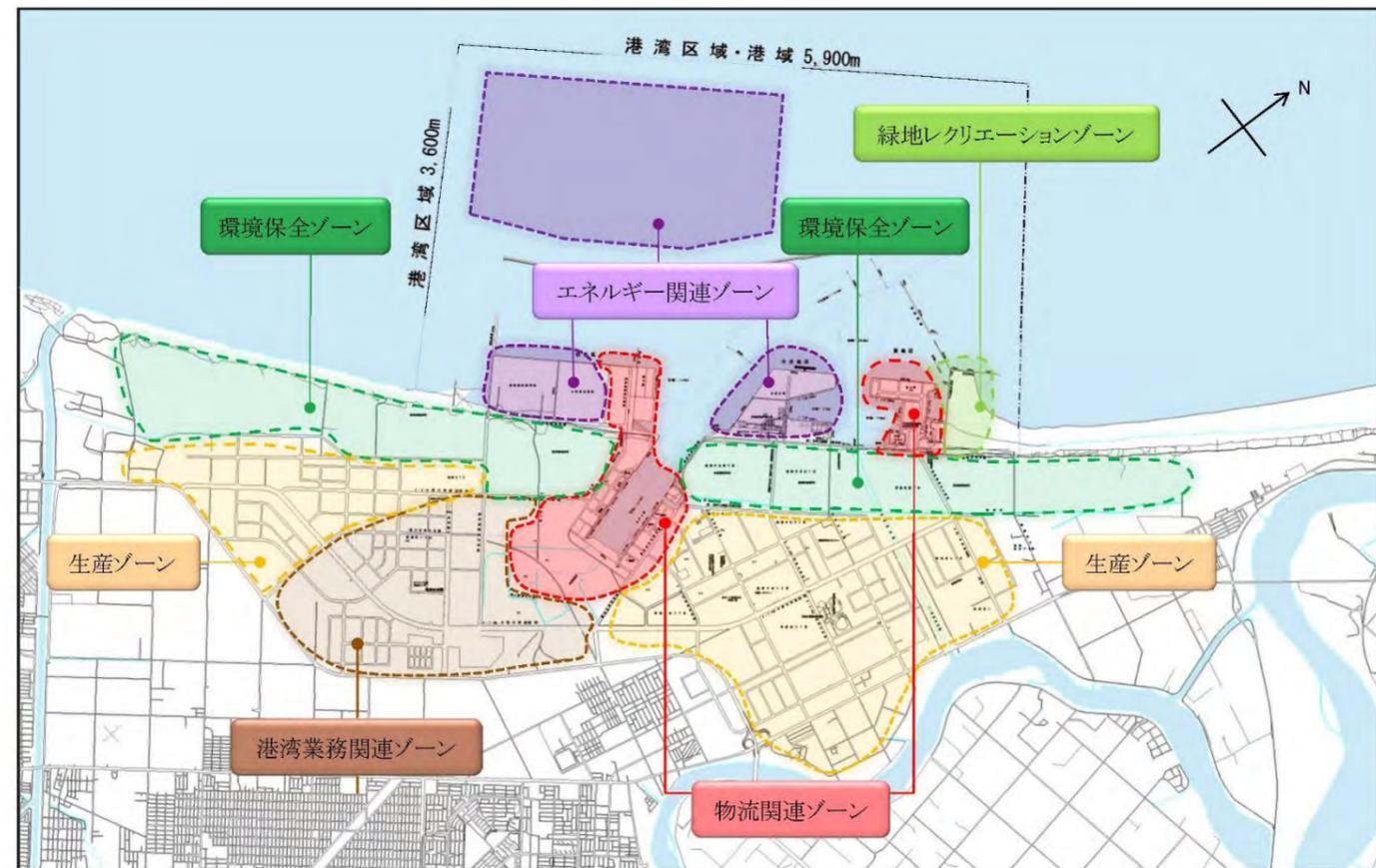


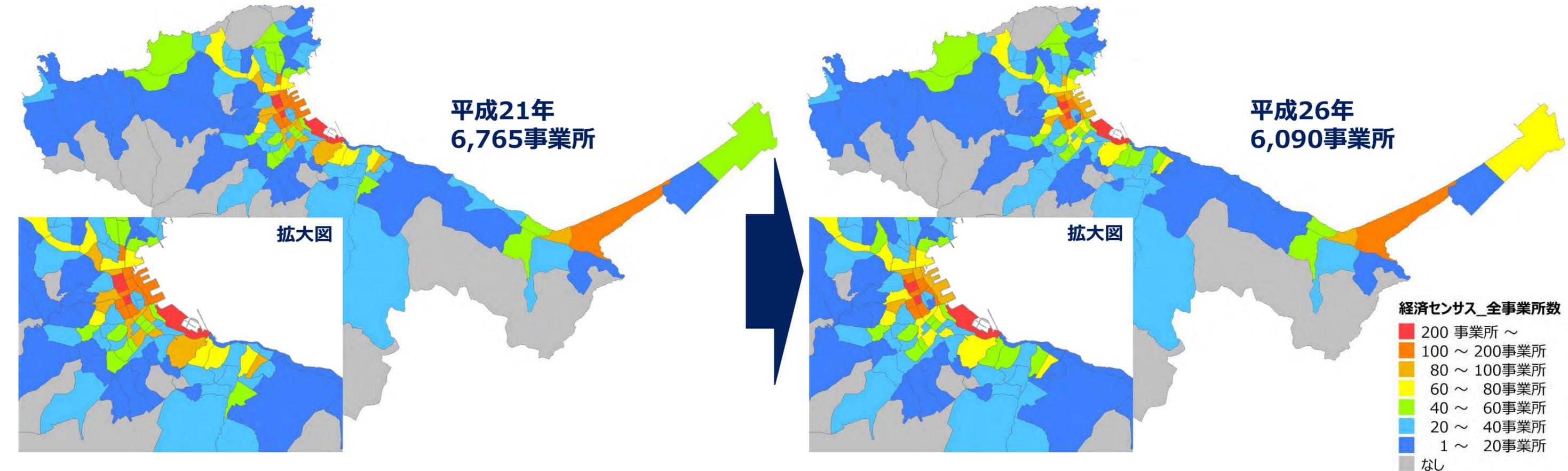
図 石狩湾新港の港湾利用ゾーニング案【長期】



5. その他

⑤産業

- ・小樽市の事業所数は、平成21年から平成26年の間で約1割減少している。(6,765事業所から6,090事業所)
- ・事業所種別で見ると、医療・福祉の事業所が増加している。
- ・JR小樽駅前周辺(稲穂・花園)、小樽築港周辺に所在する事業所が多い。



業種	H21		H26		増減
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	
A～B 農林漁業	14	0.2%	9	0.1%	-5
C 鉱業、採石業、砂利採取業	5	0.1%	1	0.0%	-4
D 建設業	477	7.1%	422	6.9%	-55
E 製造業	488	7.2%	461	7.6%	-27
F 電気・ガス・熱供給・水道業	12	0.2%	12	0.2%	0
G 情報通信業	37	0.5%	26	0.4%	-11
H 運輸業、郵便業	250	3.7%	217	3.6%	-33
I 卸売業、小売業	2018	29.8%	1786	29.3%	-232
J 金融業、保険業	118	1.7%	99	1.6%	-19
K 不動産業、物品賃貸業	229	3.4%	208	3.4%	-21
L 学術研究、専門・技術サービス業	159	2.4%	143	2.3%	-16
M 宿泊業、飲食サービス業	1116	16.5%	939	15.4%	-177
N 生活関連サービス業、娯楽業	636	9.4%	557	9.1%	-79
O 教育、学習支援業	211	3.1%	202	3.3%	-9
P 医療、福祉	472	7.0%	535	8.8%	63
Q 複合サービス事業	40	0.6%	38	0.6%	-2
R サービス業(他に分類されないもの)	436	6.4%	390	6.4%	-46
S 公務(他に分類されるものを除く)	47	0.7%	45	0.7%	-2

100事業所以上存在する字・丁目 (H21)

稲穂1・2・3丁目
色内1・2丁目
堺町
銭函3丁目
築港
錦町
花園1・2・3・4丁目
港町

100事業所以上存在する字・丁目 (H26)

稲穂1・2・3丁目
色内1丁目
堺町
銭函3丁目
築港
花園1・2・3・4丁目

(資料：各年経済センサス)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

5. その他

⑤産業

- ・小樽市の卸売業・小売業の箇所数・年間商品販売額は、H24からH28を比較した場合は緩やかに増加している。
- ・卸売業・小売業の内訳を見ると、卸売業では「飲食料品卸売業」、小売業ではホームセンターなどの「その他小売業」や「飲食料品小売業」の占める割合が高い。
- ・全体に占める割合は小さいが、インターネットによる販売小売業などの「無店舗小売業」の年間商品販売額の伸び率が大きい。
- ・小売業の売り場床面積は、減少傾向にある。（約6%の減少）

卸売業・小売業の推移

		H24	H26	H28
卸売業	事業所数（箇所）	283	299	302
	従業者数（人）	1,823	1,796	1,778
	年間商品販売額（百万円）	97,839	136,049	130,469
	事業所数あたりの年間販売額（百万円/箇所）	345.7	455.0	432.0
小売業	事業所数（箇所）	1,035	1,048	1,080
	従業者数（人）	6,304	6,829	7,338
	年間商品販売額（百万円）	116,645	125,467	129,791
	事業所数あたりの年間販売額（百万円/箇所）	112.7	119.7	120.2

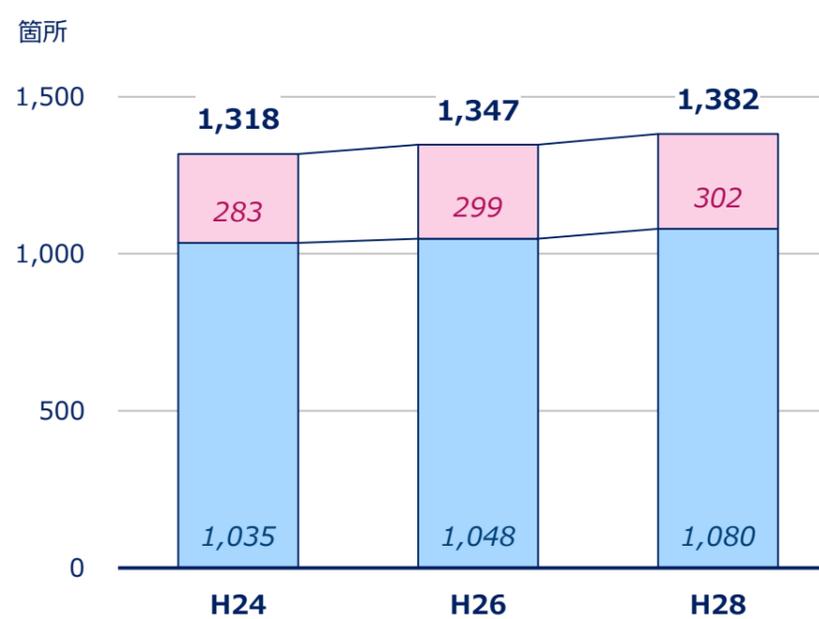
(資料：各年経済センサス)

年間商品販売額の推移（百万円）

		H24	H26	H28
卸売業	各種商品卸売業	1,060	0	x
	繊維・衣服等卸売業	1,046	462	1,383
	飲食料品卸売業	36,593	53,285	48,459
	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	21,546	29,482	27,570
	機械器具卸売業	12,569	18,500	19,398
	その他の卸売業	25,025	34,320	x
小売業	各種商品小売業	x	9,235	9,623
	繊維・衣服・身の回り品小売業	4,990	6,047	6,902
	飲食料品小売業	39,363	39,479	41,674
	機械器具小売業	21,000	22,405	19,305
	その他の小売業	x	46,308	48,938
	無店舗小売業	1,161	1,994	3,350

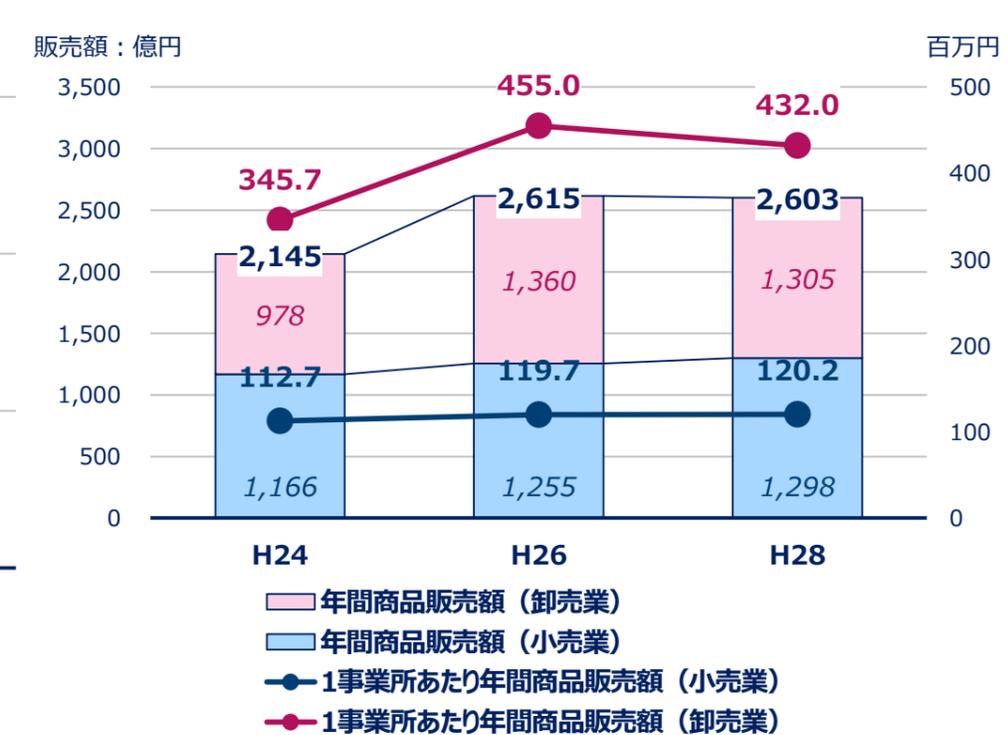
(資料：各年経済センサス)

卸売業・小売業の事業所数の推移



□ 事業所数（小売業） □ 事業所数（卸売業）

卸売業・小売業の年間販売額の推移



■ 年間商品販売額（卸売業）
■ 年間商品販売額（小売業）
● 1事業所あたり年間商品販売額（小売業）
● 1事業所あたり年間商品販売額（卸売業）

小売業の売り場床面積の推移（㎡）

	H24	H26	H28
各種商品小売業	X	39,595	20,835
繊維・衣服・身の回り品小売業	18,862	26,961	24,450
飲食料品小売業	49,573	35,576	39,795
機械器具小売業	11,983	9,498	11,482
その他の小売業	X	67,354	54,859
無店舗小売業	-	-	-
合計	161,221	178,984	151,421

(資料：各年経済センサス)

4. 小樽市の都市計画をとりまく社会状況

5. その他

⑥小樽市の財政

- ・小樽市の財政は、平成26年度で歳入が569.7億円、歳出が563.6億円となっており、近年、600億円前後で推移している。
- ・歳入の内訳を見ると、地方税・地方交付税が過半を占め、歳出の内訳では、消費的経費が約7割を占めている。

図 小樽市の（普通会計）の歳入の内訳

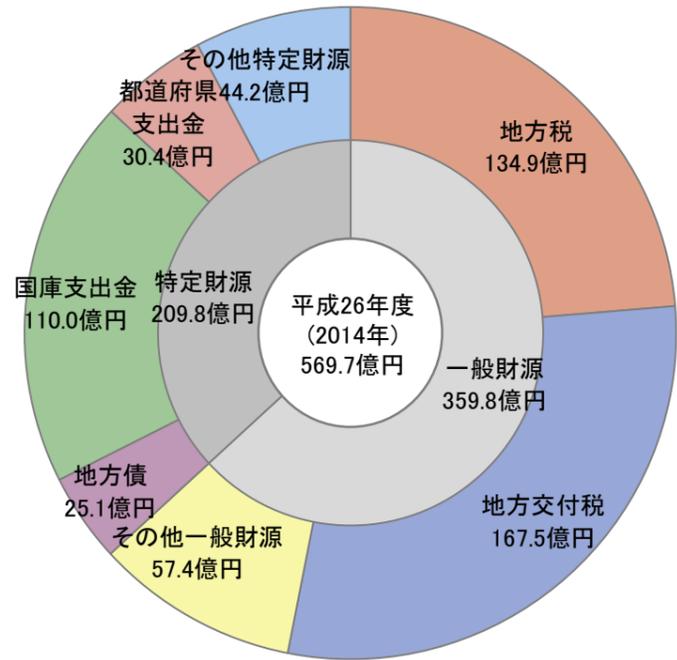


図 小樽市の（普通会計）の歳出の内訳

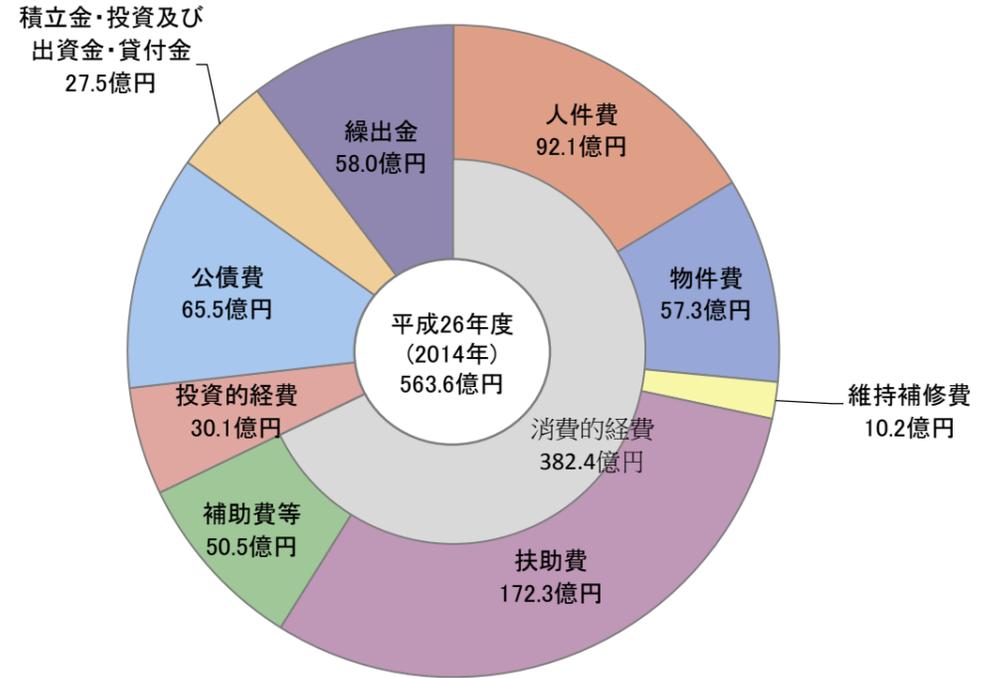


図 小樽市の（普通会計）の歳入の内訳の推移

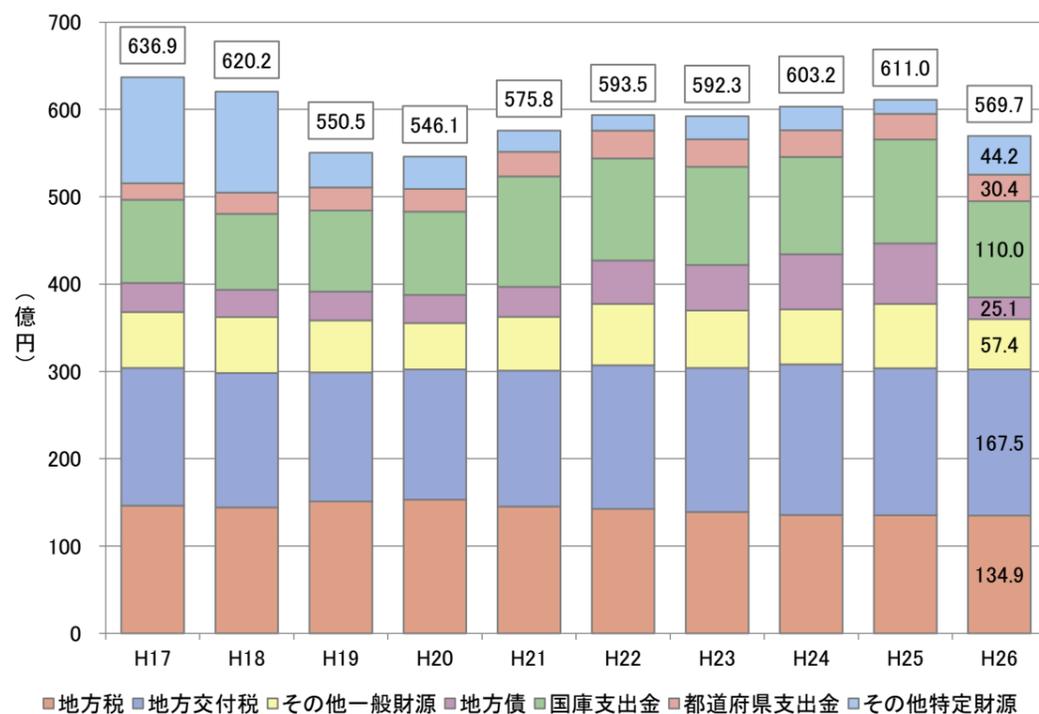
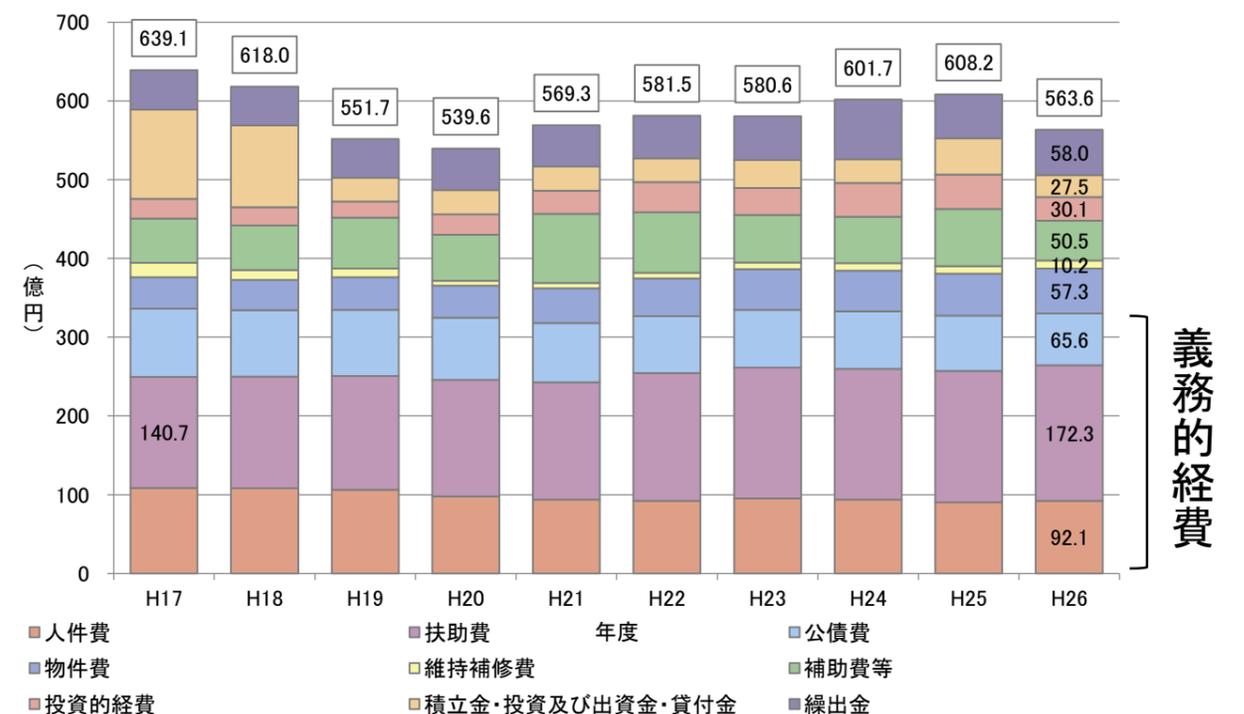


図 小樽市の（普通会計）の歳出の内訳の推移



義務的経費

(資料: 小樽市HP 小樽市の財政)